

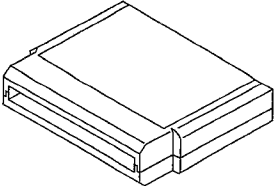
2. 故障診断

	ページ
2-1 エンジン (診断)	2
1 概要	2
2-2 ABS (診断)	10
1 基本診断手順	10
2 問診票	12
3 概要	16
4 取付け位置 (電装品)	18
5 コントロールユニット I/O 信号	19
6 スバルセレクトモニター	22
7 ダイアグコード (DTC) の読取り	30
8 点検モード	31
9 クリアメモリーモード	32
10 ABS 警告灯点灯パターン	33
11 ダイアグコード (DTC) 一覧表	38
12 ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順	41
13 総合診断表	81
2-3 エアバッグシステム (診断)	83
1 基本診断手順	83
2 問診票	84
3 概要	85
4 取付け位置 (電装品)	98
5 エアバッグコントロールユニット I/O 信号	99
6 エアバッグコネクタ	100
7 スバルセレクトモニター	102
8 ダイアグコード (DTC) の読取り	108
9 点検モード	109
10 クリアメモリーモード	110
11 エアバッグ警告灯の点灯パターン	111
12 エアバッグ警告灯の不具合	112
13 ダイアグコード (DTC) 一覧表	117
14 ダイアグコード (DTC) 別診断表	119

2-1 エンジン（診断）

1 概要

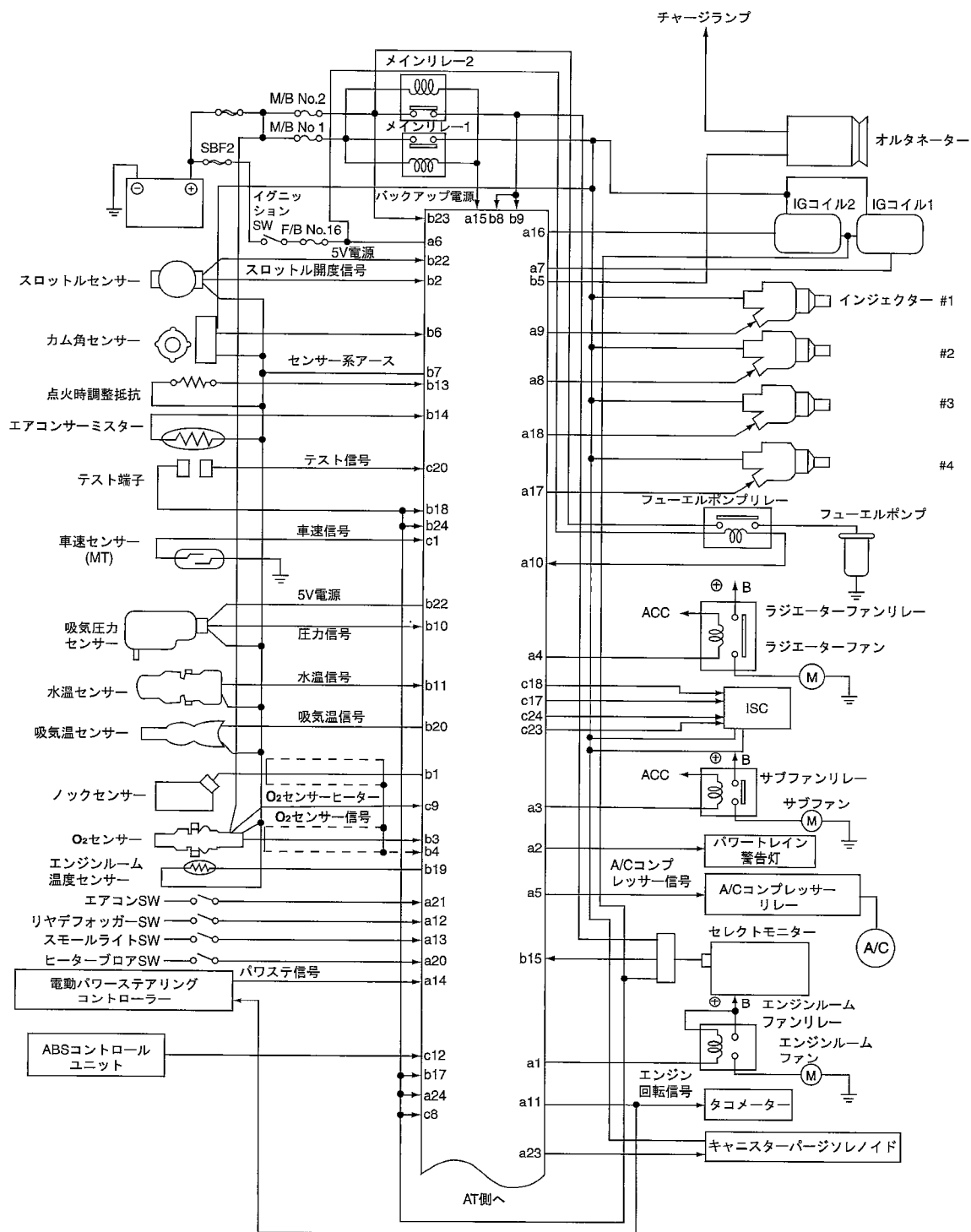
A: 準備品

イラスト	工具番号	名称	用途
 ST18482KA000	18482KA000 (新設工具)	カートリッジ	電気系統の故障診断に使用。
 ST22771AA010	22771AA010	スバルセレクトモニターキット	電気系統の故障診断に使用。

B: 入力電圧値

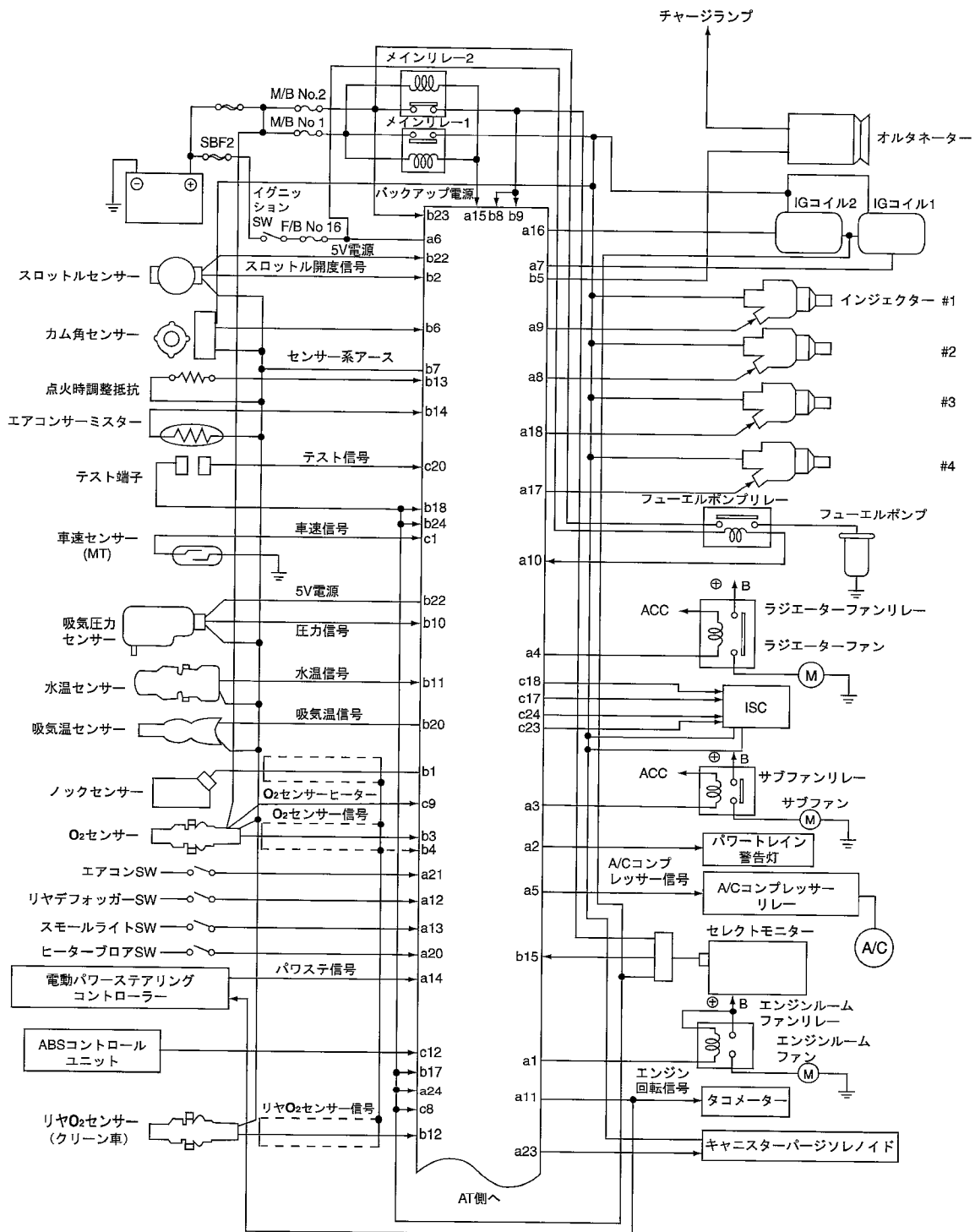
1. システム入出力

1. SCエンジン車



EN-05583

2. NAエンジン車



EN-05584

C: 入出力電圧値

9	8	7	6	5	4	3	2	1
18	17	16	15	14	13	12	11	10
24	23	22	白			21	20	19

a: R133

9	8	7	6	5	4	3	2	1
18	17	16	15	14	13	12	11	10
24	23	22	グレー			21	20	19

c: R135

9	8	7	6	5	4	3	2	1
18	17	16	15	14	13	12	11	10
24	23	22	緑			21	20	19

b: R134



TE0540P

区分	点検系統	端子番号	線色	電圧値		備考
				IG SW ON (エンジン停止)	アイドリング	
電源	メイン電源1	b9	R	10～13 V	13～14 V	
	メイン電源2	b8	R	10～13 V	13～14 V	
	バックアップ電源	b23	WR	10～13 V	13～14 V	
	センサー系電源	b22	RY	5 V	5 V	
入力	IG SW	a6	LY	10～13 V	13～14 V	
	カム角センサー (+)	b6	GW	約0 V	入出力波形図参照	
	スロットル開度	b2	R	全閉: 0.5 V 全開: 4.3 V	0.5 V (スロットル全閉)	特性グラフも参照のこと
	ノックセンサー	b1	W	入出力波形図参照		
	フロントO2センサー	b3	W	0～1 V	入出力波形図参照	
	リヤO2センサー	b12	W	0～1 V	入出力波形図参照	(クリーン車)
	O2センサーシールド	b4	Gy	0 V		
	圧力センサー信号	b10	YG	約2.2 V (大気圧)		(NA車) 特性グラフも参照のこと
	圧力センサー信号	b10	YR	約1.4 V (大気圧)		(MSC車) 特性グラフも参照のこと
	水温センサー	b11	WB	40°C (約2.0 V) 60°C (約1.2 V) 80°C (約0.8 V)		特性グラフも参照のこと
	A/Cサーモ信号	b14	LgB			
	点火時期調整抵抗	b13	RL	未接続時: 5 V 接続時: 0.5～4.5 V		
	吸気温度センサー	b20	WL	20°C (約3 V) 40°C (約2 V) 60°C (約1.3 V)		特性グラフも参照のこと
	エンジンルーム温度センサー	b19	LW	20°C (約3.6 V) 40°C (約2.8 V) 60°C (約2 V)		(MSC車) 特性グラフも参照のこと
	リヤデフォグー	a12	BL	SW OFF時: 0 V SW ON時: 10～14 V		
	スモールライト	a13	RG	SW OFF時: 0 V SW ON時: 10～14 V		

エンジン（診断）

区分	点検系統	端子 番号	線色	電圧値		備考
				IG SW ON (エンジン停止)	アイドリング	
入力	ヒーターブロー	a20	BrW	SW OFF時：10～14 V SW ON時：2 V以下		
	A/C信号	a21	GW	SW ON時：10～14 V SW OFF時：0 V		
	車速センサー	c1	GB	入出力波形図参照 走行状態		(MT車)
	車速センサー (+)	c1	W	入出力波形図参照 走行状態		(AT車)
	車速センサー (-)	c10	B			
	ブレーキSW	c2	GB	ブレーキペダル踏み時： 10～14V ブレーキペダル開放時： 0 V		
	パワーモードSW	c3	G	SW ON時：0 V SW OFF時：10～14 V		(AT車)
	Pレンジ	c6	YG	Pレンジ時：10～14 V Pレンジ以外：0 V		(AT車)
	Rレンジ	c5	RW	Rレンジ時：10～14 V Rレンジ以外：0 V		(AT車)
	Nレンジ	c4	TB	Nレンジ時：10～14 V Nレンジ以外：0 V		(AT車)
	Dレンジ	c15	YW	Dレンジ時：10～14 V Dレンジ以外：0 V		(AT車)
	2レンジ	c14	YR	2レンジ時：10～14 V 2レンジ以外：0 V		(AT車)
	1レンジ	c13	YL	1レンジ時：10～14 V 1レンジ以外：0 V		(AT車)
	テスト端子	c20	Br	端子開放時：5 V 端子接続時：0 V		

エンジン（診断）

区分	点検系統	端子番号	線色	電圧値		備考
				IG SW ON (エンジン停止)	アイドリング	
出力	点火出力#1	a7	YR	約0 V	入出力波形図参照	
	点火出力#2	a16	YB	約0 V	入出力波形図参照	
	インジェクター #1	a9	PG	10～13 V	入出力波形図参照	
	インジェクター #2	a8	PL	10～13 V	入出力波形図参照	
	インジェクター #3	a18	P	10～13 V	入出力波形図参照	
	インジェクター #4	a17	PB	10～13 V	入出力波形図参照	
	オルタネーター	b5	WG	停止時（非作動時）：5.5～8.5 V 作動時：0 Vと：5.5～8.5 V（デューティ）		周期 50 ms
	セレクトモニター	b15	LW	約5 V		
	ABSアイドルアップ信号	c12	LR			
	ISC #1	c18	G	0 または 10～13 V	0 Vと13～14 Vのパルス	入出力波形図参照
	ISC #2	c17	GOr	0 または 10～13 V		
	ISC #3	c24	GB	0 または 10～13 V		
	ISC #4	c23	GR	0 または 10～13 V		
	エンジンルームファンリレー	a1	LW	非作動時：10～14 V 作動時：約0 V		
	パワートレイン警告灯	a2	Lg	消灯時：10～14 V 点灯時：約0 V		
	サブファン	a3	BY	非作動時：10～14 V 作動時：約0 V		
	ラジエーターファンリレー	a4	GB	非作動時：10～14 V 作動時：約0 V		
	A/Cコンプレッサー制御	a5	LY	非作動時：10～14 V 作動時：約0 V		
	フューエルポンプリレー	a10	LB	停止時（非作動時）：10～14 V 作動時：約0 V		
	タコメーター出力	a11	Y	10～13 V	0 Vと10～14 V（デューティ）	
	セルフシャットオフ	a15	B	約0 V	約0 V	
	CPCソレノイド	a23	WG	10～13 V	入出力波形図参照	
	O2センサーヒーター	c9	RG	10～13 V	入出力波形図参照	
	車速センサー	c7	GB	入出力波形図参照 走行状態		(AT車)
	シフトソレノイド1	c16	GB	1速時：10～13 V 2速時：0 V 3速時：0 V		(AT車)
	シフトソレノイド2	c22	GW	1速時：10～13 V 2速時：10～13 V 3速時：0 V		(AT車)
アース	センサー系アース	b7	BG	常時：約0 V		
	パワー系アース	b17	BL	常時：約0 V		
	パワー系アース	c8	BL	常時：約0 V		
	パワー系アース	a24	BL	常時：約0 V		
	制御系アース	b18	B	常時：約0 V		
	制御系アース	b24	B	常時：約0 V		

D: スバルセレクトモニター

1. LED表示内容

1) エンジン

表示内容	点灯	消灯	備考
テストモード端子	コネクター結合時	コネクター分離時	
パワートレインランプ信号	ランプ点灯時	非点灯時	
O2センサー活性化	O2センサー活性	O2センサー非活性	
O2モニター	A/Fリッチ	A/Fリーン	
電気負荷信号	あり	なし	
イグニッションSW	イグニッションSW ON時	イグニッションSW OFF時	
ストップランプSW	ブレーキを踏んだ時	ブレーキを踏まない時	
アイドルSW	アイドル時	アクセルを踏んだ時	
(2deg異常)			
エアコンサーモ	エバポレーター温度が高い		エアコン付き
ブロアファン入力信号	ブロアファン作動時	ブロアファン非作動時	
エアコンSW	エアコンSW ON時	エアコンSW OFF時	エアコン付き
エアコンリレー	エアコンSW作動時	エアコンSW非作動時	エアコン付き
ラジファンリレー 1	ラジファンリレー ON時	ラジファンリレー OFF時	
フューエルポンプリレー	ポンプON時	ポンプOFF時	
セルフシャットリレー	セルフシャット作動時	セルフシャット非作動時	
パワステ信号	パワステ作動時	パワステ非作動時	パワステ付き
ABS作動信号	ABS作動時	ABS非作動時	ABS付き
ABSモニター	ABSモニター作動時	ABSモニター非作動	ABS付き
E/Gルームファン	E/Gルームファン作動時	E/Gルームファン非作動時	
ラジファンリレー 2	ラジファンリレー ON時	ラジファンリレー OFF時	

E: 故障コードの読み出し方

1. 操作方法

1) 故障コードの読取り

- (1) IG SWをOFFにする。
- (2) 車体側のセレクトモニターコネクタにセレクトモニターを接続する。
- (3) IG SWをONにする。（エンジンは停止状態）
- (4) IG SWをOFFにし、セレクトモニターを外して終了。
- (5) 画面表示に従って操作を行い「全ダイアグコードの点検」、または個別システムの「ダイアグコードの点検」を選択し、故障コード（ダイアグノーシスコード）を確認する。
- (6) IG SWをOFFにする。

2) Dチェック

- (1) エンジンを暖機運転する。
- (2) テストモードコネクタ（F67、F68：緑2極）を結合する。
- (3) IG SWをONにする。（エンジンは停止状態）
- (4) 画面表示に従って作業を行い、個別システムの「D チェック」を選択し D チェックを行う。なお、故障コードが複数検出されている場合は、小さい番号から（順番が指示されている場合を除く）1つずつ故障診断・修理・Dチェックを行い、その故障コードが消えていることを確認してから次の故障コードの故障診断を行う。
- (5) IG SWをOFFにし、セレクトモニターを外し、テストモードコネクタを分離して終了。

F: メモリ・クリア

1. 操作方法

- 1) IG SWをOFFにする。
- 2) 車体側のセレクトモニターコネクタにセレクトモニターを接続する。
- 3) IG SWをONにする。
- 4) 個別システムの「メモリ・クリア」を選択し、画面に従い操作する。
- 5) IG SWをOFFにする。

2-2 ABS（診断）

1. 基本診断手順

A: 手順

注意：

取外しおよび取付け時には、ABSCU&H/Uコネクタから、あらゆる異物（ほこり、水分、油分など）を取除くこと。

参考：

- ハーネスの断線または回路のショートを点検するには、問題箇所もしくはコネクタを振って調べる。
- 問診票を参照する。（2-10の「基本診断手順」を参照のこと。）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 予備検証 1) 問診票を使用し、ユーザーに、いつ、どのような不具合が発生したかを質問する。（2-12の「問診票」を参照のこと。） 2) 診断を行う前に、ABSの不具合に影響していると考えられる構成部品を点検する。（2-16の「概要、点検」を参照のこと。）	ABSの不具合に影響していると考えられる構成部品は正常か？	2へ進む。	それぞれの構成部品を修理または交換する。
2 画面のDTCの表示確認 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) スバルセレクトモニターをデータリンクコネクタに接続する。 3) イグニッションスイッチをONにし、スバルセレクトモニターの電源スイッチをONにする。 参考： スバルセレクトモニターの通信機能が正常に作動しない場合、通信回路を点検する。（2-25の「スバルセレクトモニター、点検、初期化の通信が不可能」を参照のこと。） 4) DTCを読取る。（2-30の「ダイアグコード（DTC）の読取り、操作」を参照のこと。） 5) すべてのDTCと故障時状態情報を記録する。	DTCは表示されるか？	4へ進む。	3へ進む。
3 総合診断の実施 1) 「総合診断表」を使用して点検する。（2-81の「総合診断表」を参照のこと。） 2) クリアメモリーモードを実施する。（2-24の「スバルセレクトモニター、操作、クリアメモリーモード」を参照のこと。） 3) 点検モードを実施する。（2-31の「点検モード」を参照のこと。） 4) DTCを読取る。（2-22の「スバルセレクトモニター、操作、ダイアグコード（DTC）の読取り」を参照のこと。） DTCが表示されないことを確認する。	イグニッションスイッチON後にABS警告灯は消灯するか？	診断を終了する。	「ABS 故障診断手順」で点検する。（2-28の「スバルセレクトモニター、点検、DTC無」を参照のこと。）

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
4 診断の実施 1) 「ダイアグコード（DTC）一覧表」を参照する。 （2-38の「ダイアグコード（DTC）一覧表、リスト」を参照のこと。） 2) 不具合原因を修理する。 3) クリアメモリーモードを実施する。（2-24 の「スバルセレクトモニター、操作、クリアメモリーモード」を参照のこと。） 4) 点検モードを実施する。（2-31 の「点検モード」を参照のこと。） 5) DTCを読取る。（2-22の「スバルセレクトモニター、操作、ダイアグコード（DTC）の読取り」を参照のこと。）	DTCは表示されるか？	DTCが表示されなくなるまでステップ1 から4 を繰り返す。	診断を終了する。

2. 問診票

A: チェック

車両の状態について、以下の項目を確認する。

1. ABS警告灯の状態

ABS警告灯が点灯する。	☐ 常時 ☐ 時々 ☐ 一度だけ ☐ 点灯しない ・いつ、どのぐらいの時間点灯するか？		
イグニッションキーの位置	☐ LOCK ☐ ACC ☐ ON（エンジン始動前） ☐ START ☐ ON（エンジン始動後、エンジン作動中） ☐ ON（エンジン始動後、エンジン停止）		
タイミング	☐ イグニッションをONにした直後 ☐ イグニッションをSTARTにした直後		
	☐ 加速時	～	km/h
		～	MPH
	☐ 定速走行中	km/h	MPH
	☐ 減速時	～	km/h
		～	MPH
	☐ 右方向への旋回時	舵角：	度
		転舵時間：	秒
	☐ 左方向への旋回時	舵角：	度
		転舵時間：	秒
	☐ その他の電子部品の作動時 ・部品名： ・作動状況：		

2. ブレーキ警告灯の状態

ブレーキ警告灯が点灯する。	☐ 常時 ☐ 時々 ☐ 一回だけ ☐ 点灯しない ☐ パーキングブレーキレバーを引いたとき ☐ パーキングブレーキレバーを戻したとき ・いつ、どのぐらいの時間点灯するか？		
イグニッションキーの位置	☐ LOCK ☐ ACC ☐ ON（エンジン始動前） ☐ START ☐ ON（エンジン始動後、エンジン作動中） ☐ ON（エンジン始動後、エンジン停止）		
タイミング	☐ イグニッションをONにした直後 ☐ イグニッションをSTARTにした直後		
	☐ 加速時	～ km/h ～ MPH	
	☐ 定速走行中	km/h MPH	
	☐ 減速時	～ km/h ～ MPH	
	☐ 右方向への旋回時	舵角：	度
		転舵時間：	秒
	☐ 左方向への旋回時	舵角：	度
		転舵時間：	秒
	☐ その他の電子部品の作動時		
	・部品名：		
・作動状況：			

3. 症状

ABS作動状態	☐ 作動しない	
	☐ 急ブレーキを掛けたときのみ作動	車速 : km/h MPH
	・ブレーキペダルの踏み方 :	
	a) 作動時間 :	秒
	b) 作動音 : ☐ 発生する / ☐ 発生しない	
	・どのようなノイズがするか?	☐ ノッキング ☐ ゴンゴン ☐ ボン ☐ バズ ☐ ゴンゴンバズ ☐ その他 :
	c) ブレーキペダルの反発力	
		☐ 引っかかる ☐ 踏み応えがない ☐ 踏み応えが強い ☐ その他 :
	車両の状態	a) ブレーキ時に、直進性が得られない、またはステアリングが反応しない :
☐ はい / ☐ いいえ		
・いつ :		☐ 右方向への旋回時 ☐ 左方向への旋回時 ☐ スピン時 ☐ その他 :
b) 加速時に、直進性が得られない、またはステアリングが反応しない :		
☐ はい / ☐ いいえ		
・いつ :		☐ 右方向への旋回時 ☐ 左方向への旋回時 ☐ スピン時 ☐ その他 :
c) ブレーキの調子が悪い : ☐ はい / ☐ いいえ		
・どのように :		☐ 制動距離が長い ☐ ブレーキがロックする、または引きずる ☐ ペダルストロークが長い ☐ ペダルの引っかかり ☐ その他 :
d) 加速不良 : ☐ はい / ☐ いいえ		
・どのように :		☐ 加速しない ☐ エンストする ☐ その他 :
e) 振動の発生 : ☐ はい / ☐ いいえ		
・どこから		
・どのような :		
f) 異音の発生 : ☐ はい / ☐ いいえ		
・どこから		
・どのような :		
g) その他の不具合の発生 : ☐ はい / ☐ いいえ		
・どのような :		

4. 不具合発生時の状況

環境	a) 天候	☐ 晴れ ☐ 曇り ☐ 雨 ☐ 雪 ☐ その他：	
	b) 気温	°C (°F)	
	c) 道路	☐ 市街地 ☐ 郊外 ☐ 高速道路 ☐ 一般道路 ☐ 上り坂 ☐ 下り坂 ☐ 舗装道路 ☐ 砂利道 ☐ 泥道 ☐ 砂地 ☐ その他：	
	d) 路面	☐ 乾燥 ☐ 濡れている ☐ 新雪 ☐ 圧雪 ☐ 凍結した坂道 ☐ その他：	
状態	a) ブレーキ	減速度：	G
		☐ 断続的 / ☐ 一時的	
	b) アクセル	加速度：	G
		☐ 断続的 / ☐ 一時的	
	c) 車速	km/h	MPH
		☐ 前進時 ☐ 加速時 ☐ 減速時 ☐ 低速時 ☐ 旋回時 ☐ その他：	
	d) タイヤ空気圧	フロントRHタイヤ：	kPa
		フロントLHタイヤ：	kPa
		リヤRHタイヤ：	kPa
		リヤLHタイヤ：	kPa
	e) 摩耗の度合	フロントRHタイヤ：	
		フロントLHタイヤ：	
		リヤRHタイヤ：	
		リヤLHタイヤ：	
f) 純正部品を使用している。:	☐ はい / ☐ いいえ		
g) タイヤチェーンを取付けている。:	☐ はい / ☐ いいえ		
h) Tタイプタイヤを使用している。:	☐ はい / ☐ いいえ		
i) サスペンションアライメントの状態：			
j) 積載状態：			
k) 修理部品を使用している。:	☐ はい / ☐ いいえ		
・内容：			
l) その他：			

3 概要

A: 注意

1. SRSエアバッグシステム

エアバッグシステムワイヤリングハーネスはABS車輪速度センサー、ABSCU&H/Uの近くに配線されている。

注意：

- エアバッグシステムのワイヤリングハーネスとコネクターは黄色である。これらの回路に電気的なテスト機器を使用しないこと。
- ABS 車輪速度センサー、ABSCU&H/U の整備中にエアバッグシステムのワイヤリングハーネスを損傷しないよう注意すること。

B: 点検

診断を実施する前に、ABSの不具合に影響を与えていると思われる、以下の項目を点検する。

1. バッテリー

バッテリー電圧を測定し、バッテリー液を点検する。

標準電圧：12 V以上

比重：1.260以上

2. ブレーキフルード

- 1) ブレーキフルードレベルを点検する。
- 2) ブレーキフルード漏れがないか点検する。

3. ハイドロリックユニット

ハイドロリックユニットを点検する。

4. ブレーキの引きずり

ブレーキの引きずりを点検する。

5. ブレーキパッドとローター & ブレーキシューとブレーキドラム

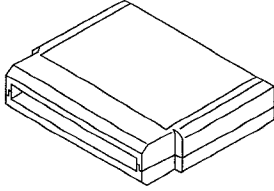
ブレーキパッドとローターおよびブレーキシューとブレーキドラムを点検する。

6. タイヤ

タイヤの仕様とタイヤの摩耗および空気圧を点検する。

C: 準備工具

1. 特殊工具

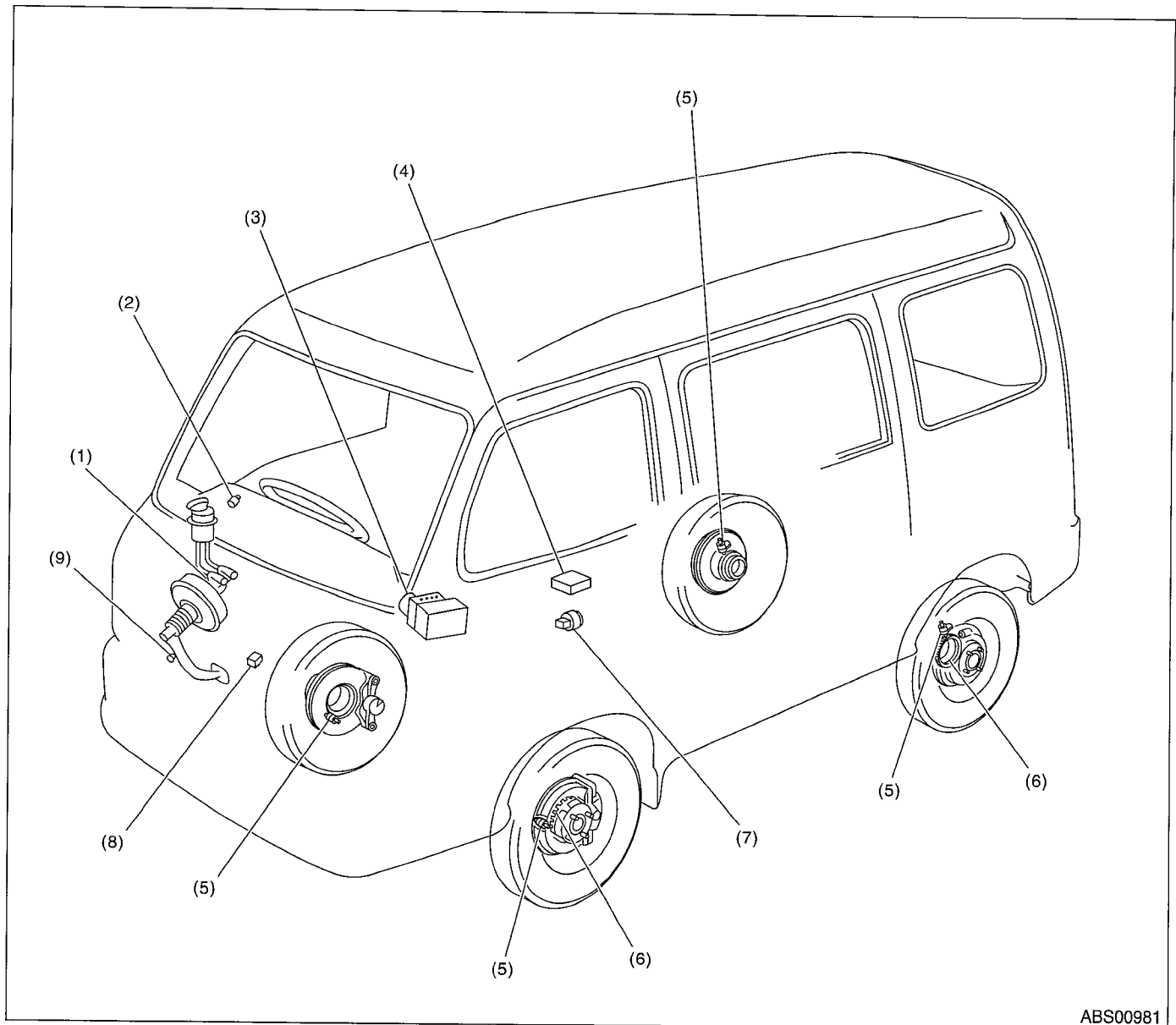
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST18482KA000	18482KA000	カートリッジ	電気系統の故障診断に使用。
 ST22771AA010	22771AA010	スバルセレクトモニターキット	電気系統の故障診断に使用。

2. 一般工具

工具名	用途
サーキットテスター	抵抗、電圧および電流の測定に使用。
オシロスコープ	センサーの測定に使用。

4 取付け位置（電装品）

A: 配置

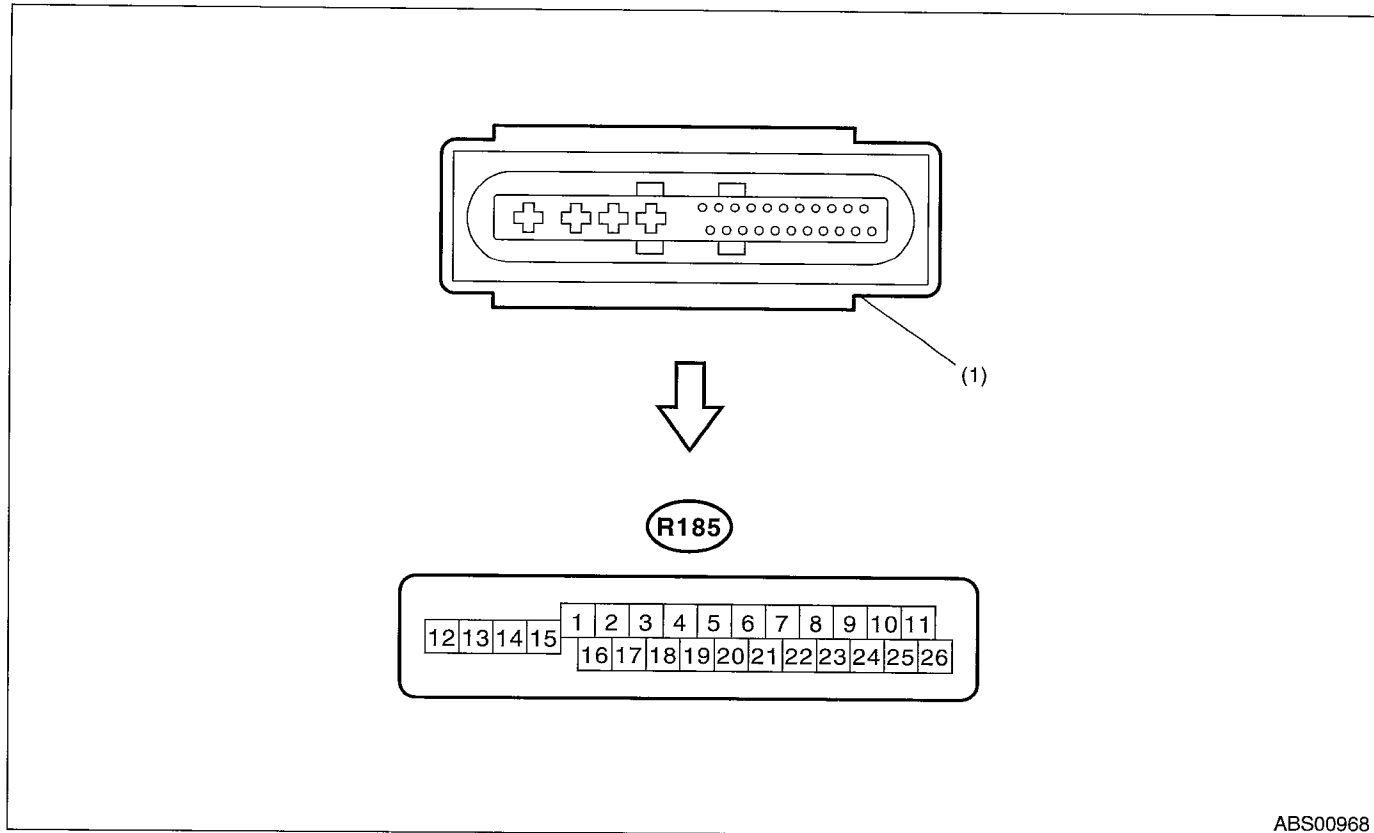


ABS00981

- | | | |
|--|------------------------|-------------------------------|
| (1) マスターシリンダー | (4) エンジン&CVTコントロールユニット | (7) 前後Gセンサー |
| (2) ABS警告灯 | | (8) データリンクコネクター（スバルセレクトモニター用） |
| (3) ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット（ABSCU&H/U） | (5) ABS車輪速度センサー | (9) ストップランプスイッチ |
| | (6) トーンホイール | |

5 コントロールユニット I/O 信号

A: 仕様（電装品）



ABS00968

- (1) ABSコントロールユニット&ハイ
ドロリックコントロールユニット
(ABSCU&H/U) コネクター

参考：

- ABSCU&H/Uコネクターの端子番号は図に示す通りである。
- ABSCU&H/Uからコネクターが取外された場合、ABS警告灯が点灯する。

ABS（診断）

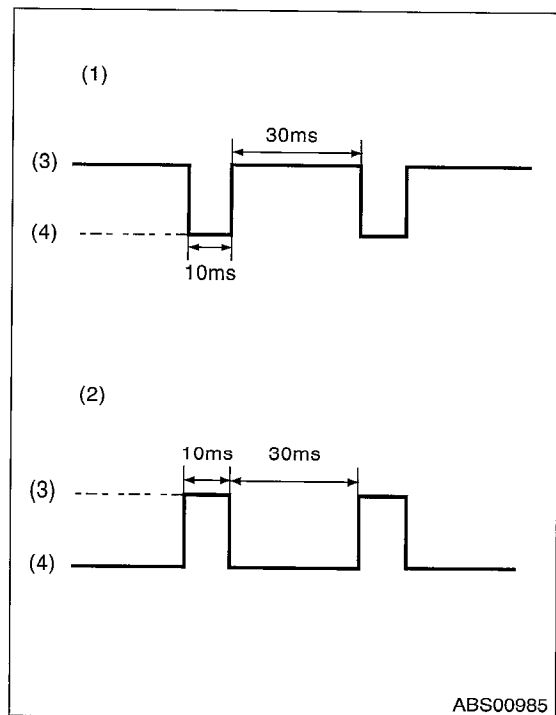
内容		端子No. (+) — (-)	入力／出力信号
ABS車輪速度センサー (ホイールスピードセンサー)	フロントLHホイール	1 — 16	0.12～1 V (20 Hz時)
	フロントRHホイール	6 — 5	
	リヤLHホイール	3 — 2	
	リヤRHホイール	19 — 4	
バルブリレー電源*1		14 — 15	10～15 V
モーターリレー電源*1		13 — 15	10～15 V
Gセンサー	電源	24 — 10	4.75～5.25 V
	アース	10	—
	出力	21 — 10	2.1～2.5 V 車両水平時
ストップランプスイッチ*1		20 — 15	ストップランプOFF時は1.5 V以下、ストップランプON時は10～15 V。
ABS警告灯		8 — 15	イグニッションスイッチON後の1.5秒間は10～15 V、1.5秒経過後は1.5 V以下。
スバルセレクトモニター		7 — 15	データが受信されなかったときは、1.5 V以下。 0 ↔ 12 Vパルス（通信中）
ABS制御信号出力&協調制御モニター		23	デューティ出力波形*2 Low 1.5 V以下、High 5.5 V以上。
電源*1		18 — 15	イグニッションスイッチON時、10～15 V。
アースライン		15	—

*1：ABSCU&H/U端子からコネクターを切離した後、I/O信号の電圧を測定する。

*2：デューティ波形

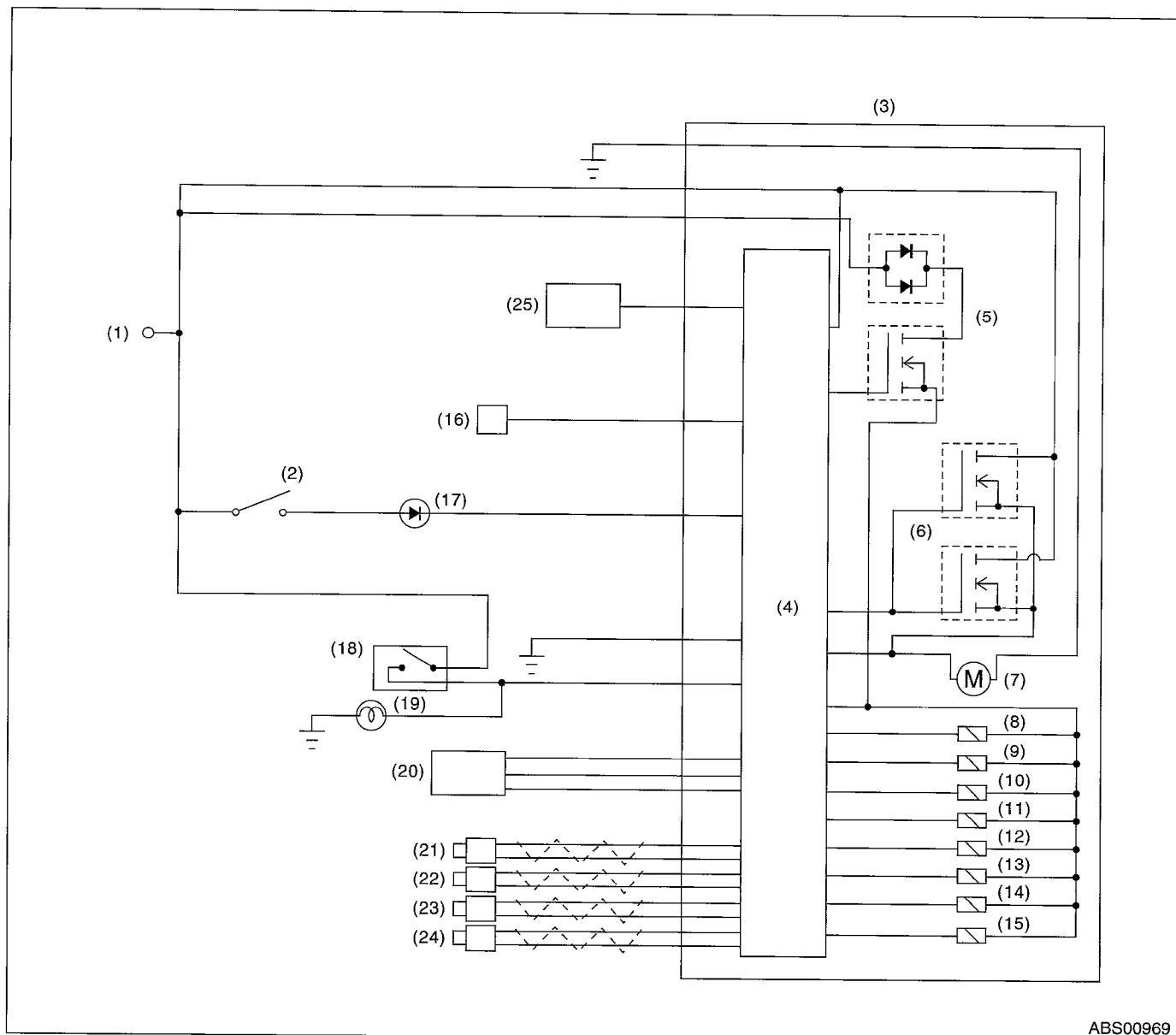
制御時波形 10 ms (Low) /30 ms (High) のパルス信号

非制御時波 30 ms (Low) /10 ms (High) のパルス信号



- (1) 制御時波形
- (2) 非制御時波形
- (3) H (5.5V以上)
- (4) L (1.5V以上)

B: 配線図



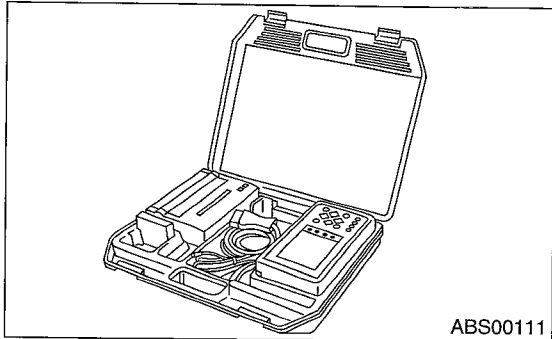
- | | | |
|--|---------------------------|-------------------------------|
| (1) バッテリー | (10) フロントインレットソレノイドバルブRH | (17) ABS警告灯 |
| (2) イグニッションスイッチ | (11) フロントアウトレットソレノイドバルブRH | (18) ストップランプスイッチ |
| (3) ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U) | (12) リヤインレットソレノイドバルブLH | (19) ストップランプ |
| (4) ABSコントロールユニットI | (13) リヤアウトレットソレノイドバルブLH | (20) Gセンサー |
| (5) バルブリレー | (14) リヤインレットソレノイドバルブRH | (21) フロント ABS 車輪速度センサー LH |
| (6) モーターリレー | (15) リヤアウトレットソレノイドバルブRH | (22) フロント ABS 車輪速度センサー RH |
| (7) モーター | (16) データリンクコネクタ | (23) リヤ ABS 車輪速度センサー LH |
| (8) フロントインレットソレノイドバルブLH | | (24) リヤ ABS 車輪速度センサー RH |
| (9) フロントアウトレットソレノイドバルブLH | | (25) エンジン&トランスミッションコントロールユニット |

6 スバルセレクトモニター

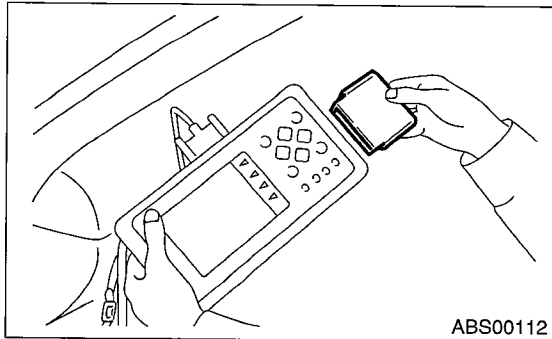
A: 操作

1. ダイアグコード (DTC) の読取り

- 1) スバルセレクトモニターキットを準備する。(2-17の「概要、準備工具、特殊工具」を参照のこと。)



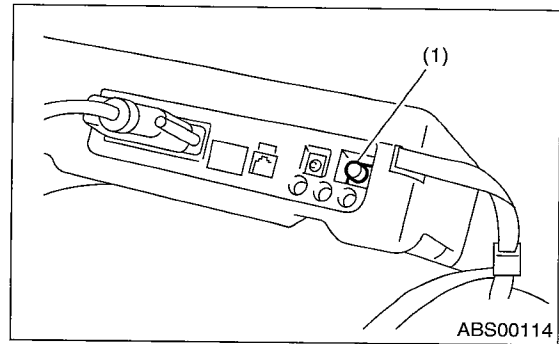
- 2) ダイアグケーブルをスバルセレクトモニターに接続する。
- 3) カートリッジをスバルセレクトモニターに挿入する。(2-17の「概要、準備工具、特殊工具」を参照のこと。)



- 4) スバルセレクトモニターをデータリンクコネクタに接続する。
 - (1) データリンクコネクタはインストルメントパネル下部(ヒーターユニット横)にある。
 - (2) ダイアグケーブルをデータリンクコネクタに接続する。

注意：
スバルセレクトモニター以外のスキャンツールを接続しないこと。

- 5) イグニッションスイッチを ON (エンジン OFF) にし、スバルセレクトモニタースイッチを ON にする。



(1) 電源スイッチ

- 6) «メインメニュー» 画面で、{個別システムの点検} を選択し、[YES] キーを押す。
- 7) «システム選択メニュー» 画面で、{ブレーキコントロール} を選択し、[YES] キーを押す。
- 8) {ABS} が表示された後、[YES] キーを押す。
- 9) «ABS 故障診断» 画面で、{ダイアグコードの点検} を選択し、[YES] キーを押す。

参考：

- 操作手順の詳細については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。
 - DTCの詳細については、ダイアグコード 一覧表を参照する。(2-38の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)
 - DTCは検出された順に、最大3つまで表示される。
 - 問題が発生したときに特定の DTC がメモリーに正しく記憶されない場合には (ABSCU&H/U 電源の低下などの原因)、「？」が後に付いたDTCがスバルセレクトモニター画面に表示される。これは読取りが不明確であることを意味する。
- 10) ABSとスバルセレクトモニターが通信できない場合、通信回路を点検する。(2-25の「スバルセレクトモニター、点検、初期化の通信が不可能」を参照のこと。)

- 11) DTCが表示されない場合、メーター回路を点検する。(2-28の「スバルセレクトモニター、点検、DTC無」を参照のこと。)

画面	表示される内容
現在	現在発生している故障のDTCをスバルセレクトモニター画面に表示する。
1つ前	過去に発生した故障で最も新しい故障のDTCをスバルセレクトモニター画面に表示する。
2つ前	過去に発生した故障で2番目に新しい故障のDTCをスバルセレクトモニター画面に表示する。
3つ前	過去に発生した故障で3番目に新しい故障のDTCをスバルセレクトモニター画面に表示する。

2. 現状データの読取り

- 1) «メインメニュー»画面で「個別システムの点検」を選択し、[YES]キーを押す。
 - 2) «システム選択メニュー»画面で「ブレーキコントロール」を選択し、[YES]キーを押す。
 - 3) {ABS}が表示されたら[YES]キーを押す。
 - 4) «ブレーキコントロール故障診断»画面で「現在のデータ表示・保存」を選択し、[YES]キーを押す。
 - 5) «データ表示メニュー»画面で、データ表示方法を選択し、[YES]キーを押す。
 - 6) スクロールキーを使用し、画面を上下させ、必要なデータを表示させる。
- 下記の表はサポートデータのリストである。

画面	表示される内容	表示単位
FR車輪速度	フロントABS車輪速度センサーRHによって検出された車輪速度が表示される。	km/hまたはMPH
FL車輪速度	フロントABS車輪速度センサーLHによって検出された車輪速度が表示される。	km/hまたはMPH
RR車輪速度	リヤABS車輪速度センサーRHによって検出された車輪速度が表示される。	km/hまたはMPH
RL車輪速度	リヤABS車輪速度センサーLHによって検出された車輪速度が表示される。	km/hまたはMPH
BLS信号	ブレーキON/OFFが表示される。	ONまたはOFF
Gセンサ	アナログGセンサーによって検出された車両加速度が表示される。	m/s (m/s ²)
バルブリレー駆動信号	バルブリレー駆動信号が表示される。	ONまたはOFF
ABSウォーニングランプ	ABS警告灯ON作動が表示される。	ONまたはOFF
モーターリレーモニター電圧	モーターリレーモニター電圧が表示される。	V
IG電源電圧	ABSCU&H/Uに供給されている電圧が表示される。	V
ABS制御フラグ	ABS制御状態が表示される。	ONまたはOFF
ABS OK B信号	ABSシステム正常・異常が表示される。	OKまたはNG

参考：

操作手順の詳細については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。

3. クリアメモリーモード

- 1) «メインメニュー»画面で {2.個別システムの点検} を選択し、[YES]キーを押す。
- 2) «システム選択メニュー»画面で {ブレーキコントロール} を選択し、[YES]キーを押す。
- 3) {ABS} が表示されたら[YES]キーを押す。
- 4) «ブレーキコントロール故障診断»画面で {メモリクリア} を選択し、[YES]キーを押す。

画面	表示される内容
メモリクリアを実行しますか？	DTCの消去機能

- 5) 「実行しました」および「IG SWをOFFにして下さい」が画面に表示されたら、スバルセレクトモニターとイグニッションスイッチをOFFにする。

参考：

操作手順の詳細については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。

4. ABSシーケンスコントロール

画面	表示される内容	インデックス No.
ABSシーケンス制御	バルブとポンプモーターを連続的に作動させて、ABSシーケンスコントロールを行う。	(1-9の「ABSシーケンスコントロール」を参照のこと。)

5. 故障時状態情報

参考：

- 不具合が発生したときに記録されたデータが画面に表示される。
- 不具合が発生する度、メモリー内の故障時状態情報に最新の情報が記録されてゆく。
- 故障時状態情報は最大3つまで記録される。
- 故障時状態情報がメモリーに正確に記録されない場合には（ABSコントロールユニット電源の低下などの原因）、「？」が前についたDTCがスバルセレクトモニター画面に表示される。これは読み取りが不明確であることを意味する。

画面	表示される内容
FR 車輪速度	フロント ABS 車輪速度センサー RH によって検出された車輪速度が km/h または MPH で表示される。
FL 車輪速度	フロント ABS 車輪速度センサー LH によって検出された車輪速度が km/h または MPH で表示される。
RR 車輪速度	リヤ ABS 車輪速度センサー RH によって検出された車輪速度が km/h または MPH で表示される。
RL 車輪速度	リヤ ABS 車輪速度センサー LH によって検出された車輪速度が km/h または MPH で表示される。
IG 電源電圧	ABSCU&H/U に供給されていた電源 (V) が表示される。
G センサ	アナログ G センサーによって検出された車両加速度が表示される。
モーターリレー モニタ電圧	モーターリレーの状態が表示される。
BLS 信号	ブレーキ ON/OFF が表示される。
車速	ABS コントロールユニットで演算された車速が表示される。
ABS 制御フラグ	ABS 制御状態が表示される。
電源異常	故障時に電圧異常が発生していたかが表示される。

B: 点検

1. 初期化の通信が不可能

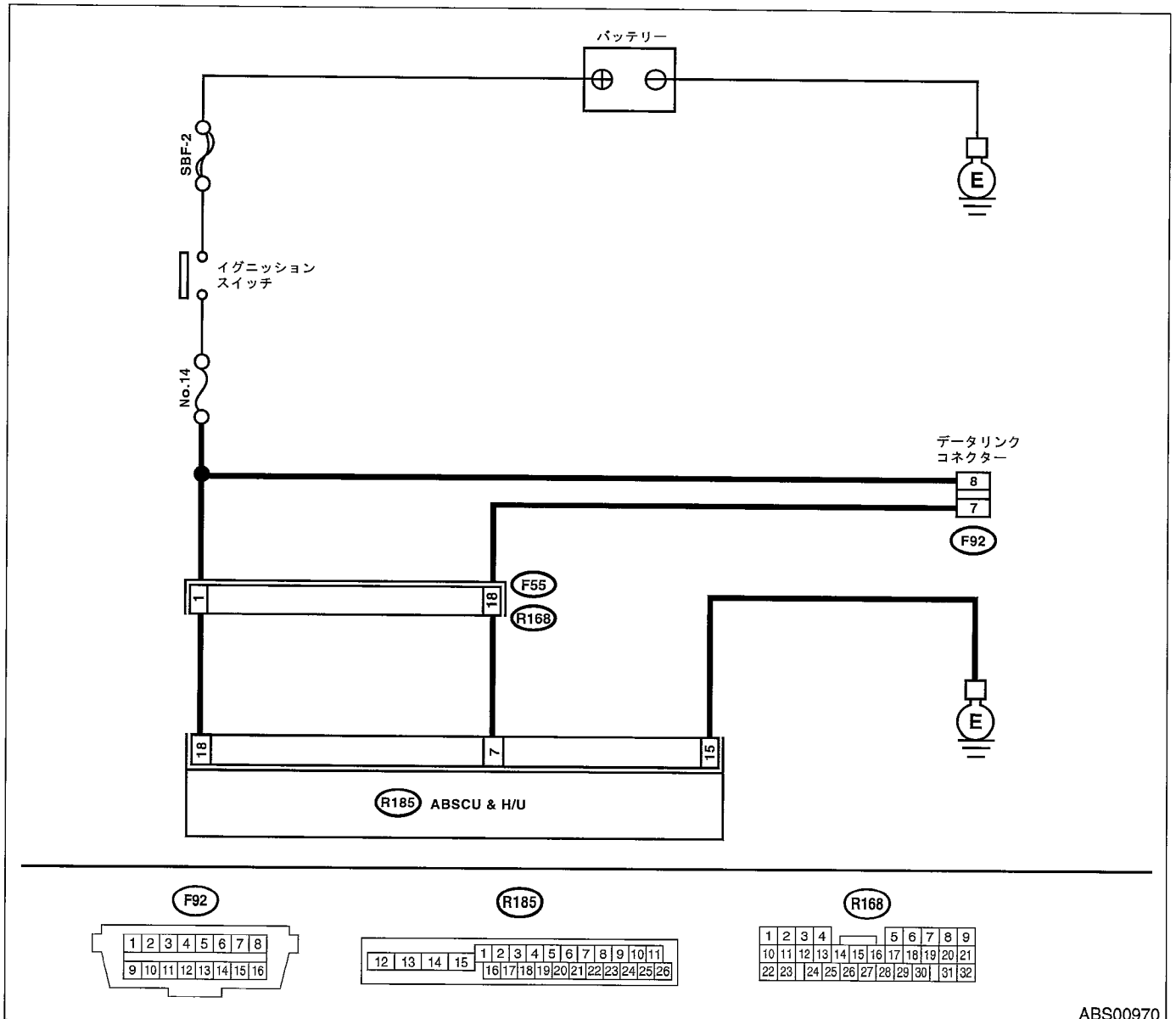
検知条件：

ハーネスコネクタの不具合

不具合の症状：

ABSとスバルセレクトモニターの通信ができない。

配線図：



ABS00970

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 イグニッションスイッチ点検	イグニッションスイッチがONか？	2へ進む。	イグニッションスイッチをONにし、スバルセレクトモニターを使用して、ABSモードを選択する。
2 バッテリー点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) バッテリー電圧を測定する。	電圧は11 V以上か？	3へ進む。	バッテリーを充電または交換する。
3 バッテリー端子点検	バッテリー端子に接触不良があるか？	バッテリー端子を交換、または締付ける。	4へ進む。
4 スバルセレクトモニターの通信点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) スバルセレクトモニターを使用し、他のシステムとの通信が正常に行われるか点検する。	システム名がスバルセレクトモニターに表示されるか？	8へ進む。	5へ進む。
5 スバルセレクトモニターの通信点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタを切離す。 3) イグニッションスイッチをONにする。 4) 他のシステムとの通信が正常に行われるか点検する。	システム名がスバルセレクトモニターに表示されるか？	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	6へ進む。
6 それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクタ間のハーネスコネクタ点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/U コネクタ、ECU および TCU コネクタを切離す。 3) データリンクコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (F92) No. 7ー ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	7へ進む。	それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクタ間のハーネスおよびコネクタを修理する。
7 ABSCU&H/Uへの出力信号点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) ABSCU&H/Uとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (F92) No. 7 (+)ー ボディアース (-) :	電圧は1 V未満か？	8へ進む。	それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクタ間のハーネスおよびコネクタを修理する。
8 ABSCU&H/Uとデータリンクコネクタ間のハーネスコネクタ点検 ABSCU&H/Uコネクタとデータリンクコネクタ間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 7ー (F92) No. 7 :	抵抗は0.5 Ω未満か？	9へ進む。	ABSCU&H/Uとデータリンクコネクタ間のハーネスおよびコネクタを修理する。
9 ABSCU&H/Uコネクタの取付け確認 イグニッションスイッチをOFFにする。	ABSCU&H/Uコネクタはクランプにロックされるまで、ABSCU&H/Uに挿入されているか？	10へ進む。	ABSCU&H/Uコネクタを ABSCU&H/Uに挿入する。

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
10 電源回路の点検 1) イグニッションスイッチをONにする。(エンジンOFF) 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間のイグニッション電源電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 7 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	11へ進む。	ABSCU&H/Uとバッテリー間のハーネスの断線を修理する。
11 ABSCU&H/Uとボディアース間のハーネスコネクタ点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/Uとボディアース間のハーネスの抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	12へ進む。	ABSCU&H/U のコネクタ間のハーネスの断線およびカップリングコネクタの接触不良を修理する。
12 コネクタの接触不良点検	コントロールユニット電源、アースラインおよびデータリンクコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)

2. DTC無

検知条件：

- コンビネーションメーターの不具合
- ハーネスの断線

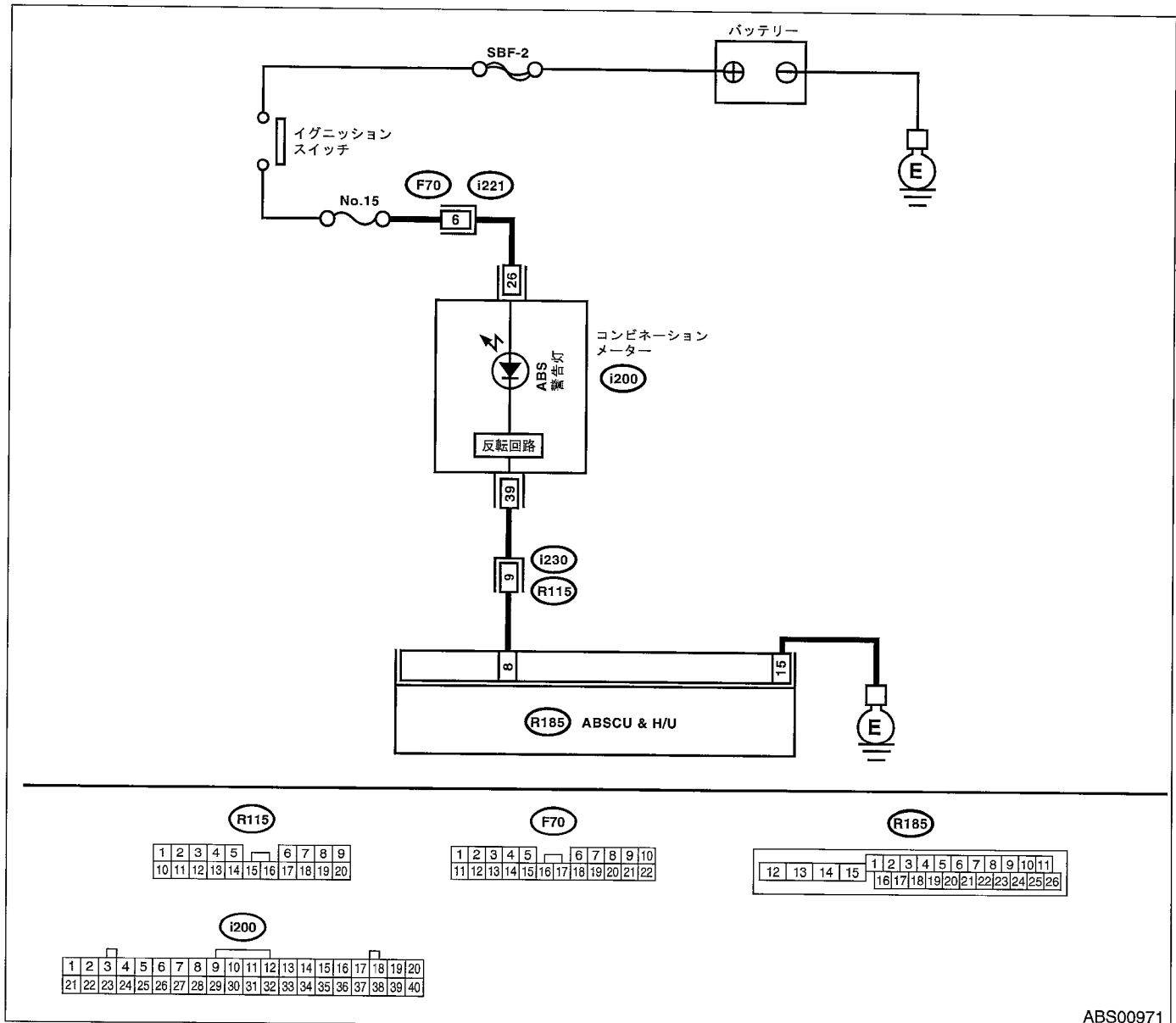
不具合の症状：

- ABS警告灯が消灯しない。
- 「故障コードはありません」がスバルセレクトモニター画面に表示される。

参考：

ABS警告灯がOFFで、「故障コードはありません」がスバルセレクトモニターに表示される場合、システムは正常。

配線図：



ABS00971

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 スバルセレクトモニターのデータ点検 1) スバルセレクトモニターの「現在のデータの表示・保存」を選択する。 2) 「ABSウォーニングランプ」の状態を読む。	「ON」が表示されているか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	2へ進む。
2 ワイヤリングハーネスの点検 ABSCUコネクタとコンビネーションメーターコネクタ間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (i200) No. 39 — (R185) No. 8 :	抵抗は0.5Ω未満か？	3へ進む。	ABSCU&H/U とコンビネーションメーター間のハーネスおよびコネクタを修理する。
3 コネクタの接触不良点検	ABSCUコネクタおよびコンビネーションメーターコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	コンビネーションメーターを点検する。

7 ダイアグコード（DTC）の読取り

A: 操作

DTCの読取り手順詳細については、「スバルセレクトモニター」を参照する。（2-22の「スバルセレクトモニター」を参照のこと。）

8 点検モード

A: 手順

不具合が発生した条件をできるだけ再現する。

車両を 40 km/h (25 MPH) 以上で、1 分間以上走行させる。

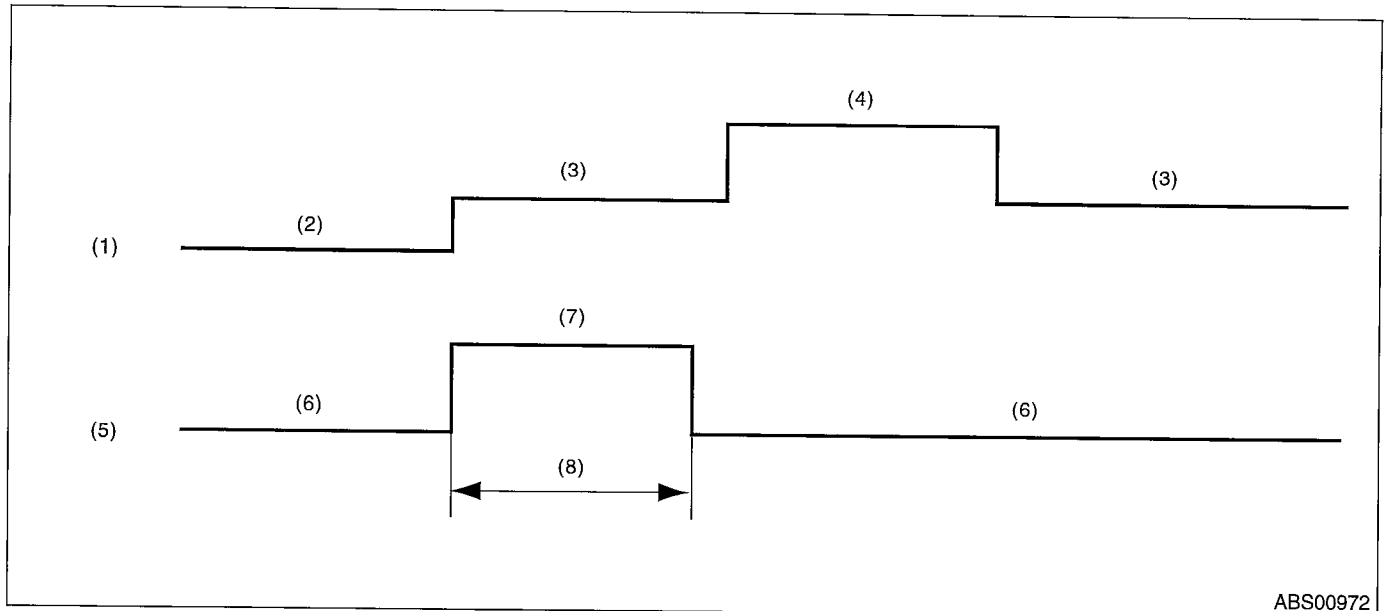
9 クリアメモリーモード

A: 操作

DTCのクリア作業の詳細については、「スバルセレクトモニター」を参照する。（2-22の「スバルセレクトモニター」を参照のこと。）

10 ABS警告灯点灯パターン

A: 点検



(1) イグニッションスイッチ

(2) OFF

(3) ON

(4) スタート

(5) ABS警告灯

(6) 消灯

(7) 点灯

(8) 約2秒

- 1) ABS警告灯がここでの点灯パターンと一致しない場合、電氣的不具合と考えられる。
- 2) ABS 警告灯が常時 OFF の場合、ABS 警告灯回路または診断回路を点検する。(2-34 の「ABS 警告灯点灯パターン、ABS警告灯が点灯しない」を参照のこと。)
- 3) ABS 警告灯が消灯しない場合、ABS 警告灯回路または診断回路を点検する。(2-36 の「ABS 警告灯点灯パターン、ABS警告灯が消灯しない」を参照のこと。)

参考：

ABS警告灯が点灯して約2秒後に消灯しない場合でも、車両が約12 km/h (7.5 MPH) で走行中に消灯すれば、ABS機能は正常に作動している。しかし、ABS警告灯点灯中、ABS機能は作動しない。

B: ABS警告灯が点灯しない

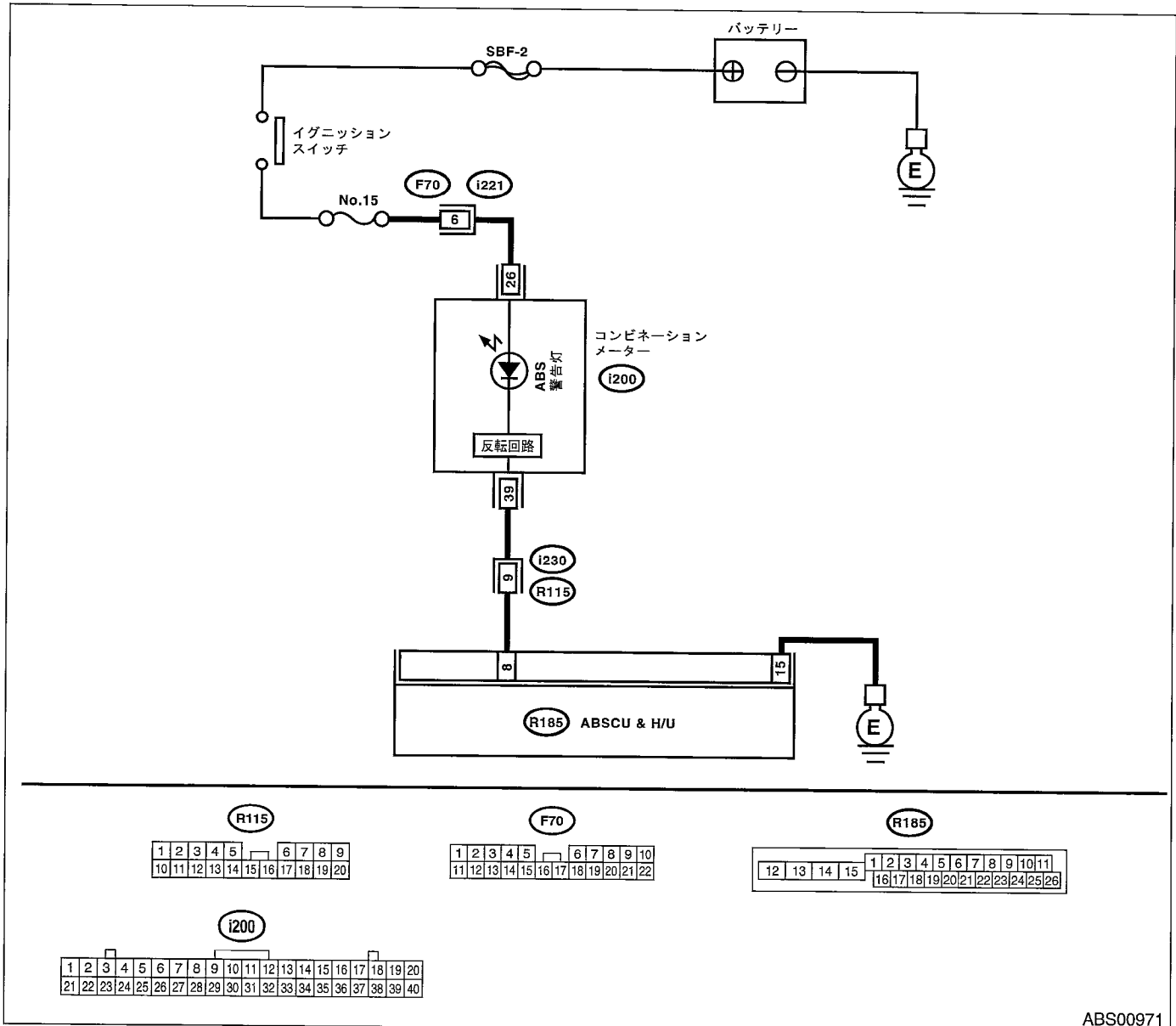
検知条件：

- コンビネーションメーターの不具合
- ハーネスの不具合

不具合の症状：

イグニッションスイッチをON（エンジンOFF）にしたとき、ABS警告灯が点灯しない。

配線図：



ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 他のランプが点灯するか点検 イグニッションスイッチをONにする。(エンジンOFF)	他の警告灯が点灯しているか?	2へ進む。	コンビネーションメーターを点検する。
2 DTCの読取り DTCを読取る。(2-30の「ダイアグコード (DTC) の読取り」を参照のこと。)	DTCは表示されるか?	DTCに従って診断を行う。	3へ進む。
3 ハーネスのアースショート点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタ (R185) を切離す。 3) コンビネーションメーターからコネクタ (i200) を切離す。 4) ABSCUコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 8 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か?	4へ進む。	ABSCU&H/U とコンビネーションメーター間のハーネスおよびコネクタを修理する。
4 ABSCUの点検 1) ABSCU&H/Uにコネクタ (F42) を接続する。 2) イグニッションスイッチをONにする。 3) イグニッションスイッチ ON 直後 (2 秒間) のコンビネーションメーターコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (i200) No. 39 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か?	コンビネーションメーターを点検する。	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)

C: ABS警告灯が消灯しない

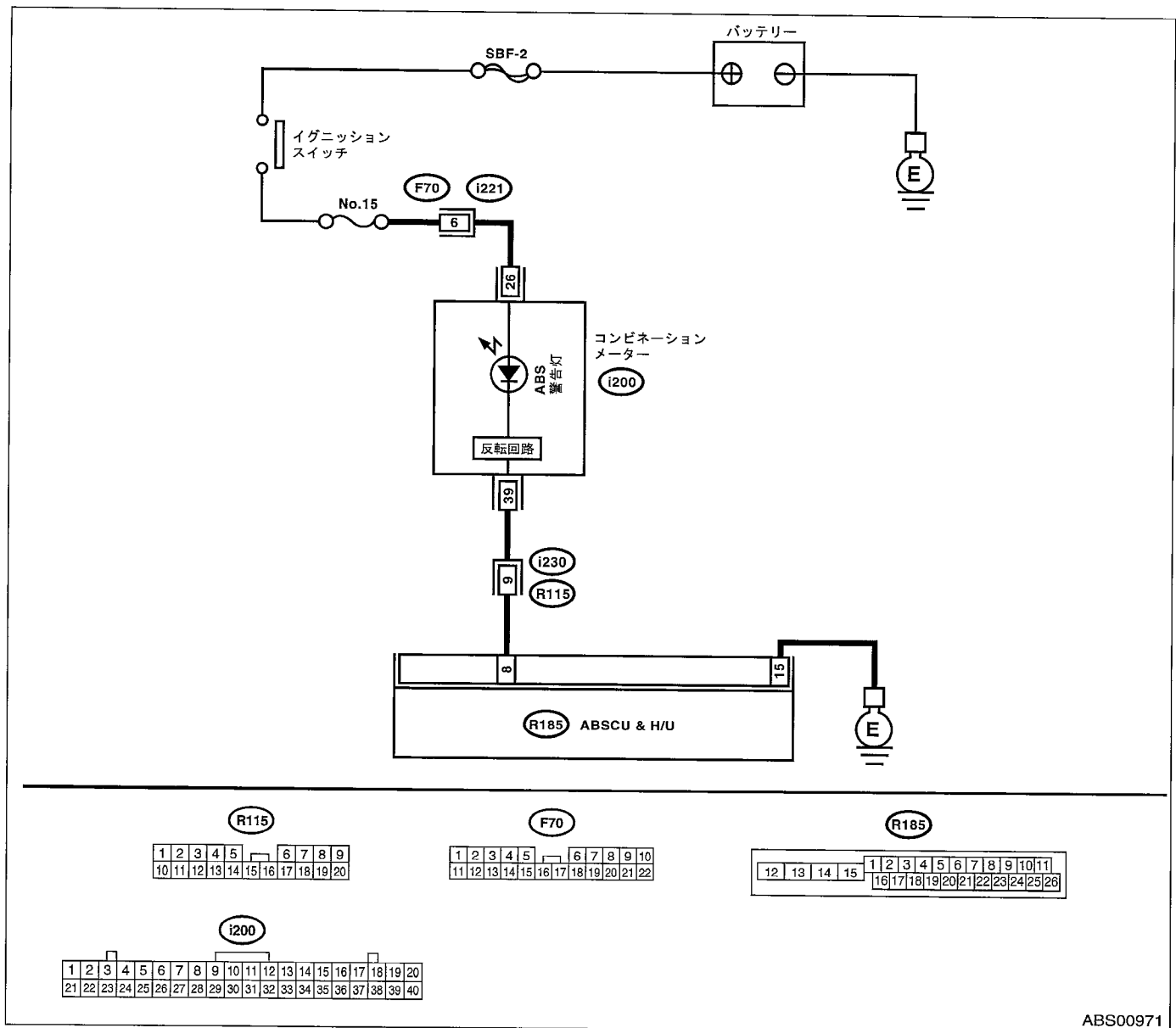
検知条件：

- コンビネーションメーターの不具合
- ハーネスの断線
- 構成部品の不具合

不具合の症状：

エンジン始動時、ABS警告灯が点灯し続ける。

配線図：



ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 DTCの読取り DTCを読取る。(2-30の「ダイアグコード (DTC) の読取り」を参照のこと。)	DTCは表示されているか？	DTCに従って診断を行う。	2へ進む。
2 ワイヤリングハーネスの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/U からコネクタ (R185) を切離す。 3) コンビネーションメーターからコネクタ (i200) を切離す。 4) ABSCUコネクタとコンビネーションメーターコネクタ間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 8 — (i200) No. 39 :	抵抗は0.5 Ω未満か？	3へ進む。	ABSCU&H/U とコンビネーションメーター間のハーネスおよびコネクタを修理する。
3 コネクタの接触不良点検 すべてのコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	コネクタを修理する。	4へ進む。
4 ABSCUの点検 1) ABSCU&H/Uにコネクタ (F42) を接続する。 2) イグニッションスイッチをONにする。 3) コンビネーションメーターコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (i200) No. 39 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	コンビネーションメーターを点検する。	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)

11 ダイアグコード (DTC) 一覧表

A: リスト

DTC	診断内容		画面	参照先
21	ABS車輪速度センサー系の不具合 (回路の断線またはショート)	フロントABS車輪速度センサー RH	FR車輪速センサ系断線／入力過大	(2-41の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 21 ABS車輪速度センサー FRの不具合 (回路断線または入力電圧が高すぎる)」を参照のこと。)
23		フロントABS車輪速度センサー LH	FL車輪速センサ系断線／入力過大	(2-41の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 23 ABS車輪速度センサー FLの不具合 (回路断線または入力電圧が高すぎる)」を参照のこと。)
25		リヤABS車輪速度センサー RH	RR車輪速センサ系断線／入力過大	(2-41の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 25 ABS車輪速度センサー RRの不具合 (回路断線または入力電圧が高すぎる)」を参照のこと。)
27		リヤABS車輪速度センサー LH	RL車輪速センサ系断線／入力過大	(2-42の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 27 ABS車輪速度センサー RLの不具合 (回路断線または入力電圧が高すぎる)」を参照のこと。)
22	ABS車輪速度センサー系の不具合 (ABS車輪速度センサーの異常信号)	フロントABS車輪速度センサー RHの異常信号	FR車輪速センサ信号	(2-47の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 22 ABS車輪速度センサー FRの不具合 (ABS車輪速度センサー信号異常)」を参照のこと。)
24		フロントABS車輪速度センサー LHの異常信号	FL車輪速センサ信号	(2-47の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 24 ABS車輪速度センサー FLの不具合 (ABS車輪速度センサー信号異常)」を参照のこと。)
26		リヤABS車輪速度センサー RHの異常信号	RR車輪速センサ信号	(2-47の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 26 ABS車輪速度センサー RRの不具合 (ABS車輪速度センサー信号異常)」を参照のこと。)
28		リヤABS車輪速度センサー LHの異常信号	RL車輪速センサ信号	(2-48の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 28 ABS車輪速度センサー RLの不具合 (ABS車輪速度センサー信号異常)」を参照のこと。)
29		ABS車輪速度センサー4つの内いずれかの異常	4輪いずれかの車輪速センサ信号	(2-53の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 29 4輪いずれかのABS車輪速度センサー信号系の不具合」を参照のこと。)
31	ハイドロリックユニット内インレットバルブ系の不具合	フロントインレットバルブ RH	FRインレットソレノイドバルブ系	(2-56の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 31 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のフロントインレットソレノイドバルブ RHの不具合」を参照のこと。)

ABS (診断)

DTC	診断内容		画面	参照先
32	ハイドロリックユニット内アウトレットバルブ系の不具合	フロントアウトレットバルブRH	FRアウトレットソレノイドバルブ系	(2-59の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 32 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のフロントアウトレットソレノイドバルブRHの不具合」を参照のこと。)
33	ハイドロリックユニット内インレットバルブ系の不具合	フロントインレットバルブLH	FLインレットソレノイドバルブ系	(2-56の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 33 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のフロントインレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)
34	ハイドロリックユニット内アウトレットバルブ系の不具合	フロントアウトレットバルブLH	FLアウトレットソレノイドバルブ系	(2-59の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 34 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のフロントアウトレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)
35	ハイドロリックユニット内インレットバルブ系の不具合	リヤインレットバルブRH	RRインレットソレノイドバルブ系	(2-56の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 35 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブRHの不具合」を参照のこと。)
36	ハイドロリックユニット内アウトレットバルブ系の不具合	リヤアウトレットバルブRH	RRアウトレットソレノイドバルブ系	(2-59の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 36 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブRHの不具合」を参照のこと。)
37	ハイドロリックユニット内インレットバルブ系の不具合	リヤインレットバルブLH	RLインレットソレノイドバルブ系	(2-57の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 37 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)
38	ハイドロリックユニット内アウトレットバルブ系の不具合	リヤアウトレットバルブLH	RLアウトレットソレノイドバルブ系	(2-60の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 38 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)
41	ABSコントロールユニットの不具合		ECU	(2-62の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 41 ABSコントロールユニットの不具合」を参照のこと。)
42	電源電圧の不具合		IG電源電圧異常	(2-64の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 42 電源電圧の不具合」を参照のこと。)

ABS（診断）

DTC	診断内容	画面	参照先
44	協調制御の不具合	協調制御異常	(2-66の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 44 協調制御の不具合」を参照のこと。)
51	バルブリレーの不具合	バルブリレー系	(2-68の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 51 バルブリレーの不具合」を参照のこと。)
52	モーター・モーターリレーの不具合	モーター・モーターリレー系	(2-70の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 52 モーターまたはモーターリレーの不具合」を参照のこと。)
54	ストップランプスイッチ回路の不具合	BLS	(2-73の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 54 ストップランプスイッチの不具合」を参照のこと。)
56	Gセンサー出力電圧の不具合	Gセンサ異常	(2-75の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 56 Gセンサー出力電圧の不具合」を参照のこと。)
56	Gセンサー出力信号の異常	Gセンサ信号	(2-78の「ダイアグコード (DTC)」を使用した場合の診断手順、DTC 56 Gセンサー出力信号の不具合」を参照のこと。)

12 ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順

A: DTC 21 ABS車輪速度センサー FRの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）

参考：

診断手順については、DTC 27を参照する。（2-42の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 27 ABS車輪速度センサー RLの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）」を参照のこと。）

B: DTC 23 ABS車輪速度センサー FLの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）

参考：

診断手順については、DTC 27を参照する。（2-42の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 27 ABS車輪速度センサー RLの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）」を参照のこと。）

C: DTC 25 ABS車輪速度センサー RRの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）

参考：

診断手順については、DTC 27を参照する。（2-42の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 27 ABS車輪速度センサー RLの不具合（回路断線または入力電圧が高すぎる）」を参照のこと。）

D: DTC 27 ABS車輪速度センサー RLの不具合 (回路断線または入力電圧が高すぎる)

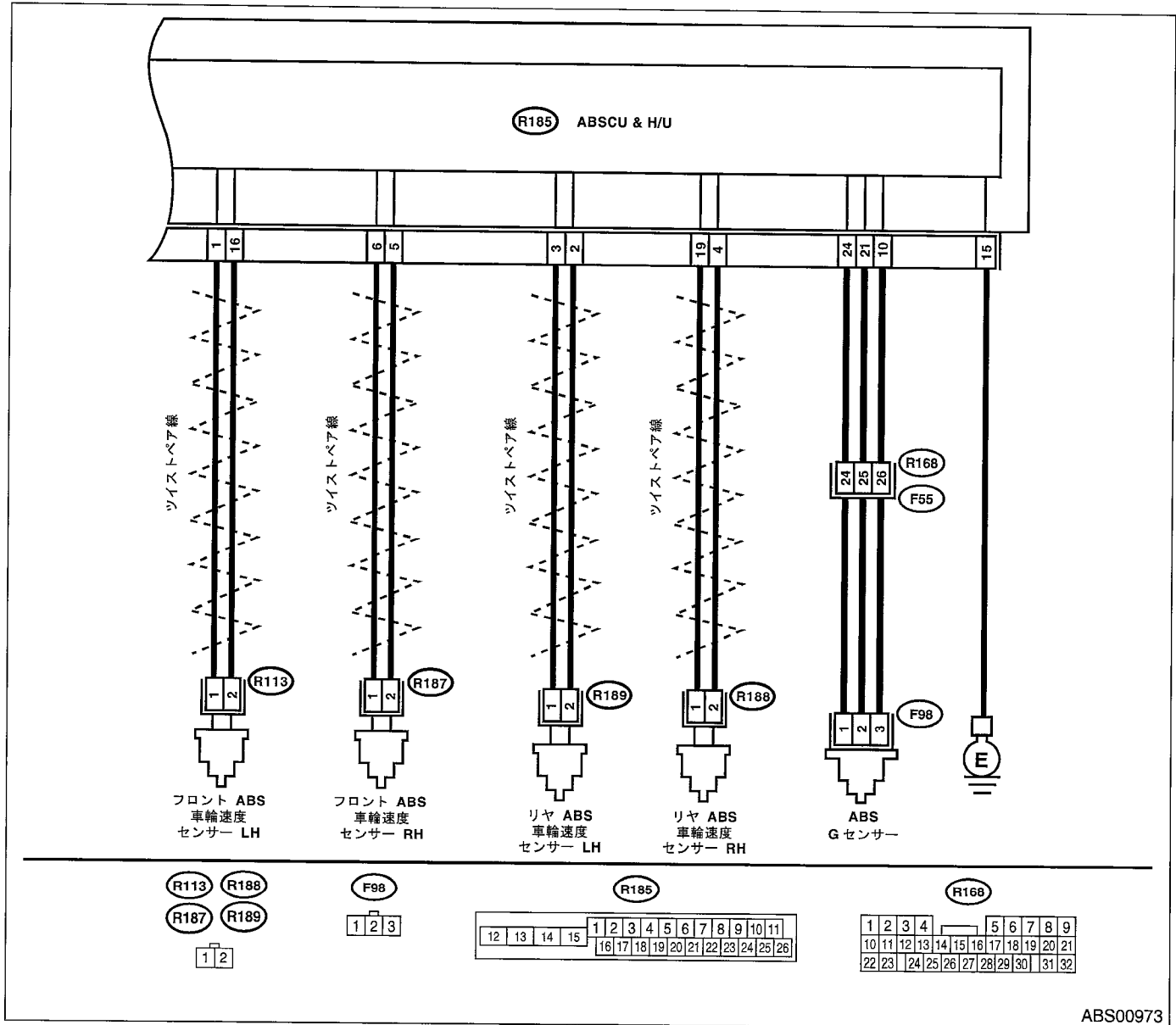
DTCの検知条件:

- ABS車輪速度センサーの不具合 (ハーネスの断線、入力電圧が高すぎる)
- ハーネスコネクターの不具合

不具合の症状:

ABSが作動しない。

配線図:



ABS00973

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 スバルセレクトモニターを使用したABS車輪速度センサーの出力点検 1) スバルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 2) スバルセレクトモニターディスプレイモードの不具合のあるシステムに一致するABS車輪速度センサー出力を読取る。	ホイールが直進位置で、加速/減速時、画面に表示されるスピードはスピードメーターに表示されているものと同じように変化するか？	2へ進む。	8へ進む。
2 ABS車輪速度センサーの取付け点検	ABS車輪速度センサー取付けボルトは18 N・m (1.8 kgf-m, 13.3 ft-lb)で締付けられているか？	3へ進む。	ABS車輪速度センサー取付けボルトを締付ける。
3 ABS車輪速度センサーすき間点検 ABS車輪速度センサー突端部とトーンホイール間のすき間を測定する。	すき間は下記の値か？ フロントホイール：0.58～1.18 mm (0.023～0.046 in) リヤホイール：0.3～0.96 mm (0.012～0.038 in)	4へ進む。	すき間を調整する。 参考： スペーサー（部品番号 26755AA000）を使用し、すき間を調整する。スペーサーですき間を調整できない場合、損傷したセンサーまたはトーンホイールを交換する。
4 トーンホイールの振れ点検 トーンホイールの振れを測定する。	振れは0.05 mm (0.0020 in) 未満か？	5へ進む。	トーンホイールを交換する。
5 コネクターの接触不良点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	6へ進む。
6 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	7へ進む。
7 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。 参考： ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスおよびコネクタを点検する。

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
8 ABS車輪速度センサー点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABS車輪速度センサーからコネクタを切離す。 3) 軽くハーネスを揺すりながら、ABS車輪速度センサー端子の抵抗を測定する。 端子 フロントRH No. 1 — No. 2 : フロントLH No. 1 — No. 2 : リヤRH No. 1 — No. 2 : リヤLH No. 1 — No. 2 :	抵抗は下記の値か？ 1 ～ 1.5 kΩ	9へ進む。	ABS車輪速度センサーを交換する。
9 ABS車輪速度センサーのバッテリーショート点検 1) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 2) ABS車輪速度センサーとボディアース間の電圧を測定する。 端子 フロントRH No. 1 (+) — ボディアース (-) : フロントLH No. 1 (+) — ボディアース (-) : リヤRH No. 1 (+) — ボディアース (-) : リヤLH No. 1 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1V未満か？	10へ進む。	ABS車輪速度センサーを交換する。
10 ABS車輪速度センサーのバッテリーショート点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) ABS車輪速度センサーとボディアース間の電圧を測定する。 端子 フロントRH No. 1 (+) — ボディアース (-) : フロントLH No. 1 (+) — ボディアース (-) : リヤRH No. 1 (+) — ボディアース (-) : リヤLH No. 1 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1V未満か？	11へ進む。	ABS車輪速度センサーを交換する。

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
11 ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスコネクタ点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABS車輪速度センサーにコネクタを接続する。 3) ABSCU&H/Uコネクタ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 DTC 21 (R185) No. 6 — No. 5 : DTC 23 (R185) No. 1 — No. 16 : DTC 25 (R185) No. 19 — No. 4 : DTC 27 (R185) No. 3 — No. 2 :	抵抗は下記の値か？ 1 ~ 1.5 kΩ	12へ進む。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスコネクタを修理する。
12 ハーネスのバッテリーショート点検 ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 DTC 21 (R185) No. 6 (+) — ボディアース (-) : DTC 23 (R185) No. 1 (+) — ボディアース (-) : DTC 25 (R185) No. 19 (+) — ボディアース (-) : DTC 27 (R185) No. 3 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1 V未満か？	13へ進む。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスを修理する。
13 ハーネスのバッテリーショート点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 DTC 21 (R185) No. 6 (+) — ボディアース (-) : DTC 23 (R185) No. 1 (+) — ボディアース (-) : DTC 25 (R185) No. 19 (+) — ボディアース (-) : DTC 27 (R185) No. 3 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1 V未満か？	14へ進む。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスを修理する。
14 ABS車輪速度センサーの取付け点検	ABS車輪速度センサー取付けボルトは18 N・m (1.8 kgf-m, 13.3 ft-lb)で締付けられているか？	15へ進む。	ABS車輪速度センサー取付けボルトを締付ける。
15 ABS車輪速度センサーすき間点検 ABS車輪速度センサー突端部とトーンホイール間のすき間を測定する。	すき間は下記の値か？ フロントホイール : 0.58 ~ 1.18 mm (0.023 ~ 0.046 in) リヤホイール : 0.3 ~ 0.96 mm (0.012 ~ 0.038 in)	16へ進む。	すき間を調整する。 参考： スペーサー (部品番号 26755AA000) を使用し、すき間を調整する。スペーサーですき間を調整できない場合、損傷したセンサーまたはトーンホイールを交換する。

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
16 トーンホイールの振れ点検 トーンホイールの振れを測定する。	振れは0.05 mm (0.0020 in) 未満か？	17へ進む。	トーンホイールを交換する。
17 ABS車輪速度センサーのアースショート点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) ABS車輪速度センサーとボディアース間の抵抗を測定する。 端子 フロントRH No. 1 — ボディアース : フロントLH No. 1 — ボディアース : リヤRH No. 1 — ボディアース : リヤLH No. 1 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	18へ進む。	ABSCU&H/U、およびABS車輪速度センサーを交換する。
18 ハーネスのアースショート点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABS車輪速度センサーにコネクタを接続する。 3) ABSCU&H/Uコネクタ端子とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 DTC 21 (R185) No. 6 — ボディアース : DTC 23 (R185) No. 1 — ボディアース : DTC 25 (R185) No. 19 — ボディアース : DTC 27 (R185) No. 3 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	19へ進む。	ABSCU&H/U と ABS車輪速度センサー間のハーネスを修理する。ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)」を参照のこと。)
19 コネクタの接触不良点検	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	20へ進む。
20 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読み取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。	21へ進む。
21 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。 参考： ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスおよびコネクタを点検する。

E: DTC 22 ABS車輪速度センサー FRの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）

参考：

診断手順については、DTC 28を参照する。（2-48の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 28 ABS車輪速度センサー RLの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）」を参照のこと。）

F: DTC 24 ABS車輪速度センサー FLの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）

参考：

診断手順については、DTC 28を参照する。（2-48の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 28 ABS車輪速度センサー RLの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）」を参照のこと。）

G: DTC 26 ABS車輪速度センサー RRの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）

参考：

診断手順については、DTC 28を参照する。（2-48の「ダイアグコード（DTC）を使用した場合の診断手順、DTC 28 ABS車輪速度センサー RLの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）」を参照のこと。）

H: DTC 28 ABS車輪速度センサー RLの不具合（ABS車輪速度センサー信号異常）

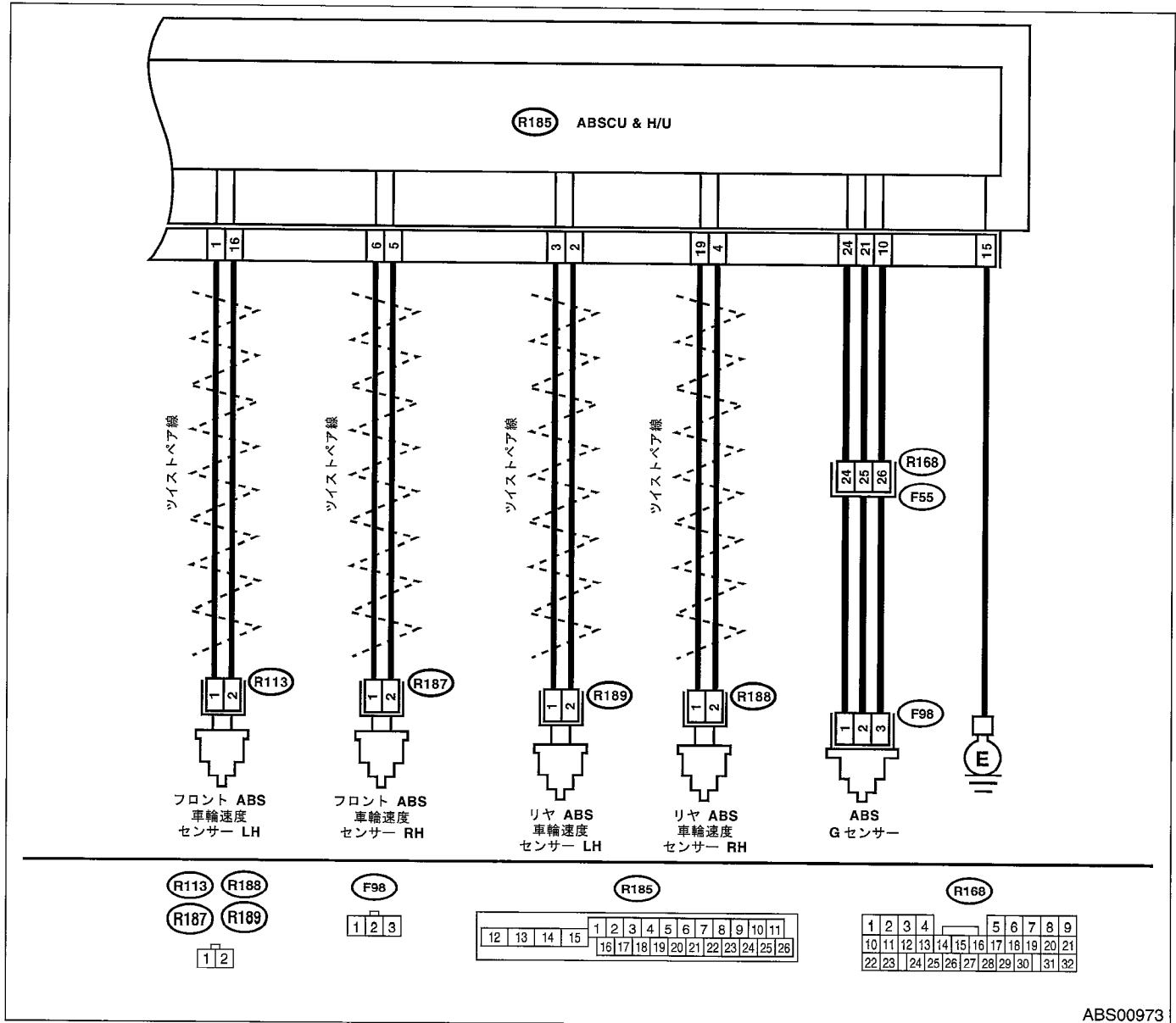
DTCの検知条件：

- ABS車輪速度センサー信号の不具合（ノイズ、異常信号など）
- ハーネスコネクターの不具合

不具合の症状：

ABSが作動しない。

配線図：



ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 スパルセレクトモニターを使用したABS車輪速度センサーの出力点検 1) スパルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 2) スパルセレクトモニターディスプレイモードの不具合のあるシステムに一致するABS車輪速度センサー出力を読取る。	ホイールが直進位置で、加速／減速時、画面に表示されるスピードはスピードメーターに表示されているものと同じように変化するか？	2へ進む。	7へ進む。
2 コネクターの接触不良点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	3へ進む。
3 信号ノイズの原因確認 カーフォン、無線機等の電波使用機器、電子機器が正しく取付けられているか確認する。	カーフォンまたは無線機等の電波使用機器、電子機器は正しく取付けられているか？	4へ進む。	電波使用機器、電子機器を正しく取付ける。
4 信号ノイズの原因確認	ノイズの原因となるもの（アンテナ類）が、センサーハーネスの近くに取付けられているか？	ノイズの原因となるものを、センサーハーネスから離して取付ける。	5へ進む。
5 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。（1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット（ABSCU&H/U）」を参照のこと。）	6へ進む。
6 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的なノイズの影響によるものである。
7 ABS車輪速度センサーの取付け点検	ABS車輪速度センサー取付けボルトは18 N・m (1.8 kgf-m, 13.3 ft-lb) で締付けられているか？	8へ進む。	ABS車輪速度センサー取付けボルトを締付ける。
8 ABS車輪速度センサーすき間点検 ABS車輪速度センサー突端部～トーンホイール間のすき間を測定する。	すき間は下記の値か？ フロントホイール：0.58～1.18 mm (0.023～0.046 in) リヤホイール：0.3～0.96 mm (0.012～0.038 in)	9へ進む。	すき間を調整する。 参考： スパーサー（部品番号 26755AA000）を使用し、すき間を調整する。スパーサーですき間を調整できない場合、損傷したセンサーまたはトーンホイールを交換する。
9 オシロスコープの準備	オシロスコープは使用可能か？	10へ進む。	11へ進む。

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
10 ABS車輪速度センサー信号点検 1) 車両をリフトアップする。 2) イグニッションスイッチをOFFにする。 3) オシロスコープをコネクタに接続する。 4) イグニッションスイッチをONにする。 5) ホイールを回転させ、規定の周波数における電圧を測定する。(2-19の「コントロールユニット I/O信号、仕様（電装品）」を参照のこと。) DTC を読取る。 参考： この点検の完了後、ABSCU&H/UがDTC 29またはDTC 56を記録する場合がある。 コネクタ & 端子 DTC 22 (R187) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 24 (R113) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 26 (R188) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 28 (R189) No. 1 (+) — No. 2 (-)	オシロスコープのパターンは表に示すような電圧を示すか？ (2-19の「コントロールユニット I/O信号、仕様（電装品）」を参照のこと。)	14へ進む。	11へ進む。
11 ABS車輪速度センサーまたはトーンホイールの汚れ点検 DTCに従って、ハブからディスクローターまたはドラムを取外す。	ABS車輪速度センサーの突端部またはトーンホイールは、泥やその他の異物で汚れているか？	泥またはその他の異物を完全に取除く。	12へ進む。
12 ABS車輪速度センサーまたはトーンホイールの損傷点検	ABS車輪速度センサー突端部またはトーンホイールに破損、損傷があるか？	13へ進む。	ABS車輪速度センサーまたはトーンホイールを交換する。
13 トーンホイールの振れ点検 トーンホイールの振れを測定する。	振れは0.05 mm (0.0020 in) 未満か？	14へ進む。	トーンホイールを交換する。
14 ABS車輪速度センサーの抵抗点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABS車輪速度センサーからコネクタを切離す。 3) ハーネスを軽く揺すりながら、ABS車輪速度センサーコネクタ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 フロントRH No. 1 — No. 2 : フロントLH No. 1 — No. 2 : リヤRH No. 1 — No. 2 : リヤLH No. 1 — No. 2 :	抵抗は下記の値か？ 1 ~ 1.5 kΩ	15へ進む。	ABS車輪速度センサーを交換する。

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
15 ABS車輪速度センサーのアースショート点検 ABS車輪速度センサーとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 フロントRH No. 1 — ボディアース : フロントLH No. 1 — ボディアース : リヤRH No. 1 — ボディアース : リヤLH No. 1 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	16へ進む。	ABS車輪速度センサーを交換する。
16 ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスコネクタ点検 1) ABS車輪速度センサーにコネクタを接続する。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/Uコネクタ端子の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 DTC 22 (R185) No. 6 — No. 5 : DTC 24 (R185) No. 1 — No. 16 : DTC 26 (R185) No. 19 — No. 4 : DTC 28 (R185) No. 3 — No. 2 :	抵抗は下記の値か？ 1 ~ 1.5 kΩ	17へ進む。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスコネクタを修理する。
17 ハーネスのアースショート点検 ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 DTC 22 (R185) No. 6 — ボディアース : DTC 24 (R185) No. 1 — ボディアース : DTC 26 (R185) No. 19 — ボディアース : DTC 28 (R185) No. 3 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	18へ進む。	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のハーネスコネクタを修理する。
18 ABSCU&H/Uのアース回路点検 ABSCU&H/Uとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	19へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
19 コネクタの接触不良点検	ABSCU&H/UとABS車輪速度センサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	20へ進む。
20 信号ノイズの原因確認 カーフォン、無線機等の電波使用機器、電子機器が正しく取付けられているか確認する。	カーフォンまたは無線機等の電波使用機器、電子機器は正しく取付けられているか？	21へ進む。	電波使用機器、電子機器を正しく取付ける。

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
21 信号ノイズの原因確認	ノイズの原因となるもの（アンテナ類）が、センサーハーネスの近くに取り付けられているか？	ノイズの原因となるものを、センサーハーネスから離して取付ける。	22へ進む。
22 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。（1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット（ABSCU&H/U）」を参照のこと。）	23へ進む。
23 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的なノイズの影響によるものである。 参考： この時点ではABS警告灯は点灯したままであるが、これは正常である。ABS警告灯を消灯させるには、車両を約12 km/h (7.46 MPH) 以上で走行させなければならない。必ず車両を走行させて、警告灯が消灯することを確認する。

I: DTC 29 4輪いずれかのABS車輪速度センサー信号系の不具合

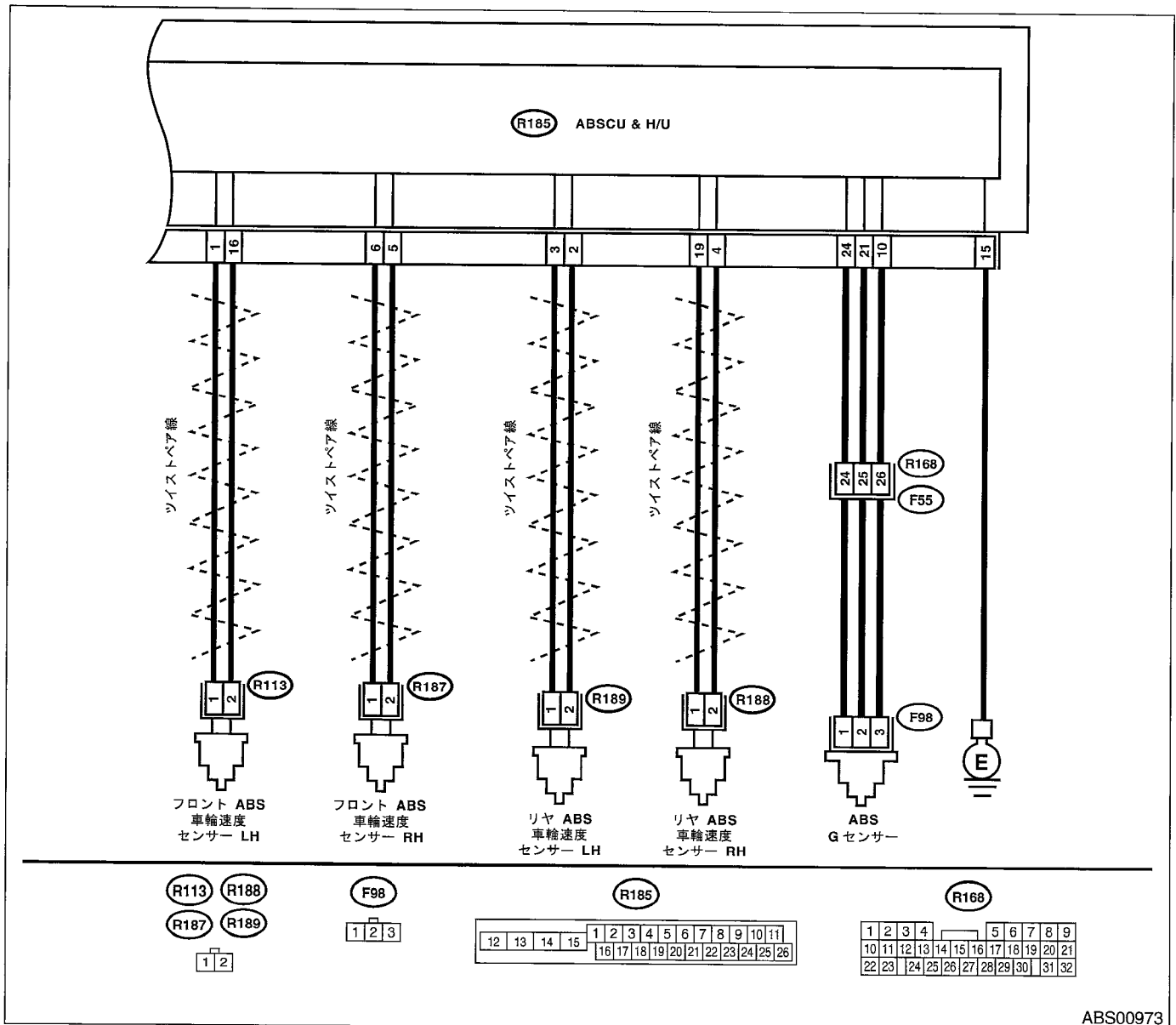
DTCの検知条件：

- ABS車輪速度センサー信号の不具合（ノイズ、異常信号など）
- トーンホイールの不具合
- ホイールを長時間空転させた場合

不具合の症状：

- ABSが作動しない。

配線図：



ABS00973

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ホイール空転の有無	ジャッキアップ時、フルロックコーナリング時、またはタイヤが路面に接地していないとき、ホイールが1分間以上、空転し続けたか？	ABSは正常。メモリーを消去する。 参考： 車両けん引時、またはジャッキアップ時、連続してハンドルをいっぱいにかいている時、ホイールが長時間空転すると、このDTCが検出される場合がある。	2へ進む。
2 タイヤの仕様確認 イグニッションスイッチをOFFにする。	タイヤの仕様は正しいか？	3へ進む。	タイヤを交換する。
3 タイヤの摩耗点検	タイヤは過度に摩耗しているか？	タイヤを交換する。	4へ進む。
4 タイヤの空気圧確認	タイヤの空気圧は適切か？	5へ進む。	タイヤ空気圧を調整する。
5 ABS車輪速度センサーの取付け点検	ABS車輪速度センサー取付けボルトは18 N・m (1.8 kgf-m, 13.3 ft-lb)で締付けられているか？	6へ進む。	ABS車輪速度センサー取付けボルトを締付ける。
6 ABS車輪速度センサーすき間点検 ABS車輪速度センサー突端部とトーンホイール間のすき間を測定する。	すき間は下記の値か？ フロントホイール：0.58～1.18 mm (0.023～0.046 in) リヤホイール：0.3～0.96 mm (0.012～0.038 in)	7へ進む。	すき間を調整する。 参考： スパーサー（部品番号 26755AA000）を使用し、すき間を調整する。スパーサーですき間を調整できない場合、損傷したセンサーまたはトーンホイールを交換する。
7 オシロスコープの準備	オシロスコープは使用可能か？	8へ進む。	9へ進む。

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
8 ABS車輪速度センサー信号点検 1) 車両をリフトアップする。 2) イグニッションスイッチをOFFにする。 3) オシロスコープをコネクタに接続する。 4) イグニッションスイッチをONにする。 5) ホイールを回転させ、規定の周波数における電圧を測定する。(2-19の「コントロールユニット I/O信号、仕様 (電装品)」を参照のこと。) DTC を読取る。 参考： この点検の完了後、ABSCU&H/U がDTC 29またはDTC 56を記録する場合がある。 コネクタ & 端子 DTC 22 (R187) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 24 (R113) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 26 (R188) No. 1 (+) — No. 2 (-) DTC 28 (R189) No. 1 (+) — No. 2 (-)	オシロスコープのパターンは表に示すような電圧を示すか？ (2-19の「コントロールユニット I/O信号、仕様 (電装品)」を参照のこと。)	12へ進む。	9へ進む。
9 ABS車輪速度センサーまたはトーンホイールの汚れ点検 ハブからディスクローターまたはドラムを取外す。	ABS車輪速度センサーの突端部またはトーンホイールは、泥やその他の異物で汚れているか？	泥またはその他の異物を完全に取除く。	10へ進む。
10 ABS車輪速度センサーまたはトーンホイールの損傷点検	ABS車輪速度センサー突端部またはトーンホイールに破損したり損傷した歯があるか？	ABS車輪速度センサー、またはトーンホイールを交換する。	11へ進む。
11 トーンホイールの振れ点検 トーンホイールの振れを測定する。	振れは0.05 mm (0.0020 in) 未満か？	12へ進む。	トーンホイールを交換する。
12 ABSCU&H/U点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) すべてのコネクタを接続する。 3) メモリーを消去する。 4) 点検モードを実施する。 5) DTCを読取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	13へ進む。
13 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

J: DTC 31 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のフロントインレットソレノイドバルブRHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 37を参照する。(2-57の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 37 ABS コントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

K: DTC 33 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のフロントインレットソレノイドバルブLHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 37を参照する。(2-57の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 37 ABS コントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

L: DTC 35 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブRHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 37を参照する。(2-57の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 37 ABS コントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

M: DTC 37 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット
(ABSCU&H/U)内のリヤインレットソレノイドバルブLHの不具合

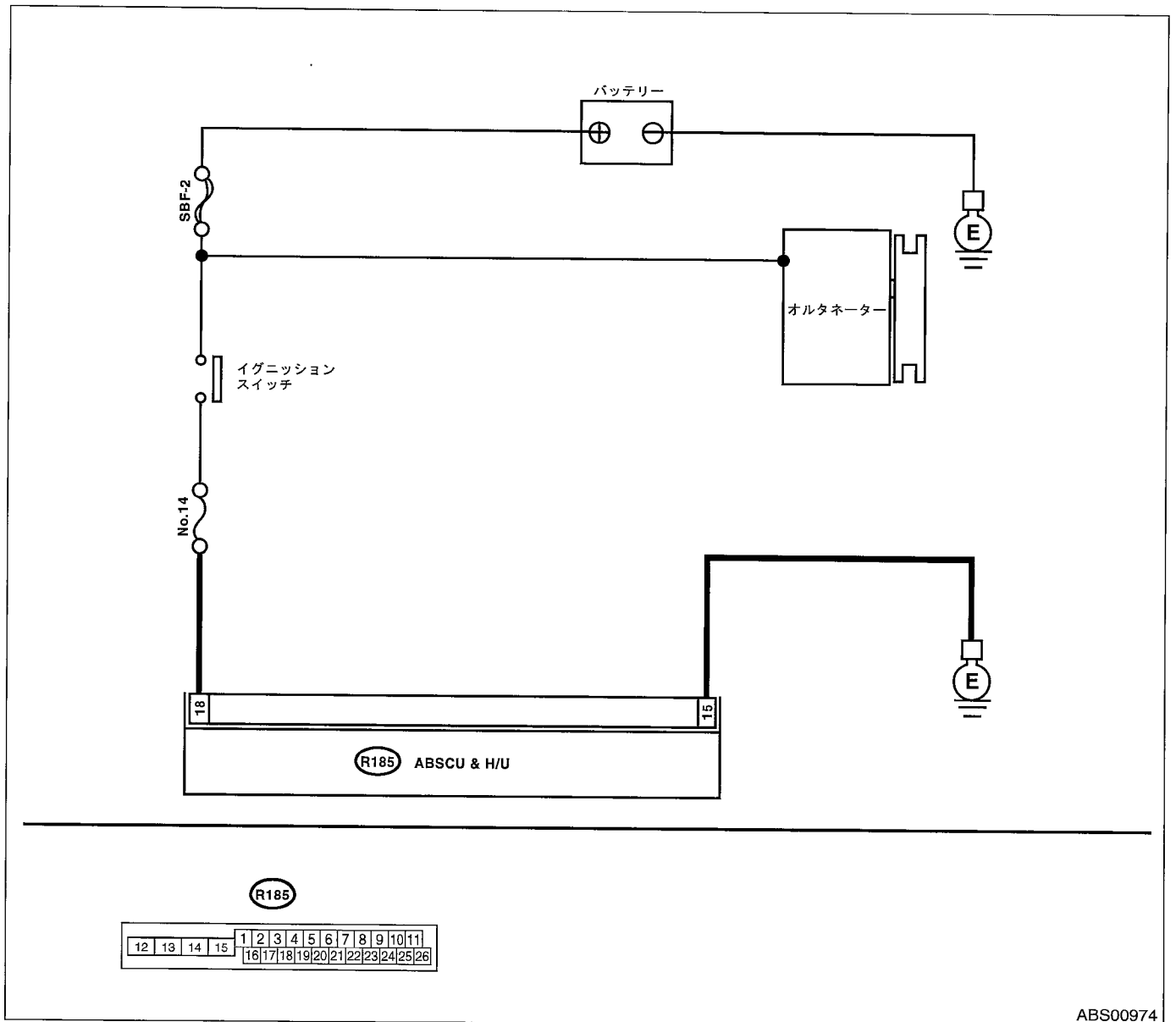
DTCの検知条件：

- ハーネスコネクタの不具合
- インレットソレノイドバルブの不具合

不具合の症状：

- ABSが作動しない。

配線図：



ABS00974

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) エンジンアイドリングさせる。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 18 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	2へ進む。	バッテリー、イグニッションスイッチおよび ABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
2 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	3へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
3 コネクタの接触不良点検	オルタネーター、バッテリーおよびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	4へ進む。
4 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読み取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	5へ進む。
5 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

N: DTC 32 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のフロントアウトレットソレノイドバルブRHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 38を参照する。(2-60の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 38 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

O: DTC 34 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のフロントアウトレットソレノイドバルブLHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 38を参照する。(2-60の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 38 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

P: DTC 36 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブRHの不具合

参考：

診断手順については、DTC 38を参照する。(2-60の「ダイアグコード (DTC) を使用した場合の診断手順、DTC 38 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット(ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブLHの不具合」を参照のこと。)

Q: DTC 38 ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)内のリヤアウトレットソレノイドバルブLHの不具合

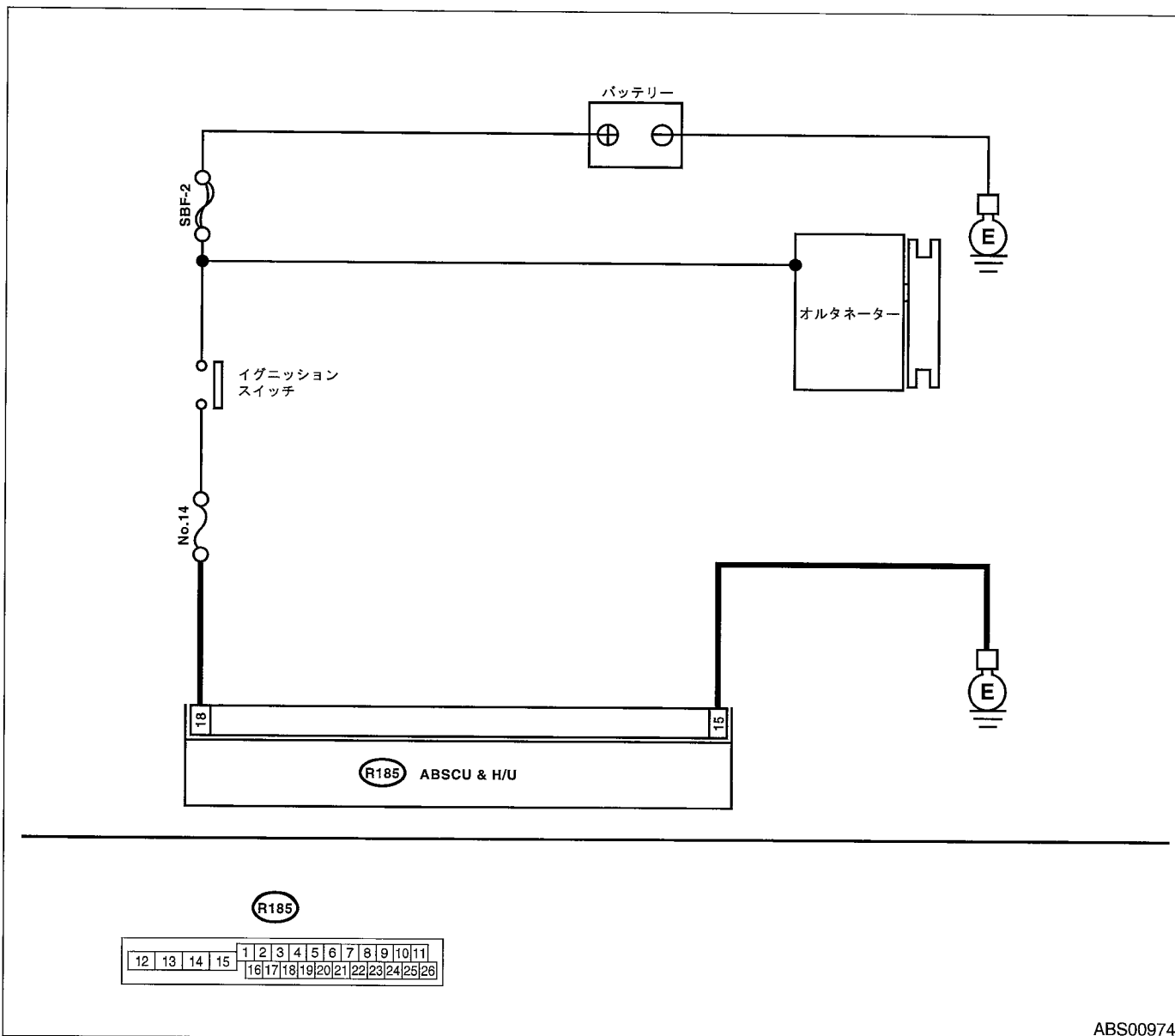
DTCの検知条件：

- ハーネスコネクタの不具合
- アウトレットソレノイドバルブの不具合

不具合の症状：

- ABSが作動しない。

配線図：



ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) エンジンをアイドリングさせる。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 18 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	2へ進む。	バッテリー、イグニッションスイッチおよび ABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
2 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	3へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
3 コネクタの接触不良点検	オルタネーター、バッテリーおよびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	4へ進む。
4 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	5へ進む。
5 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適した診断を行う。	一時的な接触不良である。

R: DTC 41 ABSコントロールユニットの不具合

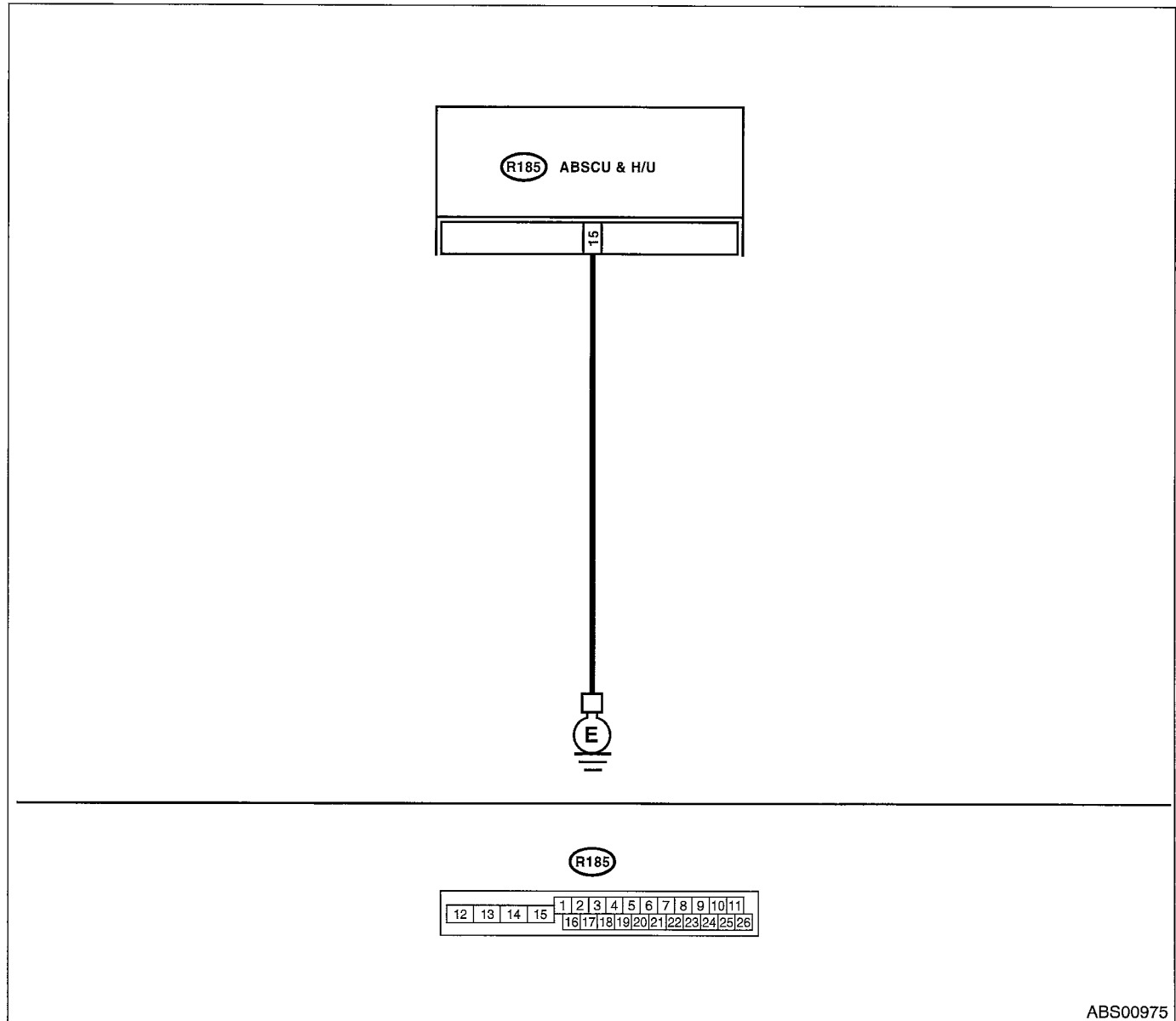
DTCの検知条件：

ABSCU&H/Uの不具合

不具合の症状：

ABSが作動しない。

配線図：



ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/U とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	2へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
2 コネクタの接触不良点検	バッテリー、イグニッションスイッチおよびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	3へ進む。
3 信号ノイズの原因確認 カーフォン、無線機等の電波使用機器、電子機器が正しく取付けられているか確認する。	カーフォンまたは無線機等の電波使用機器、電子機器は正しく取付けられているか？	4へ進む。	電波使用機器、電子機器を正しく取付ける。
4 信号ノイズの原因確認	ノイズの原因となるもの（アンテナ類）が、センサーハーネスの近くに取付けられているか？	ノイズの原因となるものを、センサーハーネスから離して取付ける。	5へ進む。
5 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適した診断を行う。	一時的な接触不良である。

S: DTC 42 電源電圧の不具合

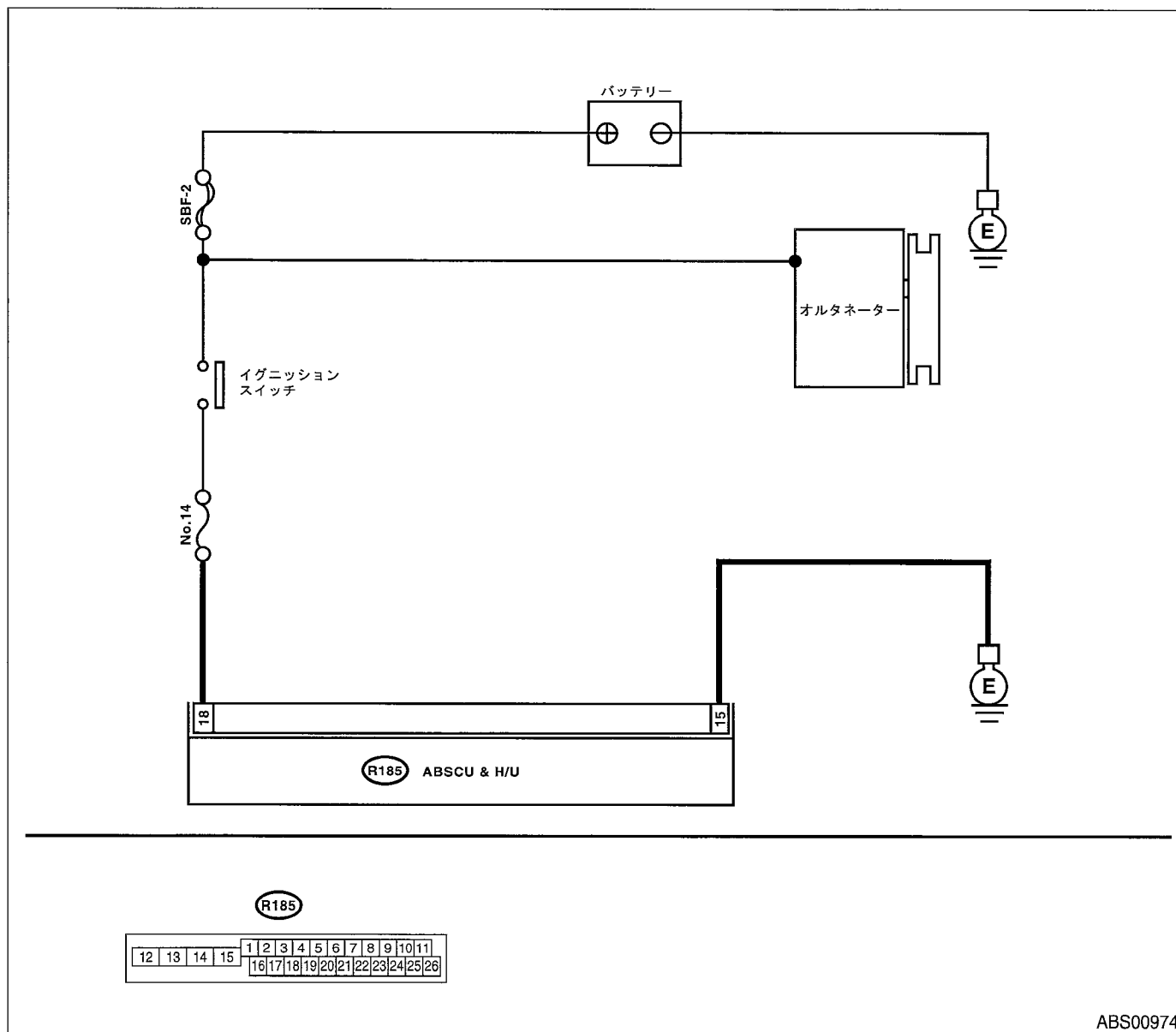
DTCの検知条件：

ABSCU&H/Uの電源電圧の不具合。

不具合の症状：

- ABSが作動しない。

配線図：



ABS00974

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 オルタネーター点検 1) エンジンを開始する。 2) 暖機後、アイドリングさせる。 3) オルタネーター B端子とボディアース間の電圧を測定する。 端子 オルタネーター-B端子 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	2へ進む。	オルタネーターを修理する。
2 バッテリー端子点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	プラスおよびマイナスのバッテリー端子は確実に締付けられているか？	3へ進む。	端子を締付ける。
3 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 2) エンジンをアイドリングさせる。 3) ヘッドランプ、エアコン、デフォッガー等の電気負荷がかかる装置を作動させる。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 18 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	4へ進む。	バッテリー、イグニッションスイッチおよび ABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
4 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	5へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
5 コネクタの接触不良点検	オルタネーター、バッテリーおよびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	6へ進む。
6 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	7へ進む。
7 画面にその他のDTCがない点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

T: DTC 44 協調制御の不具合

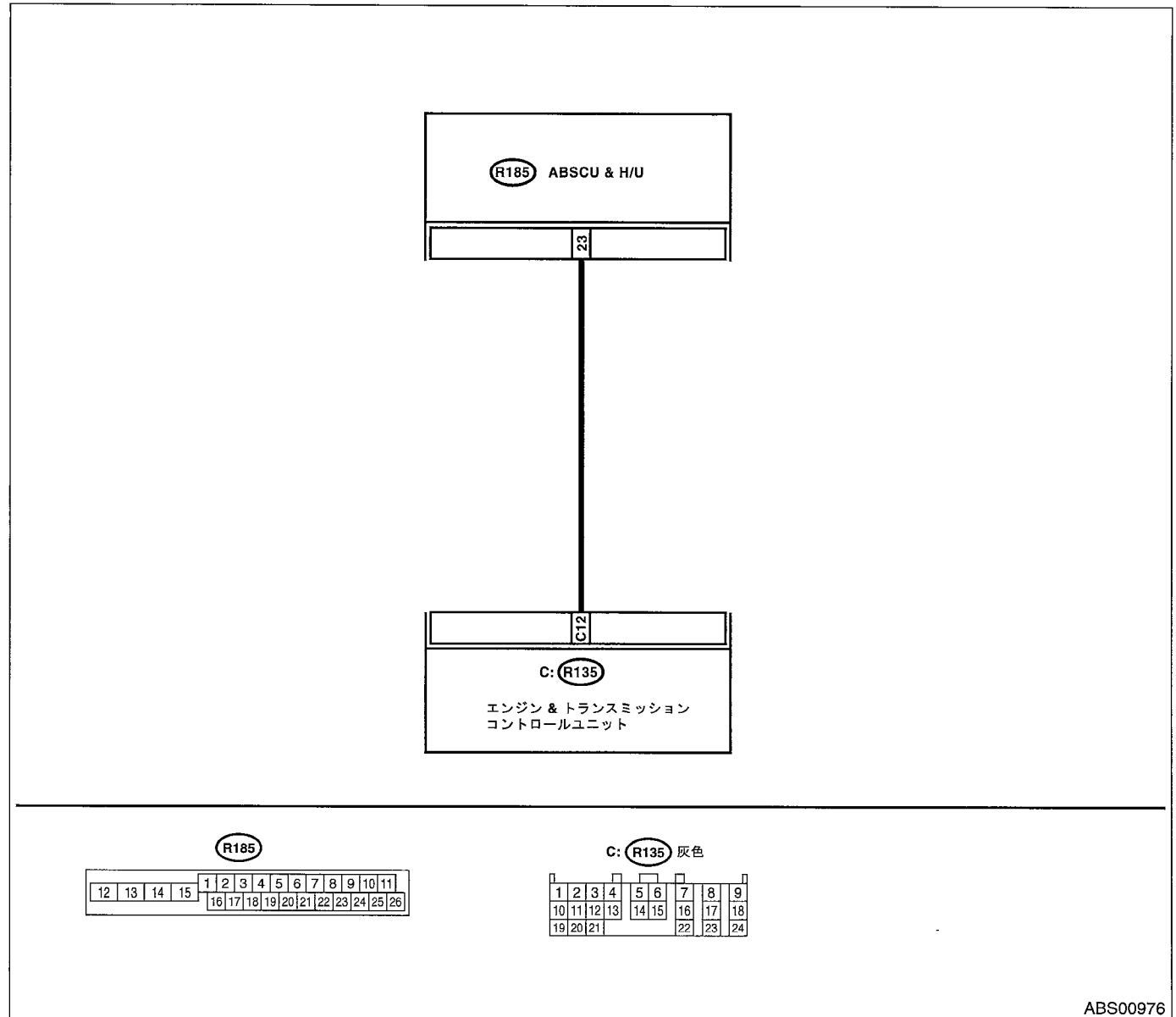
診断：

協調制御系の不具合

不具合症状：

ABSが作動しない。

配線図：



ABS00976

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ABSCU&H/Uの仕様点検 ABSCU&H/Uにある仕様のマークを確認する。 U1 : AWD WGN, VAN U2 : AWD TRK U3 : RWD	車両の仕様とABSCU&H/Uの仕様は一致しているか？	2へ進む。	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)
2 ハーネスのアースショート点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) エンジン&トランスミッションコントロールユニットからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 23 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	3へ進む。	ABSCU&H/U とエンジン&トランスミッションコントロールユニット間のハーネスを修理する。
3 エンジン&トランスミッションコントロールユニット点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) エンジン&トランスミッションコントロールユニットにすべてのコネクタを接続する。 3) イグニッションスイッチをONにする。 4) エンジン&トランスミッションコントロールユニットコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R135) No. 12 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	5へ進む。	4へ進む。
4 AT点検	ATは正常に機能しているか？	エンジン&トランスミッションコントロールユニットを交換する。	ATを修理する。
5 ハーネスの断線回路点検 ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 23 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	6へ進む。	ABSCU&H/U とエンジン&トランスミッションコントロールユニット間のハーネスコネクタを修理する。
6 コネクタの接触不良点検	エンジン&トランスミッションコントロールユニットとABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	7へ進む。
7 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	まだ、同じDTCが出力されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	8へ進む。
8 その他のDTC検出確認	他にDTCが出力されたか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

U: DTC 51 バルブリレーの不具合

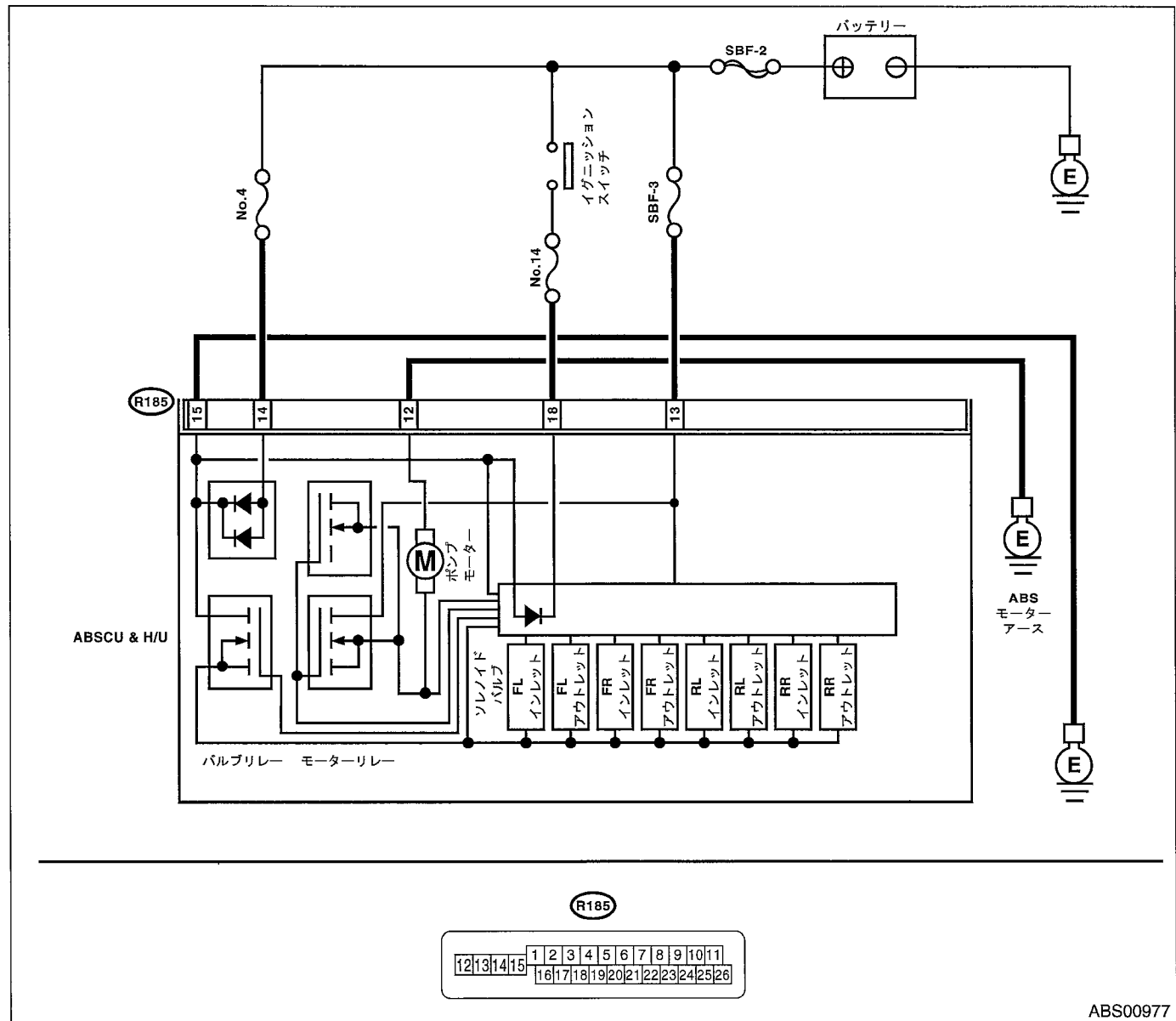
DTCの検知条件：

バルブリレーの不具合

不具合の症状：

- ABSが作動しない。

配線図：



ABS00977

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) エンジンをアイドリングさせる。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 18 (+) — ボディアース (-) : (R185) No. 14 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	2へ進む。	バッテリーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
2 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	3へ進む。	ABSCU&H/Uアースハーネスを修理する。
3 ABSCU&H/Uのバルブリレー点検 ABSCU&H/Uの端子間の抵抗を測定する。 端子 No. 14 — No. 15 :	抵抗は1 MΩ以上か？	4へ進む。	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)
4 コネクタの接触不良点検	オルタネーター、バッテリーおよびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	5へ進む。
5 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読み取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

V: DTC 52 モーターまたはモーターリレーの不具合

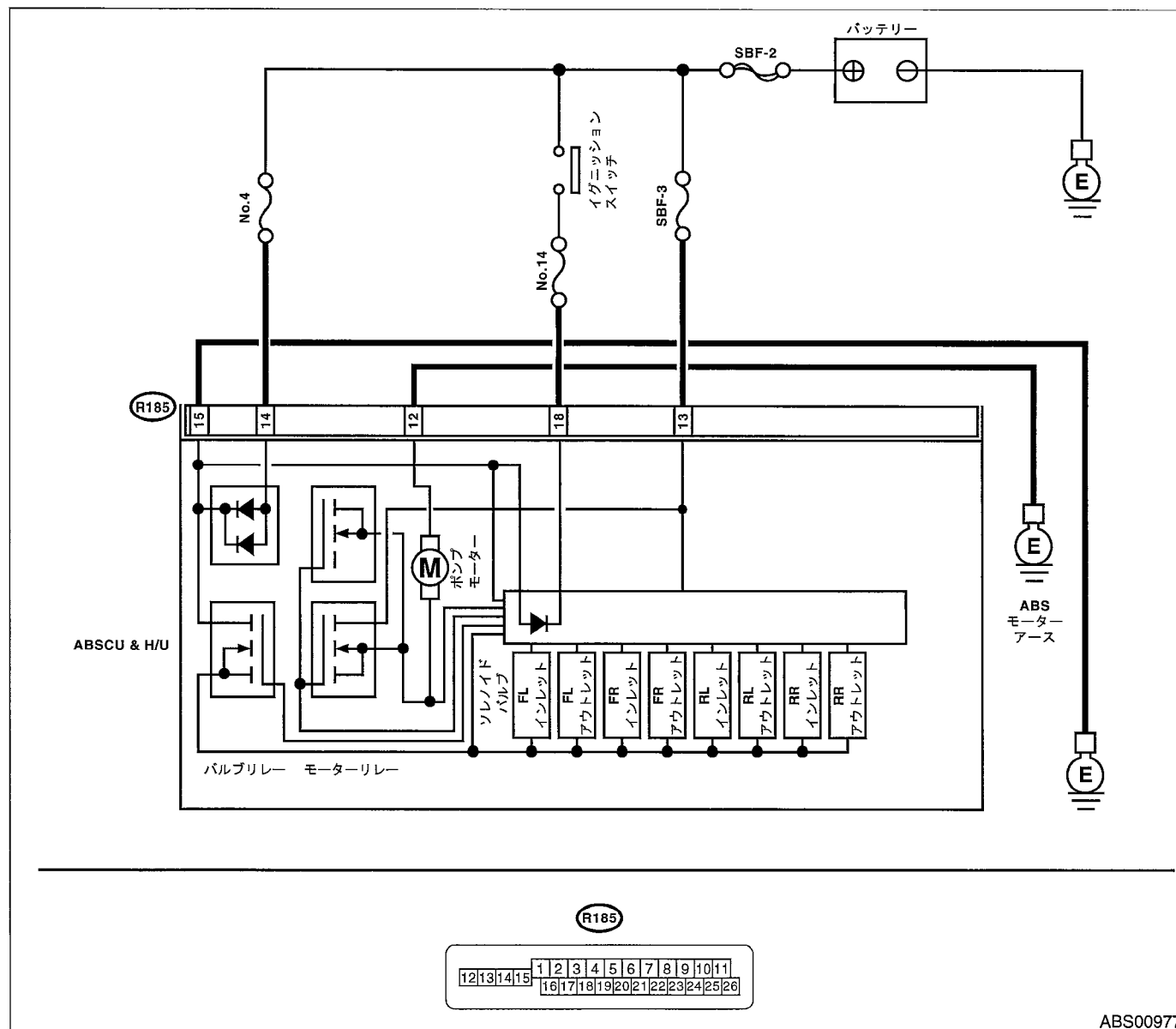
DTCの検知条件：

- モーターの不具合
- モーターリレーの不具合
- ハーネスコネクタの不具合

不具合の症状：

ABSが作動しない。

配線図：



ABS00977

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 アースボルトの緩み点検 ABSCU&HUのモーターのアースボルトの緩みを点検する。	アースボルトに緩みはあるか？	ボルトを13 N・m (1.3 kgf-m, 9.4 ft-lb) のトルクで締付ける。	2へ進む。
2 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) イグニッションスイッチをONにする。 4) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 13 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	3へ進む。	バッテリーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
3 モーターのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 12 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	4へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
4 ABSCU&H/Uの入力電圧点検 1) エンジンをアイドリングさせる。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 18 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	5へ進む。	バッテリー、イグニッションスイッチおよびABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
5 ABSCU&H/Uのアース回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 15 — ボディアース :	抵抗は0.5 Ω未満か？	6へ進む。	ABSCU&H/U アースハーネスを修理する。
6 モーターの作動点検 シーケンスコントロールの実施。(1-9の「ABSシーケンスコントロール」を参照のこと。) 参考： ダイアグコネクタを使用して、シーケンスコントロールを実施する。	シーケンスコントロール実施時に、モーター回転ノイズ(バズ音)が聞こえるか？	7へ進む。	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)
7 コネクタの接触不良点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	オルタネーター、バッテリー、およびABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	8へ進む。
8 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCU&H/Uを交換する。(1-5の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)」を参照のこと。)	9へ進む。

ABS（診断）

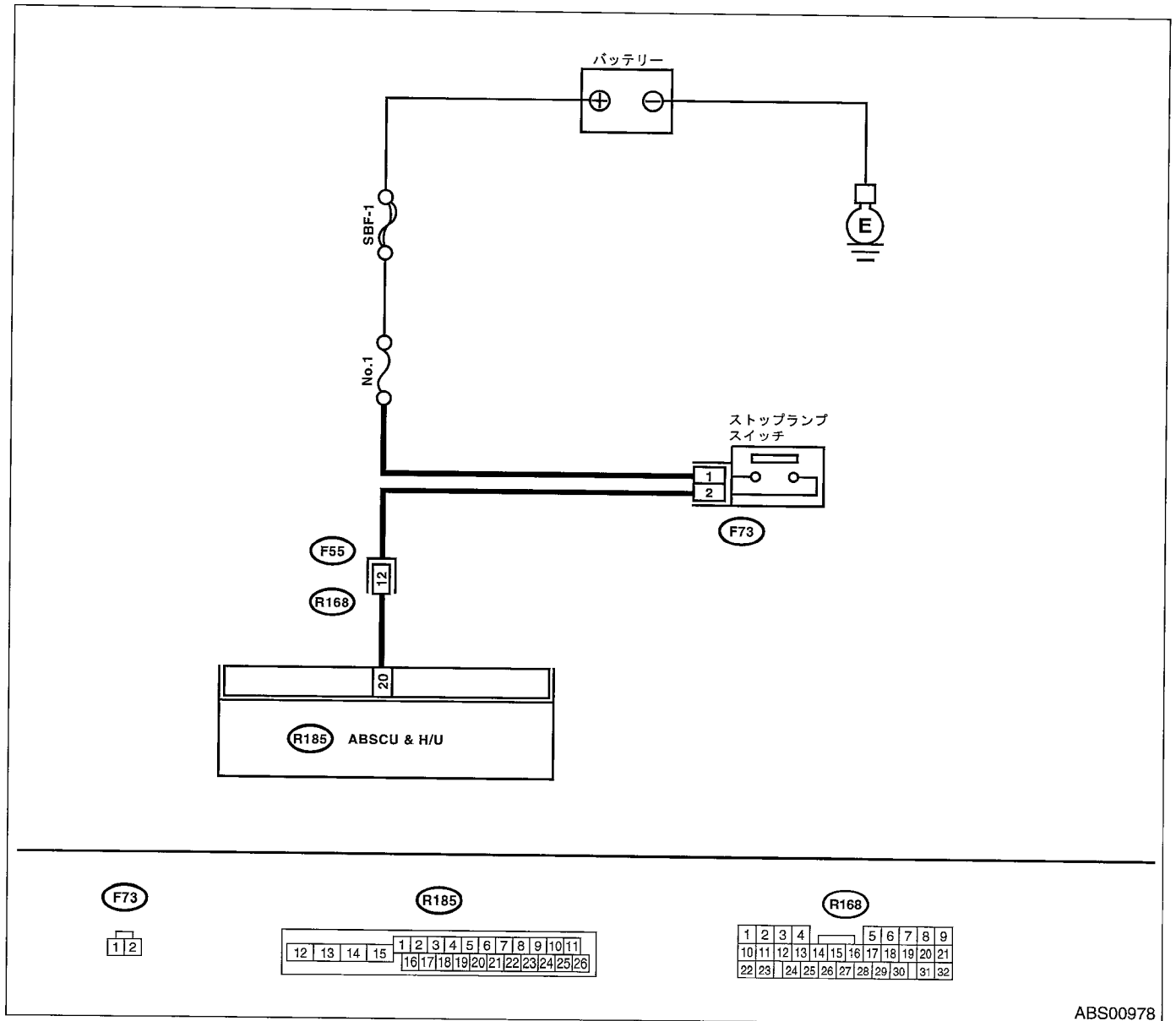
ステップ	チェック	はい	いいえ
9 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。 参考： この時点ではABS警告灯は点灯したままであるが、これは正常である。ABS警告灯を消灯させるには、車両を約12 km/h (7 MPH) 以上で走行させなければならない。必ず車両を走行させて、警告灯が消灯することを確認する。

W: DTC 54 ストップランプスイッチの不具合

DTCの検知条件：

ストップランプスイッチの不具合

配線図：



ABS00978

ABS（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 スバルセレクトモニターを使用したストップランプスイッチの出力点検 1) スバルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 2) ブレーキペダルから足を外す。 3) スバルセレクトモニターで、ストップランプスイッチの信号を読取る。	画面に「OFF」と表示されるか？	2へ進む。	3へ進む。
2 スバルセレクトモニターを使用したストップランプスイッチの出力点検 1) ブレーキペダルを踏みこむ。 2) スバルセレクトモニターで、ストップランプスイッチの出力を読取る。	画面に「ON」と表示されるか？	5へ進む。	3へ進む。
3 ストップランプの点灯確認 ブレーキペダルを踏込む。	ストップランプは点灯するか？	4へ進む。	ストップランプ回路を修理する。
4 ハーネスの断線回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ブレーキペダルを踏込む。 4) ABSCU&H/U コネクタとボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 20 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10～15 Vか？	5へ進む。	ストップランプスイッチとABSCU&H/U コネクタ間のハーネスを修理する。
5 コネクタの接触不良点検	ストップランプスイッチとABSCU&H/U間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	6へ進む。
6 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	7へ進む。
7 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

X: DTC 56 Gセンサー出力電圧の不具合

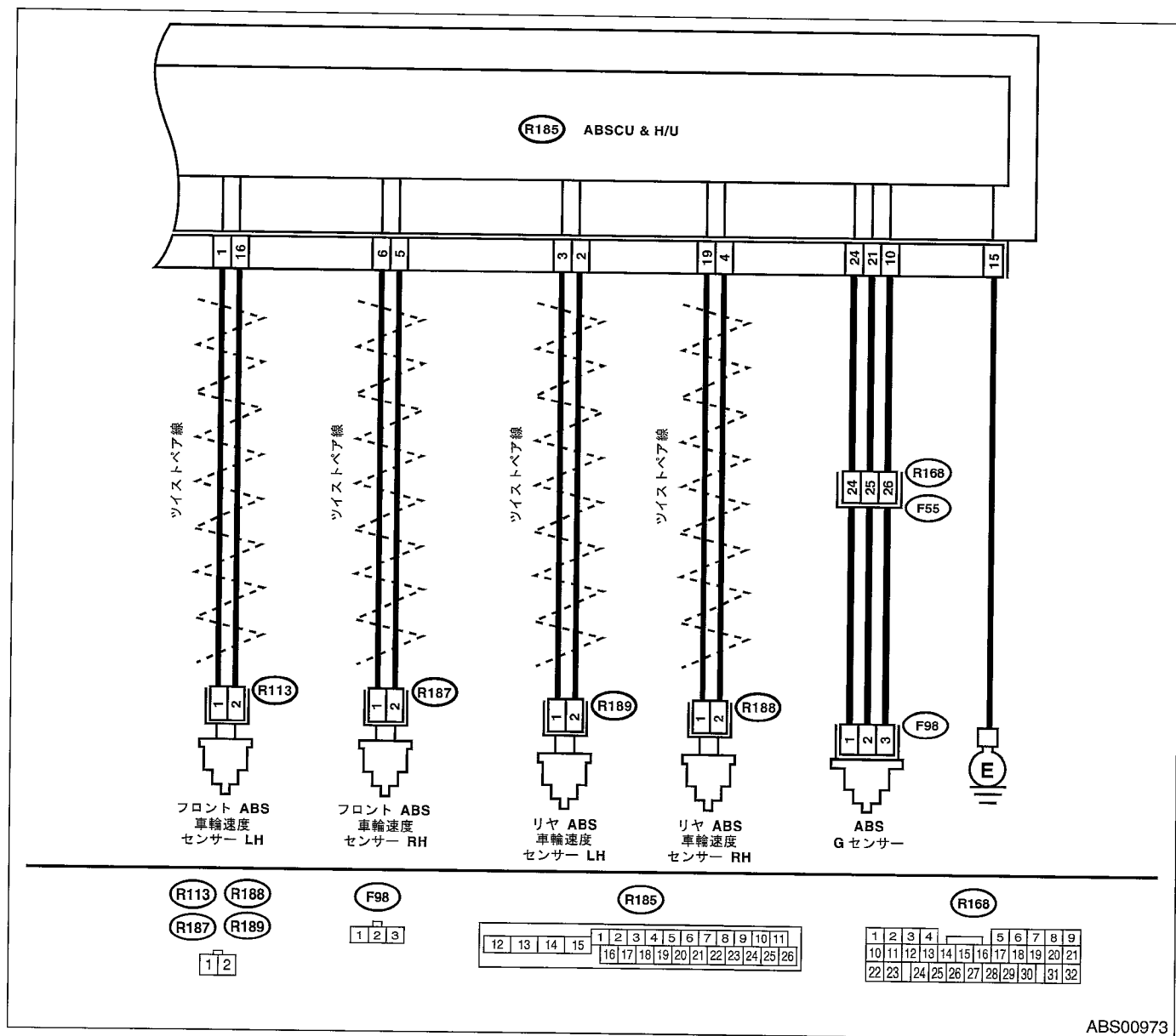
DTCの検知条件:

Gセンサーの不具合

不具合の症状:

ABSが作動しない。

配線図:



ABS00973

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 スバルセレクトモニターを使用したGセンサーの出力点検 1) スバルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 2) スバルセレクトモニターで、Gセンサーの出力を読む。	Gセンサー水平時、画面に表示された値は-1.2~1.2 m/sか？	2へ進む。	5へ進む。
2 コネクターの接触不良点検	ABSCU&H/UとGセンサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	3へ進む。
3 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読む。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	4へ進む。
4 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。
5 Gセンサーの入力電圧点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) コンソールボックスを外す。 3) 車両からGセンサーを外す。(コネクタは切離さない。) 4) イグニッションスイッチをONにする。 5) Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F98) No. 1 (+) — No. 3 (-) :	電圧は4.75~5.25 Vか？	6へ進む。	GセンサーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
6 Gセンサー出力ハーネス、およびアースハーネスの断線回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/Uコネクタ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 21 — No. 10 :	抵抗は4.3~4.9 kΩか？	7へ進む。	GセンサーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
7 Gセンサー出力ハーネスのアースショート点検 1) Gセンサーからコネクタを切離す。 2) ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (R185) No. 21 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	8へ進む。	GセンサーとABSCU&H/U間のハーネスを修理する。
8 Gセンサー点検 1) Gセンサーにコネクタを接続する。 2) ABSCU&H/Uへコネクタを接続する。 3) イグニッションスイッチをONにする。 4) Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F98) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサー水平時の電圧は2.1~2.5 Vか？	9へ進む。	Gセンサーを交換する。

ABS（診断）

ステップ		チェック	はい	いいえ
9	Gセンサー点検 Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (F98) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサーを 90° 前傾させたときの電圧は3.6～4.1 Vか？	10へ進む。	Gセンサーを交換する。
10	Gセンサー点検 Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (F98) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサーを90°後ろに傾けたときの電圧は0.5～1.0 Vか？	11へ進む。	Gセンサーを交換する。
11	コネクタの接触不良点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	ABSCU&H/UとGセンサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	12へ進む。
12	ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	13へ進む。
13	画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

Y: DTC 56 Gセンサー出力信号の不具合

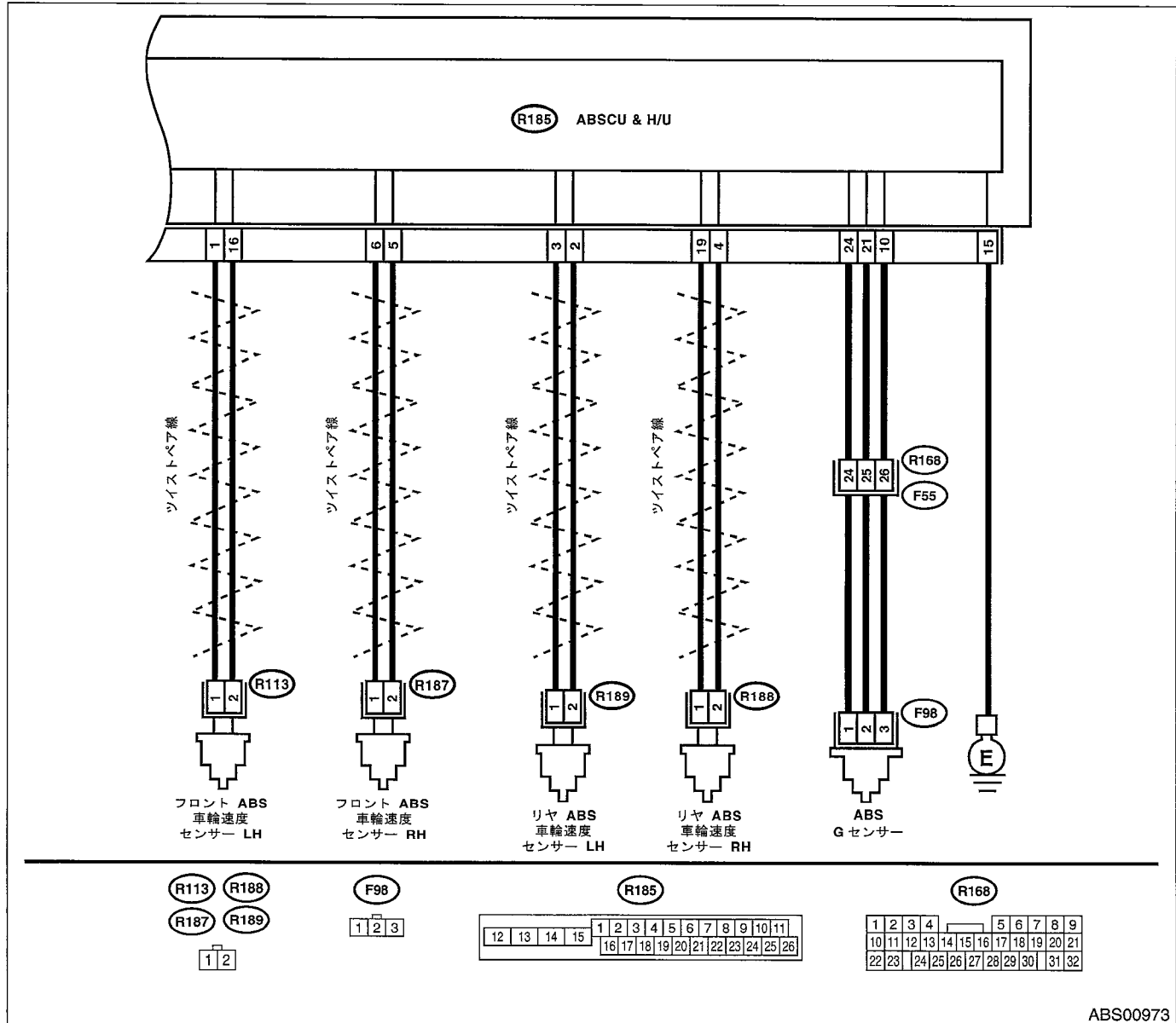
DTCの検知条件：

Gセンサー出力信号の不具合

不具合の症状：

ABSが作動しない。

配線図：



ABS00973

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ホイール空転の有無	車両リフトアップ時、または起伏のある道路を走行中にホイールが空転したことがあるか？	ABSは正常。メモリーを消去する。	2へ進む。
2 スバルセレクトモニターを使用したGセンサーの出力点検 1) スバルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 2) スバルセレクトモニター画面の表示を読む。	車両が水平時、画面に表示される値は-1.2～1.2 m/sか？	3へ進む。	8へ進む。
3 スバルセレクトモニターを使用したGセンサーの出力点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) コンソールボックスを取外す。 3) 車両からGセンサーを取外す。(コネクタは切離さない。) 4) イグニッションスイッチをONにする。 5) スバルセレクトモニターの「現在のデータ表示・保存」を選択する。 6) スバルセレクトモニター画面の表示を読む。	Gセンサーを90°前傾させたと、画面に表示される値は8.1～11.2 m/sか？	4へ進む。	Gセンサーを交換する。
4 スバルセレクトモニターを使用したGセンサーの出力点検 スバルセレクトモニター画面の表示を読む。	Gセンサーを90°後ろに傾けたとき、画面に表示された値は-8.1～-11.2 m/sか？	5へ進む。	Gセンサーを交換する。
5 コネクタの接触不良点検 イグニッションスイッチをOFFにする。	ABSCU&H/UとGセンサー間のコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。	6へ進む。
6 ABSCU&H/U点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読む。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	7へ進む。
7 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。
8 Gセンサー出力ハーネス、およびアースハーネスの断線回路点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) ABSCU&H/Uからコネクタを切離す。 3) ABSCU&H/Uコネクタ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 21 — No. 10 :	抵抗は4.3～4.9 kΩか？	9へ進む。	GセンサーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。
9 ハーネスのアースショート点検 ABSCU&H/Uコネクタとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (B301) No. 21 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	10へ進む。	GセンサーとABSCU&H/U間のハーネスコネクタを修理する。

ABS (診断)

ステップ	チェック	はい	いいえ
10 Gセンサー点検 1) コンソールボックスを取外す。 2) 車両からGセンサーを取外す。 3) Gセンサーにコネクタを接続する。 4) ABSCU&H/Uへコネクタを接続する。 5) イグニッションスイッチをONにする。 6) Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサー水平時の電圧は2.1～2.5 Vか？	11へ進む。	Gセンサーを交換する。
11 Gセンサー点検 Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサーを90°前傾させたときの電圧は3.6～4.1 Vか？	12へ進む。	Gセンサーを交換する。
12 Gセンサー点検 Gセンサーコネクタ端子間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (R185) No. 2 (+) — No. 3 (-) :	Gセンサーを90°後ろに傾けたときの電圧は0.5～1.0 Vか？	13へ進む。	Gセンサーを交換する。
13 ABSCU&H/U点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) すべてのコネクタを接続する。 3) メモリを消去する。 4) 点検モードを実施する。 5) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	ABSCUのみを交換する。(1-7の「ABSコントロールユニット&ハイドロリックコントロールユニット (ABSCU&H/U)、交換」を参照のこと。)	14へ進む。
14 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	DTCに適する診断を行う。	一時的な接触不良である。

13 総合診断表

A: 点検

症状		不具合部品
ブレーキ時、車両が不安定になる	車両が、左右いずれかに引張られる	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ) • ABS車輪速度センサー • ブレーキ (キャリパー、ピストン、パッド、ホイールシリンダー、ブレーキシューおよびドラム) • ホイールアライメント • タイヤ仕様、タイヤ摩耗および空気圧 • 不適切な配線またはパイプ接続 • 路面 (でこぼこ道、勾配)
	車両のスピン	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ) • ABS車輪速度センサー • ブレーキ (パッド) • タイヤ仕様、タイヤ摩耗および空気圧 • 不適切な配線またはパイプ接続
ブレーキの効きが悪い	制動距離が長い	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ) • ブレーキ (パッド) • ブレーキラインへのエアの混入 • タイヤ仕様、タイヤ摩耗および空気圧 • 不適切な配線またはパイプ接続
	ホイールロック	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ、モーター) • ABS車輪速度センサー • 不適切な配線またはパイプ接続
	ブレーキの引っかかり	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ) • ABS車輪速度センサー • マスターシリンダー • ブレーキ (キャリパー、ピストン、ホイールシリンダー、ブレーキシューおよびドラム) • パーキングブレーキ • アクスルおよびホイール • ブレーキペダルの遊び
	ブレーキペダルのストロークが長い	• ブレーキラインへのエアの混入 • ブレーキペダルの遊び
	車両の縦方向の揺れ	• サスペンションの遊び、疲労 (ダンピングの減り) • 不適切な配線またはパイプ接続 • 路面 (でこぼこ道)
	ブレーキが不安定	• ABSCU&H/U (ソレノイドバルブ) • ABS車輪速度センサー • ブレーキ (キャリパー、ピストン、パッド、ホイールシリンダー、ブレーキシューおよびドラム) • タイヤ仕様、タイヤ摩耗および空気圧 • 不適切な配線またはパイプ接続 • 路面 (でこぼこ道)

ABS（診断）

症状		不具合部品
振動またはノイズ (滑りやすい路面走行時)	過剰なペダルの振動	• 不適切な配線またはパイプ接続 • 路面（でこぼこ道）
	ABSCU&H/Uからのノイズ	• ABSCU&H/U（マウントブッシュ） • ABS車輪速度センサー • ブレーキライン
	車両前部からのノイズ	• ABSCU&H/U（マウントブッシュ） • ABS車輪速度センサー • マスターシリンダー • ブレーキ（キャリパー、ピストン、パッドおよびローター） • ブレーキライン • ブレーキブースターおよびチェックバルブ • サスペンションの遊びまたは疲労
	車両後部からのノイズ	• ABS車輪速度センサー • ブレーキ（ホイールシリンダー、ブレーキシューおよびドラム） • パーキングブレーキ • ブレーキライン • サスペンションの遊びまたは疲労

2-3 エアバッグシステム（診断）

1 基本診断手順

A: 手順

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 警告灯の確認 コンビネーションメーター内のエアバッグ警告灯の点灯の有無を確認する。	エアバッグ警告灯は点灯しているか？	2へ進む。	不具合現象に応じて、故障診断を行う。
2 DTCの読取り 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) スバルセレクトモニターをデータリンクコネクタに接続する。 3) イグニッションスイッチをONにし、スバルセレクトモニターのスイッチをONにする。 4) DTCを読取る。(2-108の「ダイアグコード (DTC) の読取り、操作」を参照のこと。) 参考： スバルセレクトモニターの通信機能が正常に作動しない場合、通信回路を点検する。(2-104の「スバルセレクトモニター、点検、初期化の通信が不可能」を参照のこと。) 5) すべてのDTCと故障時状態情報を記録する。	DTCが表示されるか？	3へ進む。	「エアバッグ警告灯の不具合」(2-112の「エアバッグ警告灯の不具合」を参照のこと。)に移る。
3 診断の実施 1) 「ダイアグコード (DTC) 一覧表」(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)から考えられる原因を判断する。 2) 「ダイアグコード (DTC) 別診断チャート」を使用して点検する。 3) 不具合の原因を修理する。 4) クリアメモリーモードを実施する。(2-110の「クリアメモリーモード」を参照のこと。) 5) 点検モードを実施する。(2-109の「点検モード」を参照のこと。) 6) その他にDTCが表示されていないか読取る。	DTCが表示されるか？	ステップ3の手順1)から5)を実施する。	診断を終了する。

2 問診票

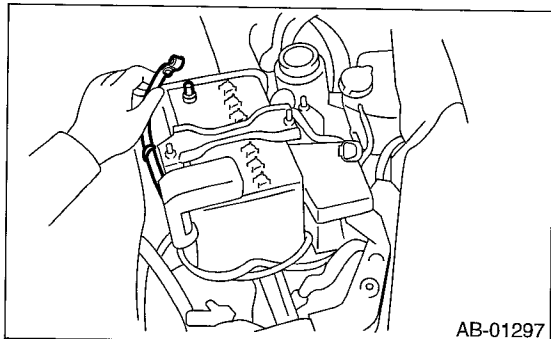
A: チェック

顧客名		点検者名	
車両持込日	/ /	登録番号	
オドメーター指示数	km miles	車台番号	
不具合発生日付	/ /	登録年	/ /
天候	☐ 晴れ ☐ 曇り ☐ 雨 ☐ 雪 ☐ その他：		
気温	°C (°F)		
路面条件	☐ 平坦路 ☐ 上り坂 ☐ 下り坂 ☐ 未舗装路 ☐ その他：		
車両の作動	☐ 始動 ☐ アイドリング ☐ 走行 ☐ 定速 ☐ 加速 ☐ 減速 ☐ 旋回 ☐ その他：		
不具合の詳細			
エアバッグ警告灯の作動	☐ 正常（イグニッションスイッチをONにした後、約6秒間点灯し、その後消灯する） ☐ 点灯のまま ☐ 消灯したまま		
DTC出力	☐ 正常コード ☐ DTC：（コード： ）		

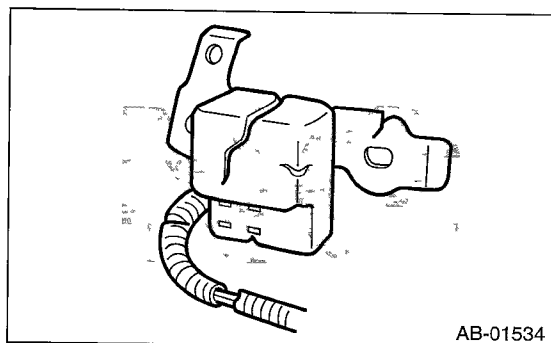
3 概要

A: 注意

- 車両を整備するとき、イグニッションスイッチをOFFにして、バッテリーのマイナス端子を外し、作業を開始する前に20秒以上待つこと。

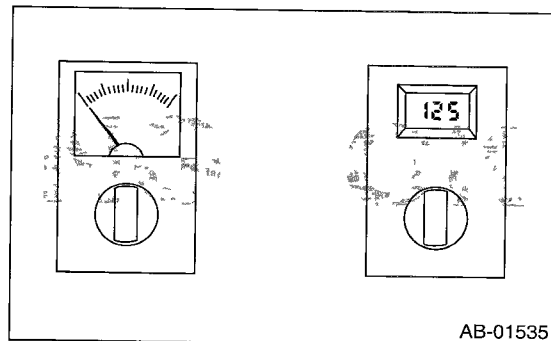


- エアバッグシステムには、バックアップ電源が取付けられている。バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待たずにエアバッグシステムの整備を始めた場合、エアバッグが展開する恐れがある。
- センサー、エアバッグモジュール、エアバッグコントロールユニット、プリテンショナーおよびハーネスが変形または損傷した場合、新品の部品に交換すること。

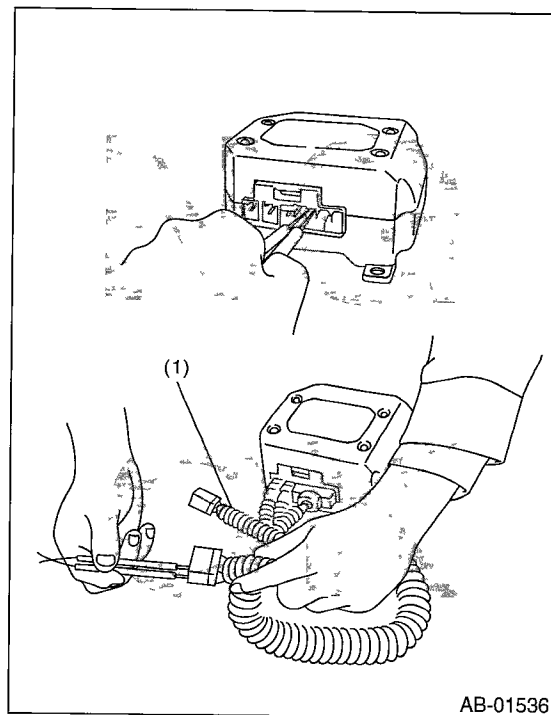


- エアバッグシステムとプリテンショナーを他の車両に流用しないこと。部品交換時は、必ず新品に交換すること。

- アナログサーキットテスターを使用すると、テスター内部の微電流によりエアバッグが誤って展開する恐れがあるため、エアバッグシステムを点検する場合、デジタルサーキットテスターを使用すること。

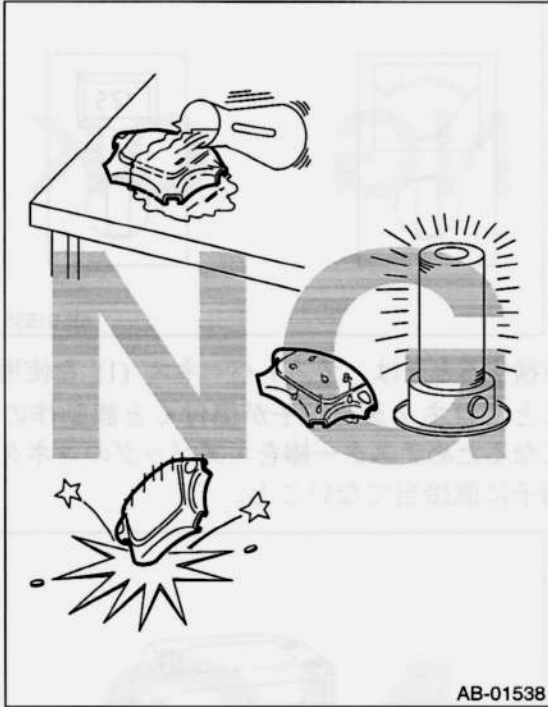


- 点検するときは、テストハーネス (1) を使用すること。コネクター端子が傷付くと誤動作の原因になるためテスター棒をエアバッグのコネクター端子に直接当てないこと。

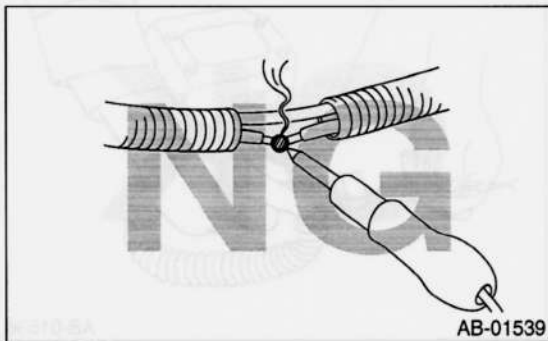


エアバッグシステム (診断)

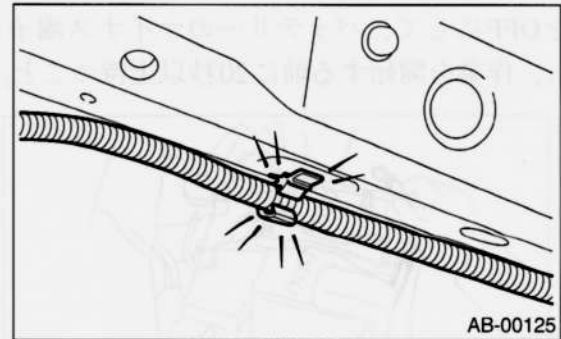
- 内部部品が損傷したり、信頼性が損なわれる恐れがあるため、エアバッグシステムの各部品を落下させたり、93°C (199°F) 以上の高温環境下で保管したり、水、オイルまたはグリースを付着させないこと。



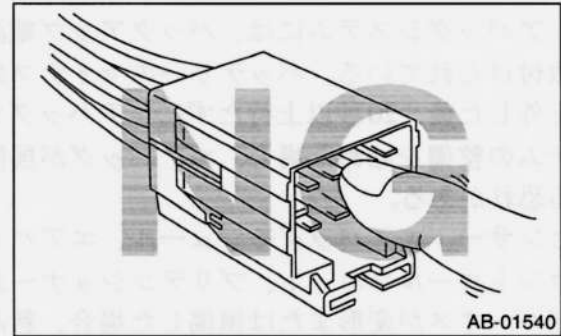
- エアバッグシステムのワイヤリングハーネスに損傷、断線またはさびが発見された場合、修理にはんだを使用しないこと。不具合のあるハーネスは、純正の新品に交換すること。



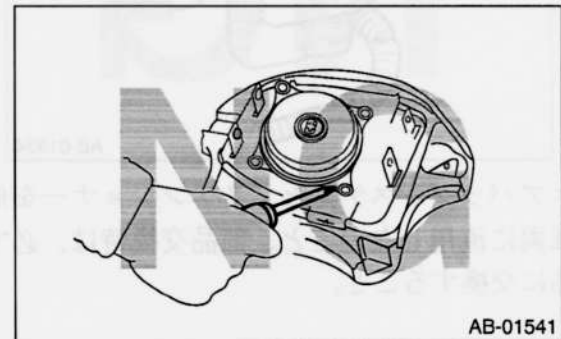
- ワイヤリングハーネスは、規定のクリップを使用して確実に取付け、他の部品との干渉またはもつれを防ぐこと。



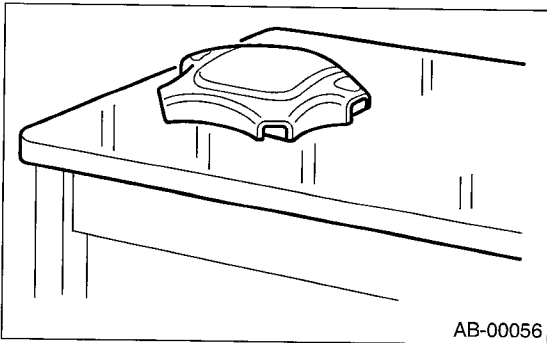
- 水またはオイルをコネクタ端子に付着させないこと。また、コネクタ端子に触れないこと。



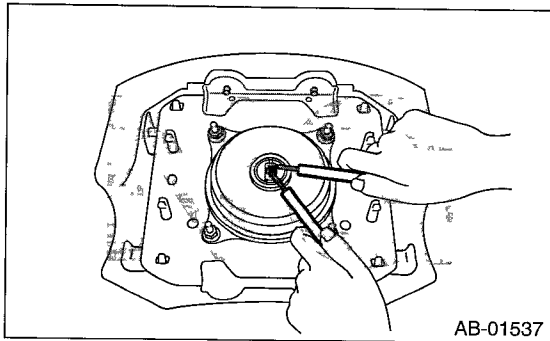
- 運転席エアバッグモジュール、助手席エアバッグモジュールまたはプリテンショナーを分解しないこと。
- 一度展開したエアバッグモジュールは再使用しないこと。



- エアバッグシステムの各部品を取外し後、熱源や光源、湿気やほこりなどのない乾燥した清潔な平面にパッド側を上に向けて保管しておくこと。



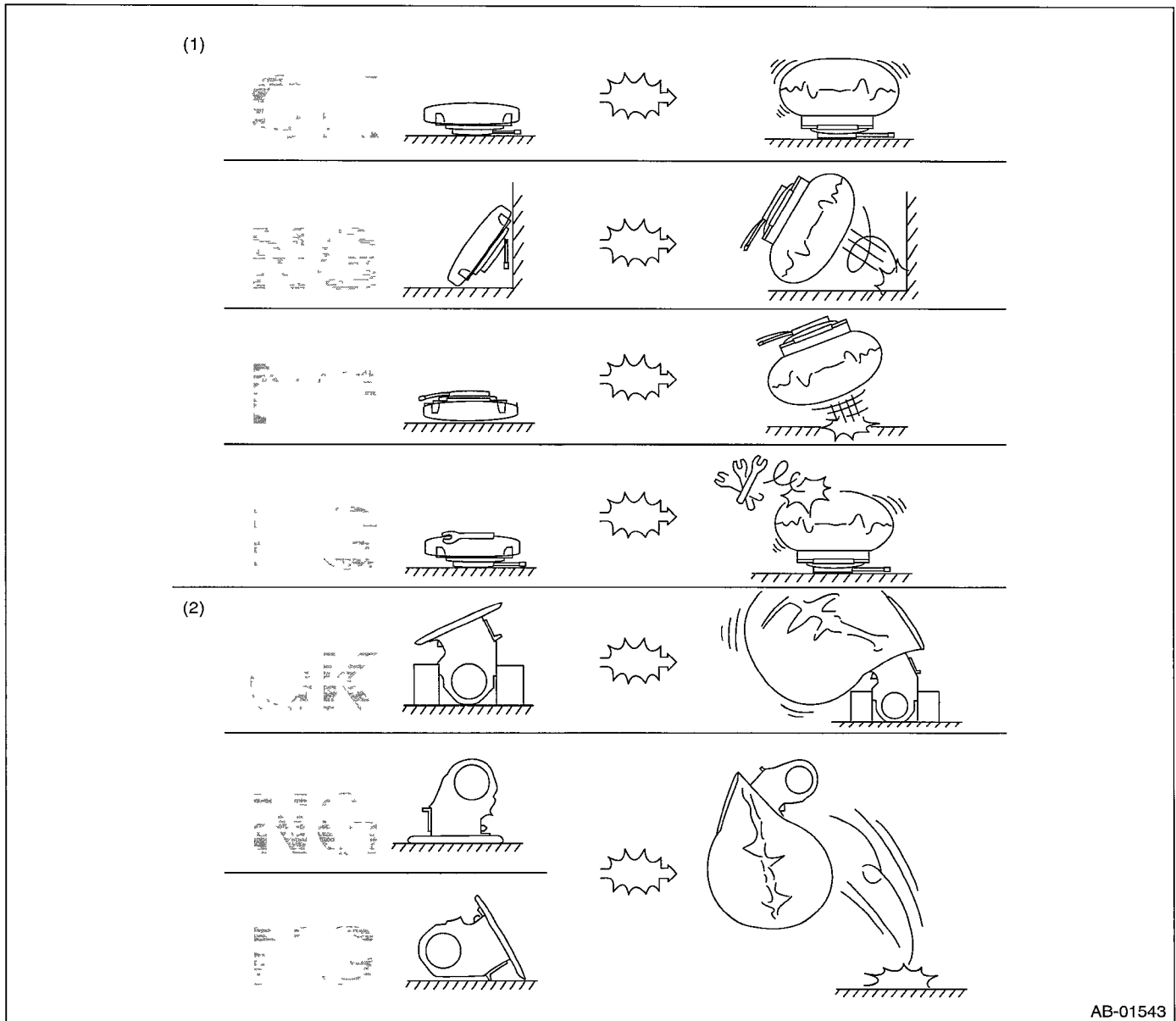
- 運転席エアバッグモジュール、助手席エアバッグモジュールまたはプリテンショナーの導通を点検しないこと。



- 車両のフロント部分に塗装またはシートメタルの補修作業などを施す場合、エアバッグシステムのフロントサブセンサーおよびワイヤリングハーネスを取外すこと。
- 展開していないエアバッグモジュールは廃棄しないこと。偶発的に展開した場合、重大な事故の原因になる恐れがある。
- エアバッグコントロールユニットおよびフロントサブセンサーを取外したとき、取付けボルトおよびナットは再使用しないこと。必ず新品の専用ボルトおよび専用ナットに交換すること。

エアバッグシステム（診断）

- 取外したエアバッグモジュールを保管する場合は、パッドを下に向けて置かないこと。エアバッグモジュールの上に物を置かないこと。エアバッグモジュールを積み重ねないこと。エアバッグモジュールのパッドが他の物に触れていると、エアバッグモジュールが不意に展開した場合、重大な事故の原因になる恐れがある。



AB-01543

(1) 運転席エアバッグモジュール

(2) 助手席エアバッグモジュール

B: 点検

バッテリー電圧を測定し、バッテリー液を点検する。

標準電圧：12 V

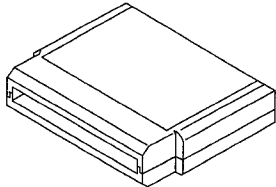
比重：1.260 以上

C: 準備工具

注意：

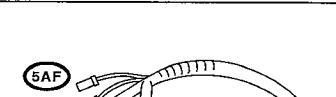
エアバッグシステム構成部品の電圧、抵抗などを測定する場合、必ず規定のテストハーネスを使用すること。

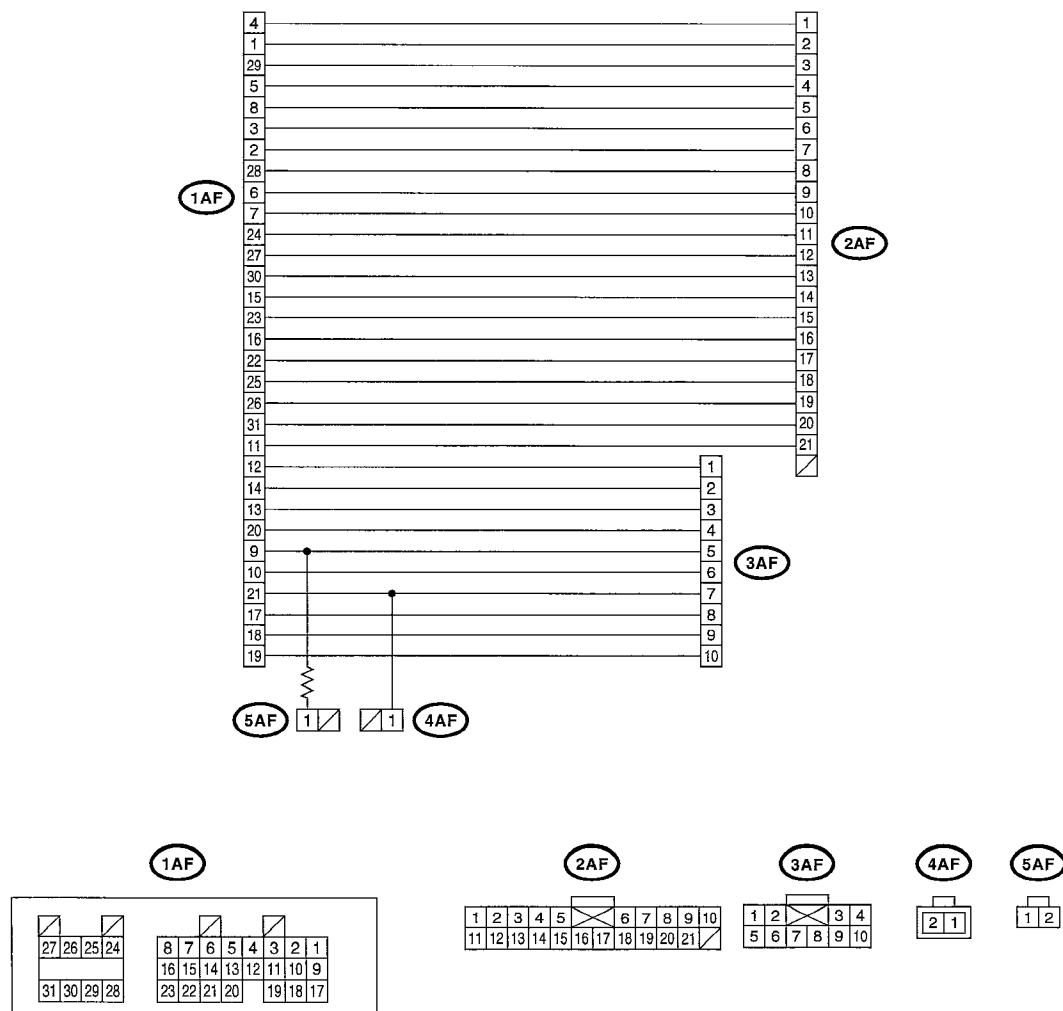
1. 特殊工具

イラスト	工具番号	名称	用途
 ST18482KA000	18482KA000	カートリッジ	電気系統の故障診断に使用。
 ST22771AA010	22771AA010	スバルセレクトモニターキット	電気系統の故障診断に使用。

エアバッグシステム（診断）

- テストハーネス AF

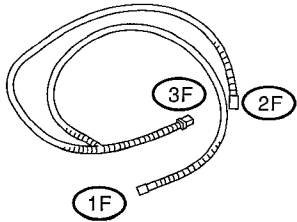
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299TC000	98299TC000	テストハーネスAF	エアバッグモジュールハーネスの電圧および抵抗の測定時に使用。

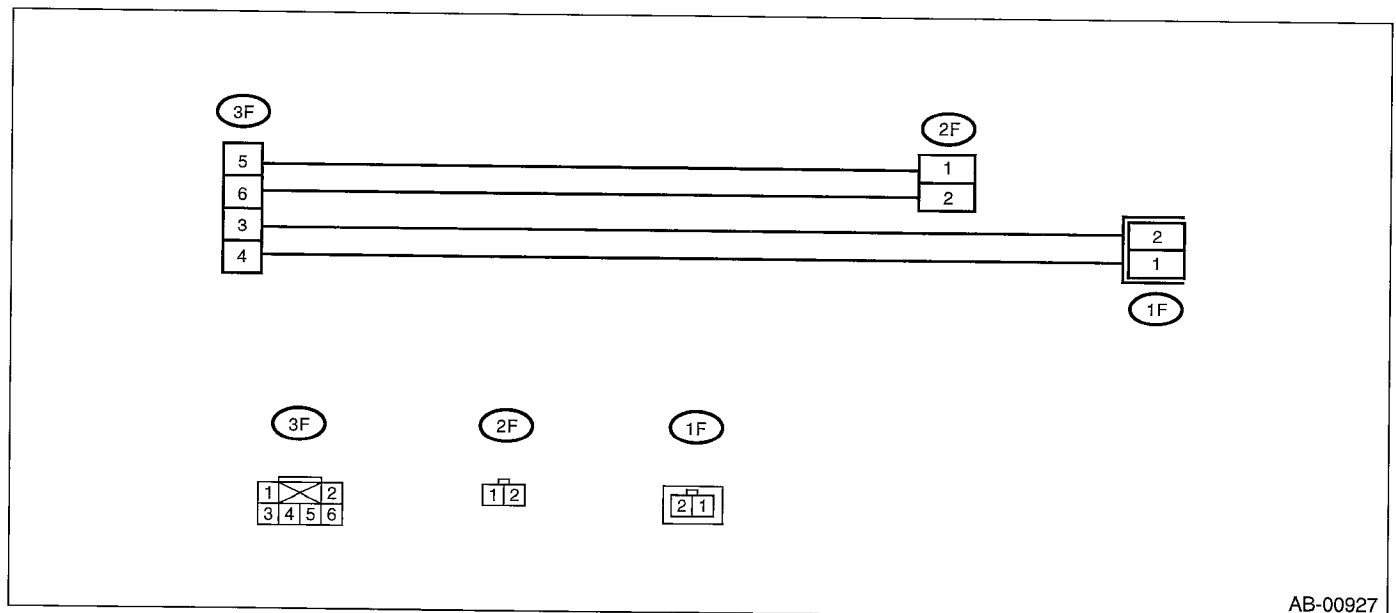


AB-01723

エアバッグシステム（診断）

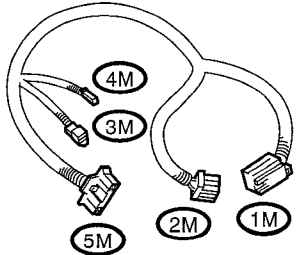
• テストハーネスF

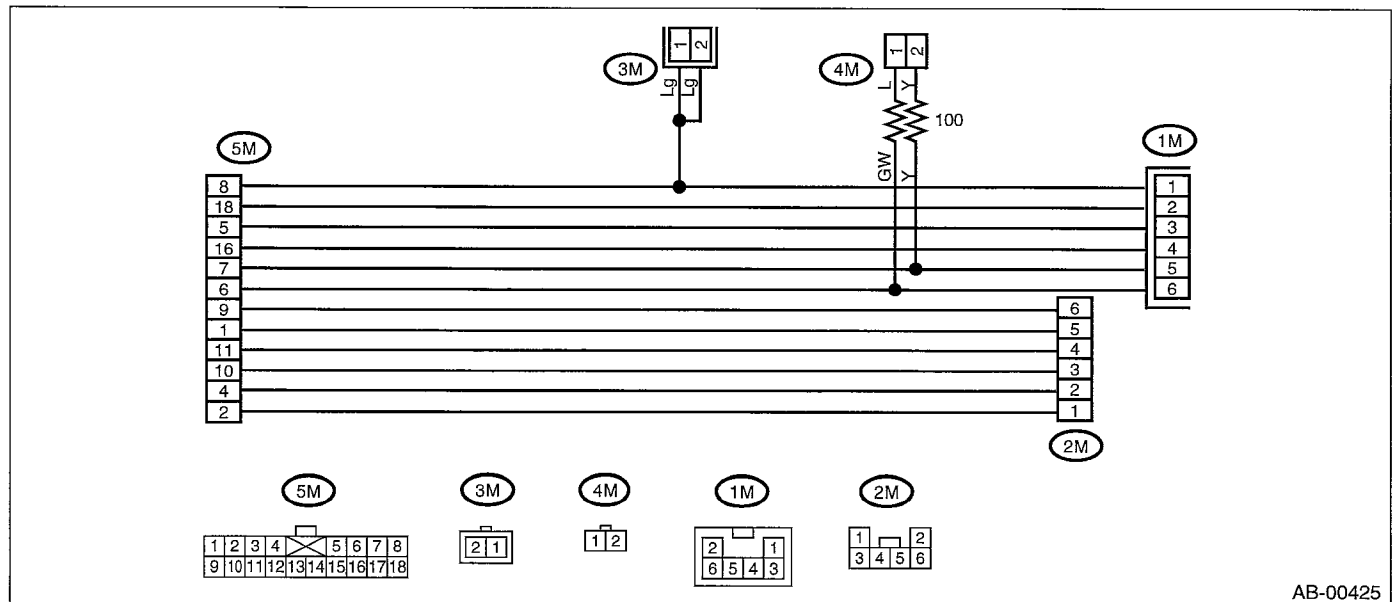
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FC010	98299FC010	テストハーネスF	エアバッグモジュールハーネスの電圧および抵抗の測定時に使用。



エアバッグシステム（診断）

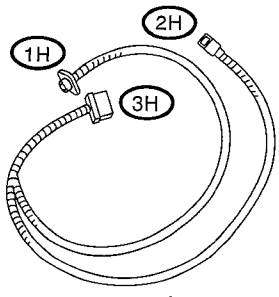
• テストハーネス M

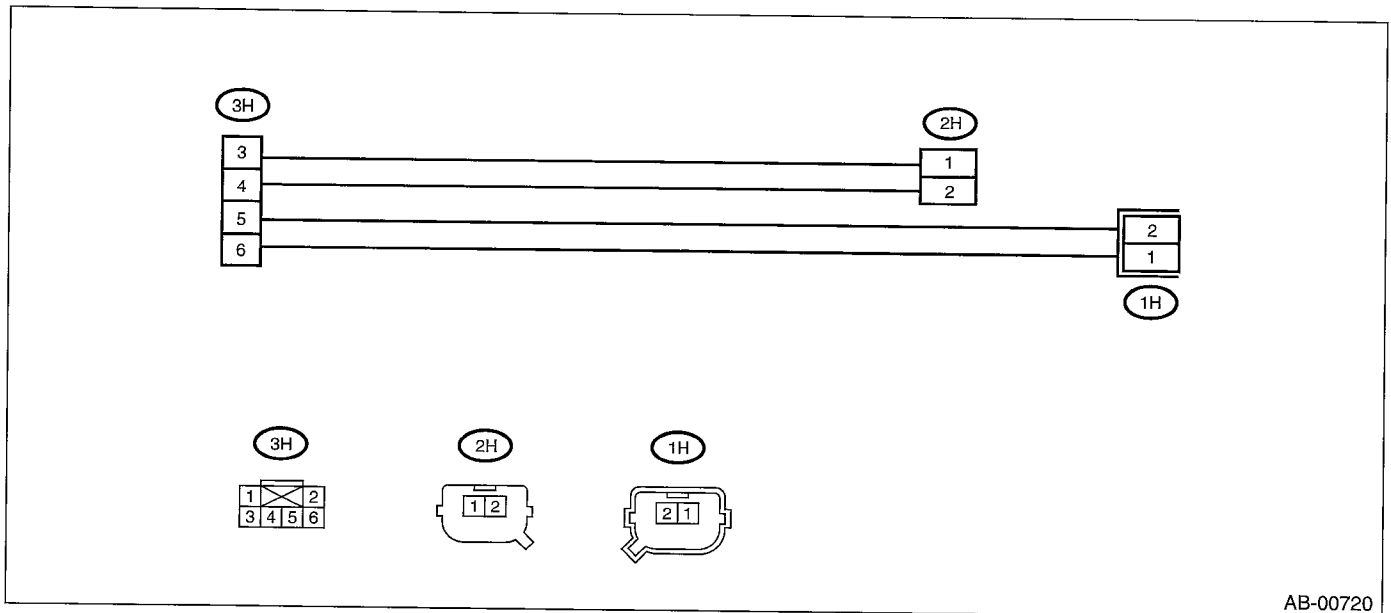
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FE020	98299FE020	テストハーネス M	- エアバッグシステムの電圧および抵抗の測定時に使用。 - テストハーネスアダプター G (98299KG000) およびテストハーネスアダプター H (98299KG010) と共に使用。



エアバッグシステム（診断）

• テストハーネスH

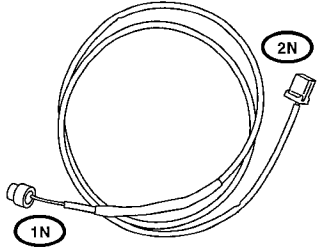
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FA030	98299FA030	テストハーネスH	フロントサブセンサーの電圧および抵抗の測定時に使用。

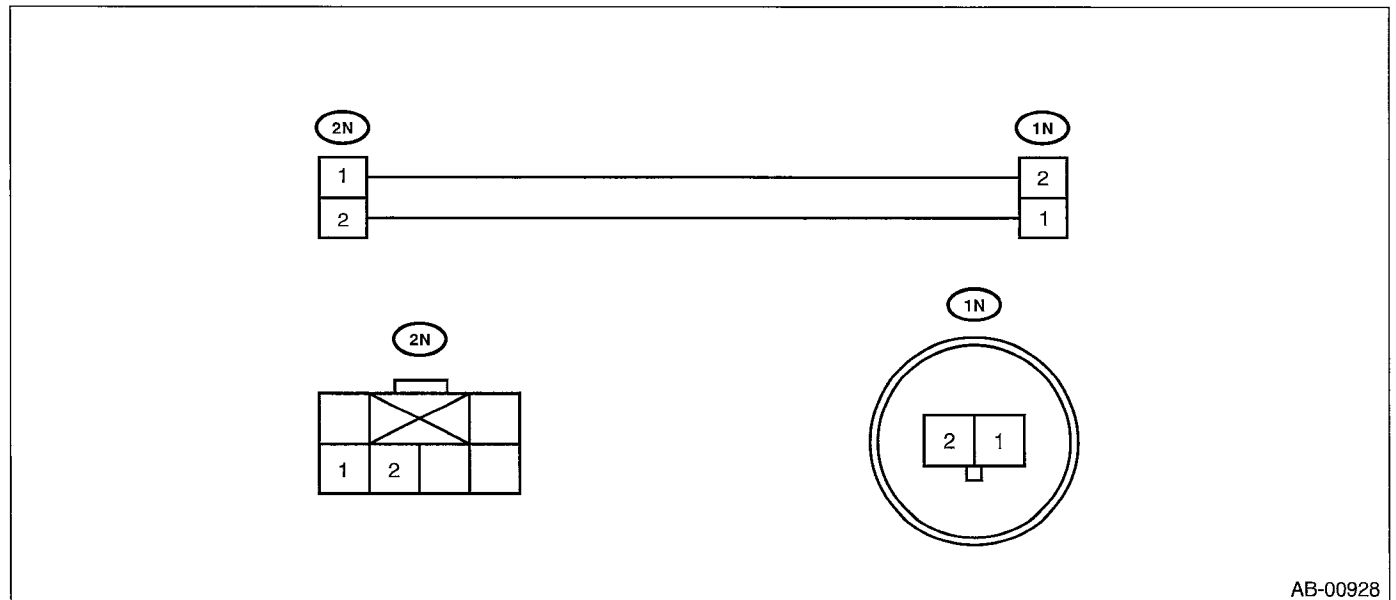


AB-00720

エアバッグシステム（診断）

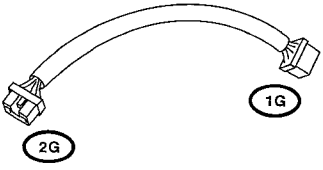
• テストハーネスN

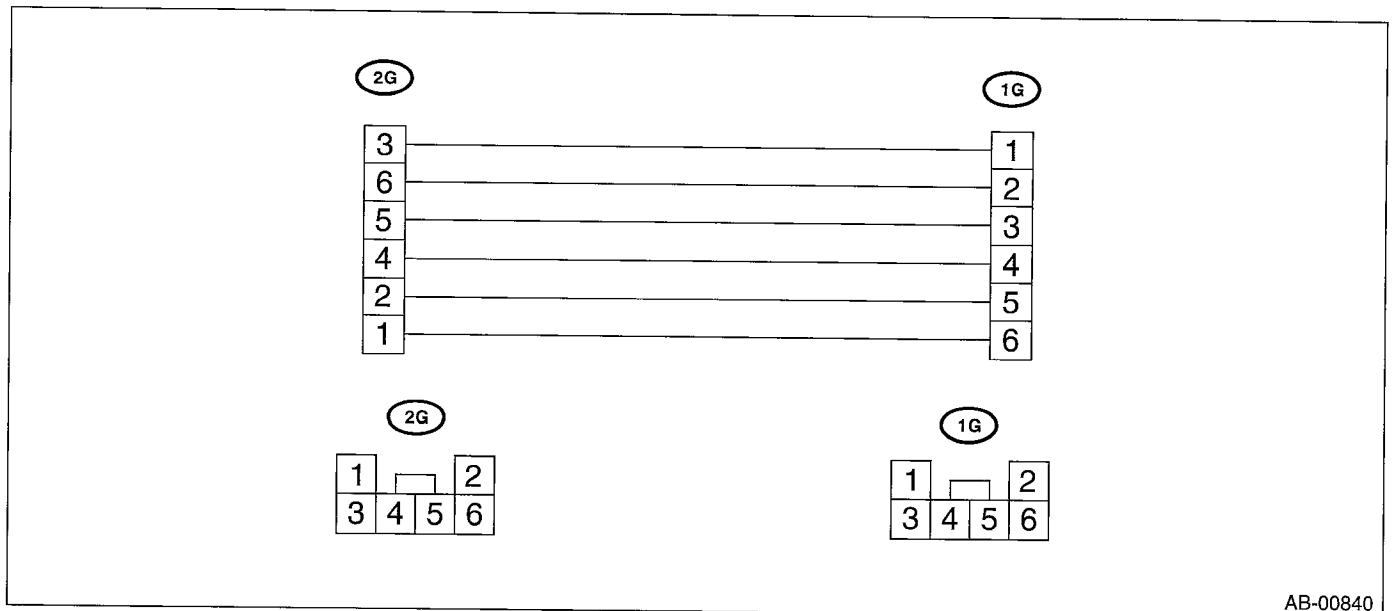
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299SA000	98299SA000	テストハーネスN	運転席エアバッグモジュールとシートベルトプリテンショナーの電圧および抵抗の測定時に使用。



エアバッグシステム（診断）

• テストハーネスアダプター G

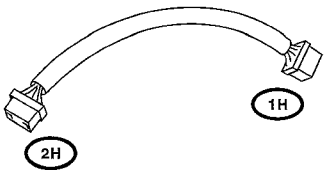
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299KG000	98299KG000	テストハーネスアダプター G	- エアバッグシステムの電圧および抵抗の測定時に使用。 - テストハーネス M (98299FE020) と共に使用。

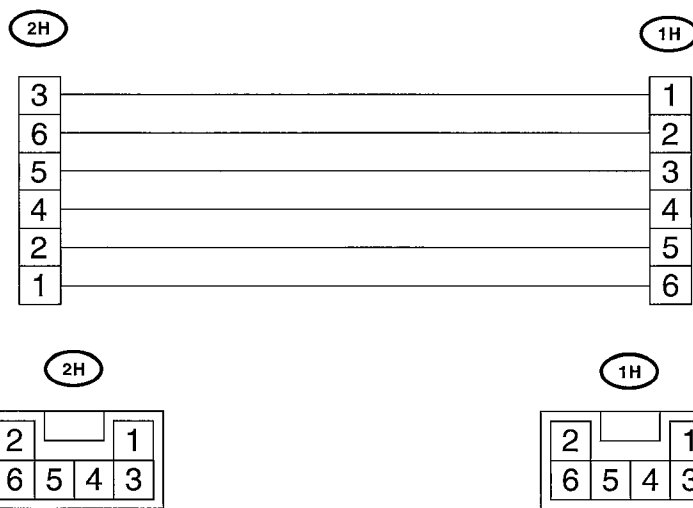


AB-00840

エアバッグシステム（診断）

• テストハーネスアダプター H

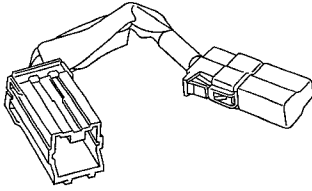
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299KG010	98299KG010	テストハーネスアダプター H	- エアバッグシステムの電圧および抵抗の測定時に使用。 - テストハーネス M (98299FE020) と共に使用。

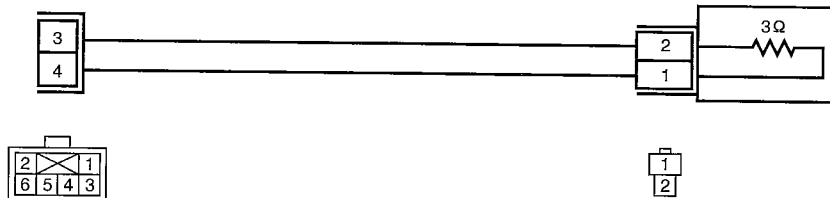


AB-00841

エアバッグシステム（診断）

• エアバッグレジスター

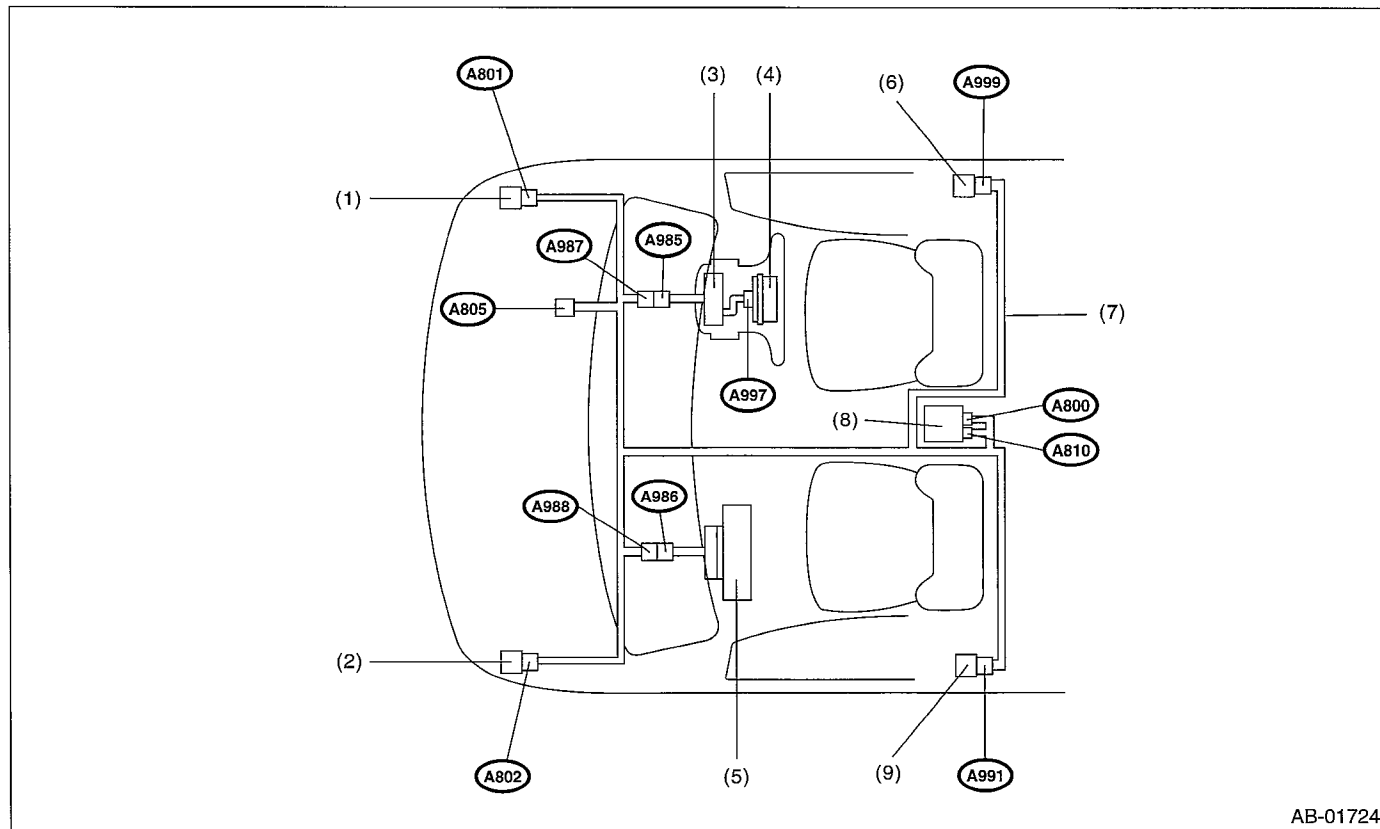
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299PA040	98299PA040	エアバッグレジスター	エアバッグモジュールと抵抗値が同じであるため、エアバッグモジュールの代わりに使用される。



AB-00433

4 取付け位置（電装品）

A: 配置



AB-01724

- | | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1) フロントサブセンサー (RH) | (4) 運転席エアバッグインフレーター | (7) エアバッグメインハーネス |
| (2) フロントサブセンサー (LH) | (5) 助手席エアバッグインフレーター | (8) エアバッグコントロールユニット |
| (3) ロールコネクター | (6) シートベルトプリテンショナー (RH) | (9) シートベルトプリテンショナー (LH) |

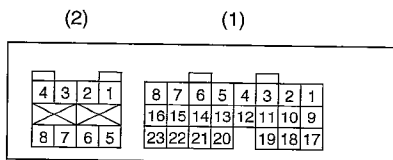
コネクター 番号	(A800)	(A801)	(A802)	(A810)	(A985)	(A986)	(A987)	(A988)	(A991)	(A997*1)	(A997*2)	(A999)
ピン	23	2	2	8	2	2	2	2	2	2	2	2
コネクター 色	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黒	黒	黄	黒
オス/メス	メス	メス	メス	メス	オス	オス	メス	メス	メス	メス	メス	メス

*1 ワゴン、バンタイプモデル

*2 トラックタイプモデル

5 エアバッグコントロールユニット I/O 信号

A: 仕様（電装品）



AB-01725

- エアバッグコントロールユニットコネクタの端子番号は図に示す通りである。
- エアバッグコントロールユニットからコネクタが取外された場合、エアバッグ警告灯が点灯する。

項目		コントロールユニット端子No.
データリンクコネクタ		(1) — 17
エアバッグ警告灯		(1) — 21
バッテリー電源	専用ヒューズ	(1) — 9
助手席エアバッグモジュール	+	(1) — 1 ^{*1}
	-	(1) — 2 ^{*1}
運転席エアバッグモジュール	+	(1) — 4
	-	(1) — 3
フロントサブセンサー LH	+	(1) — 14
	-	(1) — 20
フロントサブセンサー RH	+	(1) — 12
	-	(1) — 13
アースライン (GND)		(1) — 19
シートベルトプリテンショナー LH	+	(1) — 1 ^{*2}
	-	(1) — 2 ^{*2}
シートベルトプリテンショナー RH	+	(2) — 5
	-	(2) — 6

*1: プリテンショナー無モデル

*2: プリテンショナー付モデル

B: 配線図

WIセクションの配線図を参照する。

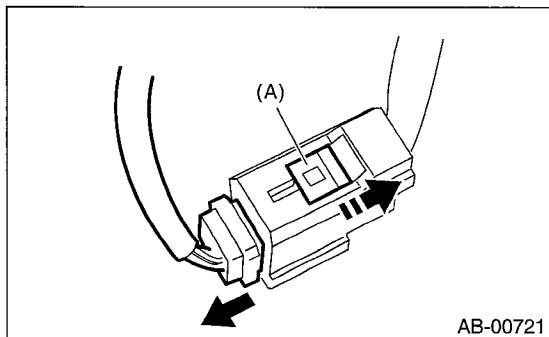
6 エアバッグコネクター

A: 手順

1. 電源

1) 切離し方法

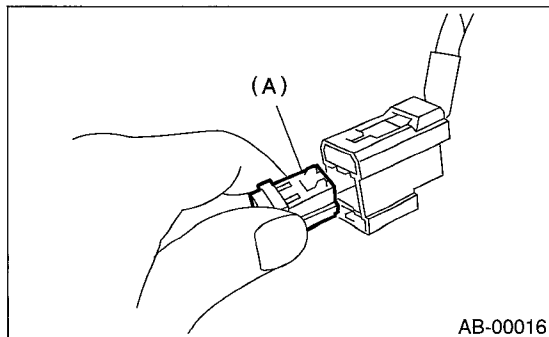
- (1) スライドロック (A) を矢印の方向へ動かす。
- (2) スライドロック (A) を動かした位置で保持したまま、コネクターを切離す。



注意：
スライドロックを引くとき、またはコネクターを切離すときは、ハーネスではなくコネクターを持つこと。

2) 接続方法

コネクター (A) を持ち、「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

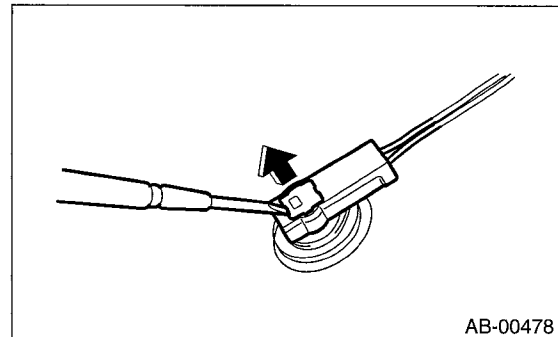


注意：
コネクターがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実にロックされていることを確認すること。

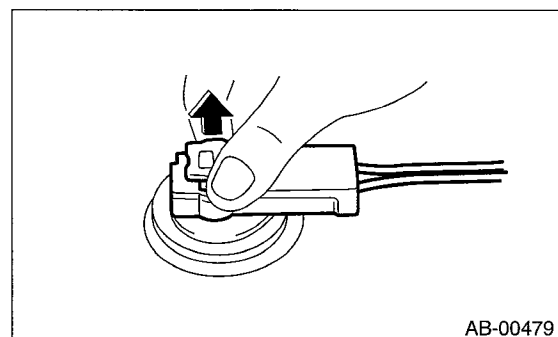
2. 運転席エアバッグモジュールおよびプリテンションナー

1) 切離し方法

- (1) マイナスドライバーを使用して、プッシュロックを引上げ、ロックを解除する。



- (2) コネクターを引いて、エアバッグモジュール ASSY または リトラクター ASSY から切離す。

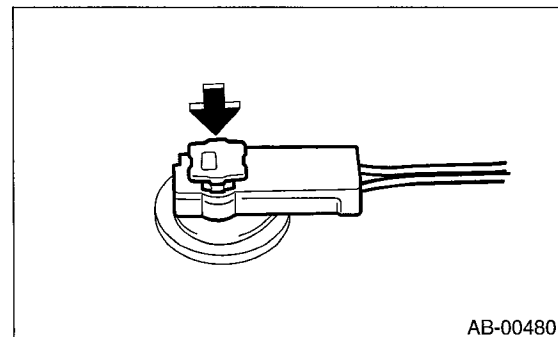


2) 接続方法

切離しの逆手順で、コネクターを接続する。このとき、プッシュロックを「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意：

- コネクターがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実に固定されていることを確認すること。
- プッシュロックを確実に押込むこと。



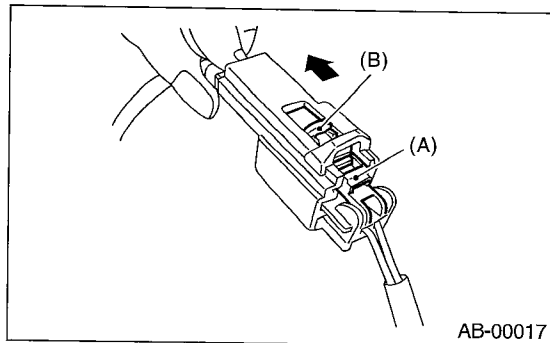
参考：

コネクター接続時、プッシュロックがロック位置にある場合はコネクターを接続できない。プッシュロックをロック解除位置にして、コネクターを接続する。

3. 運転席エアバッグおよび助手席エアバッグ

1) 切離し方法

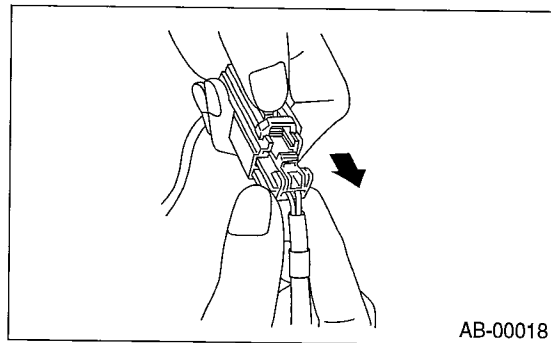
- (1) ロックアーム (A) を押す。
- (2) ロックアーム (A) を押込んだ状態で保持したまま、スライドロック (B) を矢印の方向へ動かす。



- (3) スライドロックを動かした状態で保持したまま、ロックアームを放し（元の位置へ戻す）、コネクタを切離す。

注意：

スライドロックを引くとき、またはコネクタを切離すときは、ハーネスではなくコネクタを持つこと。



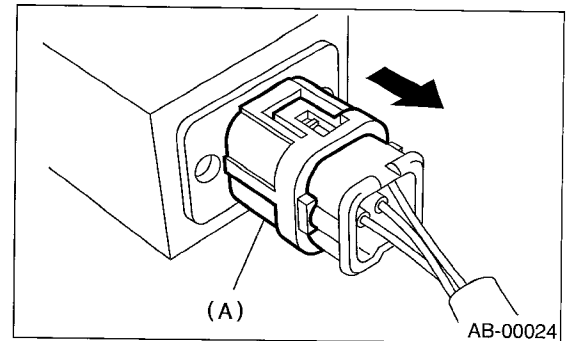
4. フロントサブセンサー

1) 切離し方法

外側部分 (A) を持ち、矢印の方向へ引く。

注意：

スライドロックを引くとき、またはコネクタを切離すときは、ハーネスではなくコネクタを持つこと。

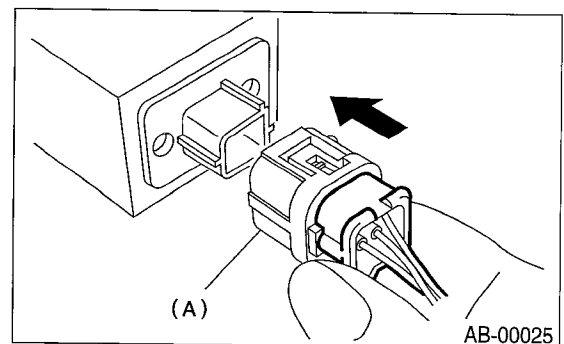


2) 接続方法

コネクタを持ち、「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意：

- 外側 (A) は元の位置に戻ってしまうため、外側部分には触れないこと。
- コネクタがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実に固定されていることを確認すること。



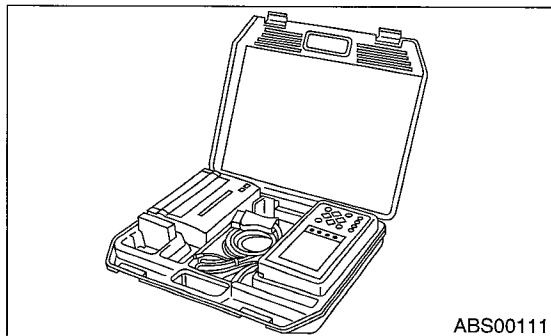
7 スバルセレクトモニター

A: 操作

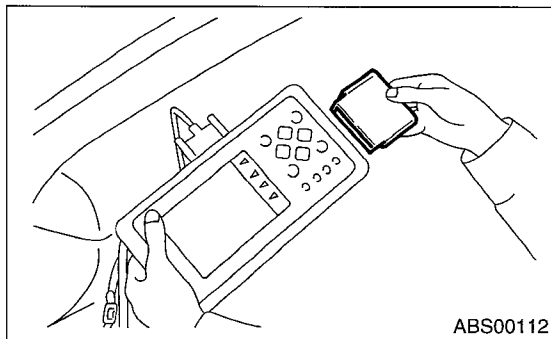
1. ダイアグコード（DTC）の読取り

エアバッグシステムの故障発生時に、エアバッグコントロールユニットで記録されている故障コードを読出す。

- 1) スバルセレクトモニターキットを準備する。(2-89の「概要、準備工具、特殊工具」を参照のこと。)



- 2) ダイアグケーブルをスバルセレクトモニターに接続する。
- 3) カートリッジをスバルセレクトモニターに挿入する。(2-89の「概要、準備工具、特殊工具」を参照のこと。)

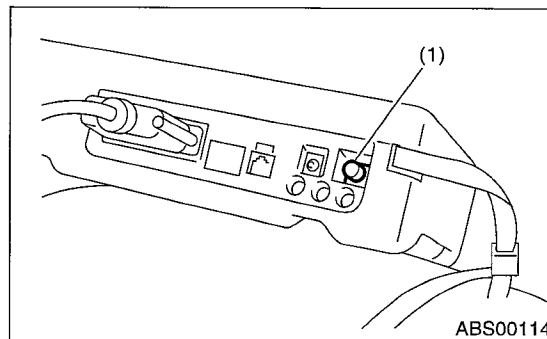


- 4) スバルセレクトモニターをデータリンクコネクタに接続する。
 - (1) データリンクコネクタはインストルメントパネル下部（運転席側）にある。
 - (2) ダイアグケーブルをデータリンクコネクタに接続する。

注意：

スバルセレクトモニター以外のスキャンツールを接続しないこと。

- 5) イグニッションスイッチを ON（エンジン OFF）にし、スバルセレクトモニタースイッチの電源スイッチを ON にする。



(1) 電源スイッチ

- 6) «メインメニュー» 画面で、{個別システムの点検} を選択し、[YES] キーを押す。
- 7) «システム選択メニュー» 画面で、{エアバッグシステム} を選択し、[YES] キーを押す。
- 8) {エアバッグシステム} が表示された後、[YES] キーを押す。
- 9) «エアバッグシステム» 画面で、{ダイアグコードの点検} を選択し、[YES] キーを押す。

参考：

- 操作手順の詳細については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。
- DTCの詳細については、ダイアグコード一覧表を参照する。(2-117の「ダイアグコード（DTC）一覧表」を参照のこと。)

2. クリアメモリーモード

エアバッグシステムの故障修復後に、エアバッグコントロールユニットに記録されている故障コードを消去する。（故障修復完了後にメモリクリア作業を実行しないと、次回故障発生時に修復完了済みの故障コードも読出す。）

- 1) «メインメニュー» 画面で {個別システムの点検} を選択し、[YES]キーを押す。
- 2) «システム選択メニュー» 画面で {エアバッグシステム} を選択し、[YES]キーを押す。
- 3) {エアバッグシステム} メニュー画面で {メモリクリア} を選択し、[YES]キーを押す。
- 4) 「メモリクリアを実行しますか？」と、表示されたら[YES]キーを押す。
- 5) 「メモリクリアしました」と表示されたら、スバルセレクトモニターの電源スイッチをOFFにする。

参考：

- 操作手順の詳細については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。
- 故障が残っている状態では、メモリクリアできない。

B: 点検

1. 初期化の通信が不可能

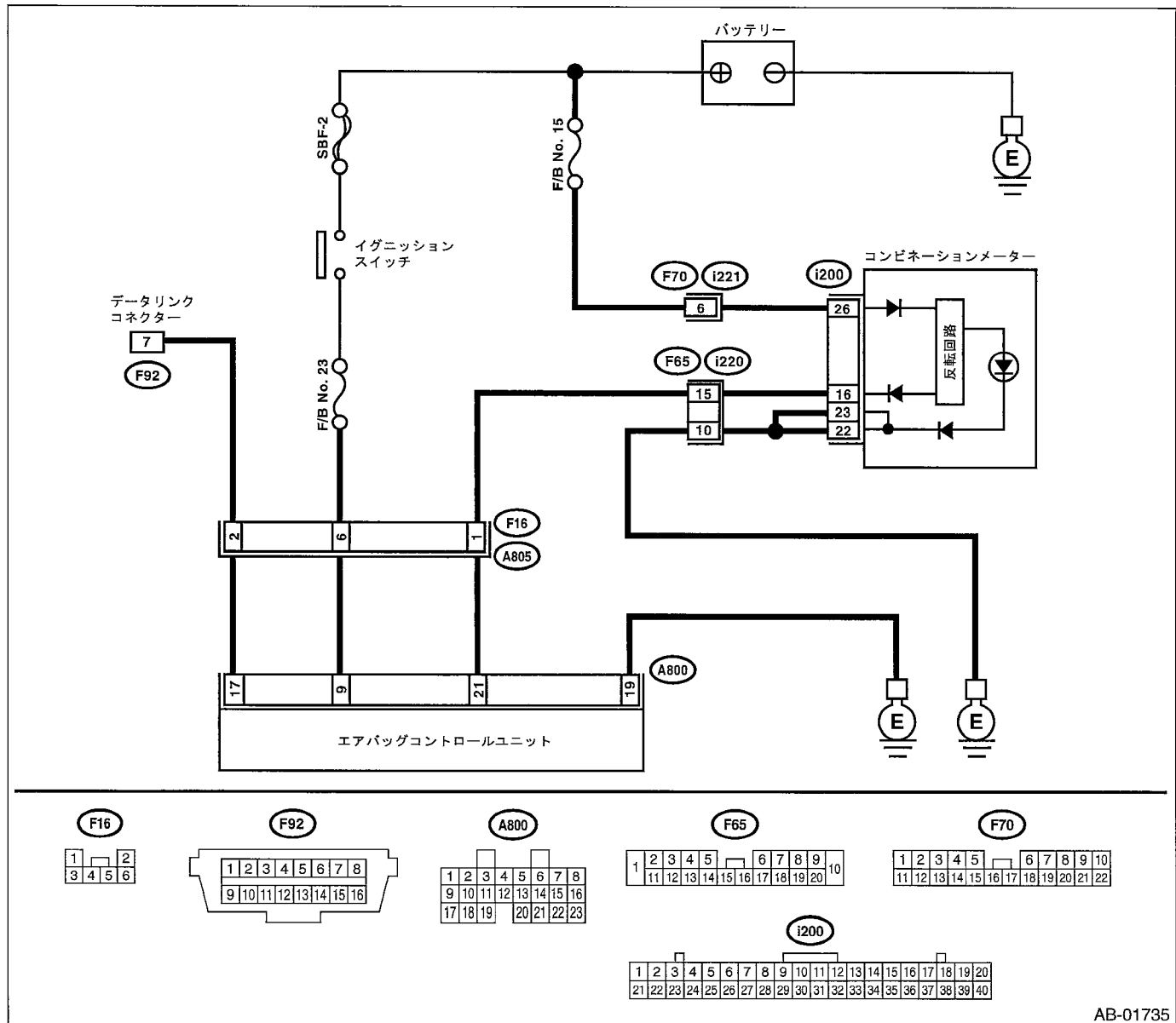
検知条件：

ハーネスコネクターの不具合

不具合の症状：

エアバッグコントロールユニットとスバルセレクトモニターの通信ができない。

配線図：



AB-01735

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 イグニッションスイッチの点検	イグニッションスイッチがONか？	2へ進む。	イグニッションスイッチをONにし、スバルセレクトモニターを使用して、エアバッグモードを選択する。
2 バッテリーの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) バッテリー電圧を測定する。	電圧は11 V以上か？	3へ進む。	バッテリーを充電または交換する。
3 バッテリー端子の点検	バッテリー端子に接触不良があるか？	バッテリー端子を交換、または締付けする。	4へ進む。
4 エアバッグコントロールユニットのコネクターの点検 エアバッグコントロールユニットの接続状態を確認する。	エアバッグコントロールユニットのコネクターは確実に接続されているか？	5へ進む。	エアバッグコントロールユニットのコネクターを接続しなおす。
5 スバルセレクトモニターの通信点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) スバルセレクトモニターを使用し、他のシステムとの通信が正常に行われるか点検する。	システム名がスバルセレクトモニターに表示されるか？	9へ進む。	6へ進む。
6 スバルセレクトモニターの通信点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) エアバッグコントロールユニットコネクターを切離す。 3) イグニッションスイッチをONにする。 4) 他のシステムとの通信が正常に行われるか点検する。	システム名がスバルセレクトモニターに表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	7へ進む。
7 それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクター間のハーネスコネクターの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) エアバッグコントロールユニット、ABSCU&H/U、ECUを切離す。 3) データリンクコネクターとボディアース間の抵抗を測定する。 コネクター & 端子 (F92) No. 16 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	8へ進む。	それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクター間のハーネスおよびコネクターを修理する。(エアバッグハーネスについては修理せずにハーネスごと交換すること。)
8 エアバッグコントロールユニットへの出力信号点検 1) ステップ7の状態でイグニッションスイッチをONにする。 2) データリンクコネクターとボディアース間の電圧を測定する。 コネクター & 端子 (F92) No. 16 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1 V未満か？	9へ進む。	それぞれのコントロールユニットとデータリンクコネクター間のハーネスおよびコネクターを修理する。(エアバッグハーネスについては修理せずにハーネスごと交換すること。)

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
9 エアバッグコントロールユニットとデータリンクコネクタ間のハーネスの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 3) テストハーネスAFのコネクタ(1AF)をコネクタ(A800)に接続する。 4) テストハーネスAFのコネクタ(3AF)とデータリンクコネクタ間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (3AF) No. 8 — (F92) No. 16 :	抵抗は10 Ω未満か？	10へ進む。	エアバッグコントロールユニットとデータリンクコネクタ間のハーネスを修理する。または、エアバッグメインハーネスを交換する。
10 電源回路の点検 1) イグニッションスイッチをONにする。 2) テストハーネスAFのコネクタ(3AF)とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (3AF) No. 5 (+) — ボディアース (-) :	電圧は10 V以上か？	11へ進む。	エアバッグコントロールユニットとバッテリー間のハーネスを修理する。または、エアバッグメインハーネスを交換する。
11 エアバッグコントロールユニットとボディアースの間の点検 1) イグニッションスイッチをOFFにする。 2) テストハーネスAFのコネクタ(3AF)とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (3AF) No. 10 — ボディアース :	抵抗は10 Ω未満か？	12へ進む。	エアバッグコントロールユニットとボディアース間のハーネスを修理する。または、エアバッグメインハーネスを交換する。
12 コネクタの接触不良の点検	コントロールユニット電源、アースラインおよびデータリンクコネクタに接触不良があるか？	コネクタを修理する。(エアバッグシステムのコネクタに関しては修理せずハーネスごと交換すること。)	エアバッグコントロールユニットのみを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット、取外し」を参照のこと。)

2. DTC無

検知条件：

- コンビネーションメーターの不具合
- ハーネスの断線
- エアバッグコントロールユニットのコネクター接続不良（A810側）（運転席プリテンショナー付モデル）

不具合の症状：

- エアバッグ警告灯が消灯しない。
- 「故障コードはありません」がスバルセレクトモニター画面に表示される。

詳しい作業手順については、「エアバッグ警告灯の不具合」を参照すること。（2-112の「エアバッグ警告灯の不具合」を参照のこと。）

参考：

- 詳しい作業手順については、「エアバッグ警告灯の不具合」を参照すること。（2-112の「エアバッグ警告灯の不具合」を参照のこと。）
- エアバッグ警告灯がOFFで、「故障コードはありません」がスバルセレクトモニターに表示される場合、システムは正常。

8 ダイアグコード（DTC）の読取り

A: 操作

DTCの読取り手順詳細については、「スバルセレクトモニター」を参照する。（2-102の「スバルセレクトモニター」を参照のこと。）

9 点検モード

A: 手順

問診票に記載された不具合状況を参照して、同じ状況を再現する。

10 クリアメモリーモード

A: 操作

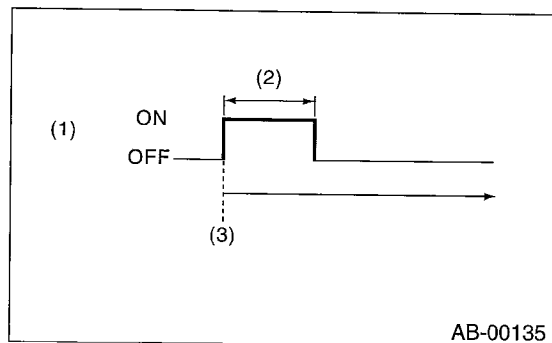
故障修理後は本項の作業を行い、メモリーをクリアすること。

DTCのクリア作業の詳細については、「スバルセレクトモニター」を参照する。（2-102の「スバルセレクトモニター」を参照のこと。）

11 エアバッグ警告灯の点灯パターン

A: 点検

イグニッションスイッチをONにするとエアバッグ警告灯が約6秒間点灯し、その後はイグニッションスイッチをONにしたままでも消灯することを確認する。



- (1) エアバッグ警告灯
- (2) 約6秒
- (3) イグニッションスイッチON

12 エアバッグ警告灯の不具合

A: エアバッグ警告灯が常時点灯

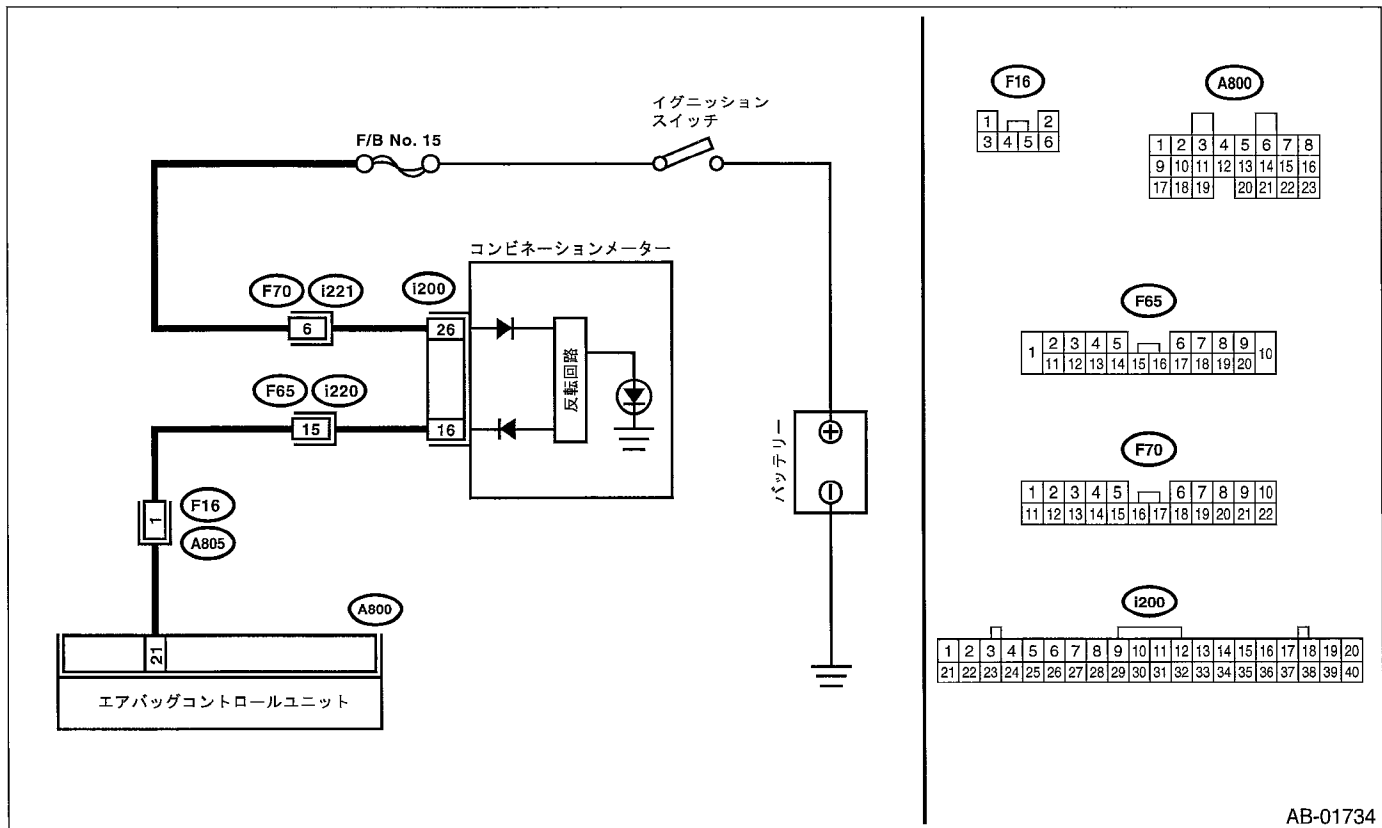
検知条件：

- エアバッグ警告灯の不良
- エアバッグコントロールユニットとエアバッグ警告灯間の回路のショートまたは断線
- アース回路の不良
- エアバッグコントロールユニットの不良
- コネクタ（A805）と（F16）の接続不良
- コネクタ（A800）と（A810）のエアバッグコントロールユニットへの接続不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクタ、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクタおよびプリテンショナーコネクタを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 DTCの読取り DTCを読取る。(2-102の「スバルセレクトモニター、操作、ダイアグコード (DTC) の読取り」を参照のこと。)	DTCは表示されるか？	DTCに従って診断を行う。	2へ進む。
2 コネクタ (A805) と (F16) の接触不良点検 1) イグニッションスイッチを OFF にして、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) インストルメントパネルロアカバーを取外す。 3) コネクタ (A805) と (F16) が確実に接続していることを確認する。	コネクタ (A805) と (F16) に接触不良があるか？	コネクタの接触不良が解消されない場合、インストルメントパネルハーネスを修理するか、エアバッグメインハーネスを交換する。	3へ進む。
3 エアバッグ警告灯の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) コネクタ (A805) と (F16) を切離し、テストハーネスMのコネクタ (1M) をコネクタ (F16) に接続する。 3) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。 4) テストハーネスMのコネクタ (3M) と (4M) を接続する。	エアバッグ警告灯は消灯するか？	5へ進む。	4へ進む。
4 インストルメントパネルハーネスの点検 インストルメントパネルハーネスを点検する。 参考： 不具合が解消したら、コネクタ (3M) と (4M) は切離す。	インストルメントパネルハーネスに不具合があるか？	インストルメントパネルハーネスを修理する。	コンビネーションメーターのメーターケースASSYを交換する。
5 接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとコネクタが確実に接触しているか確認する。	コネクタ (A800) と (A810) に接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換するか、エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
6 エアバッグメインハーネスの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) コネクタ (A805) と (F16) を接続する。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 5) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネス AF のコネクタ (1AF) を接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。 7) テストハーネス AF のコネクタ (4AF) と (5AF) を接続する。 参考： 不具合が解消したら、コネクタ (4AF) と (5AF) は切離す。	エアバッグ警告灯は消灯するか？	7へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
7 アース回路の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 3) テストハーネス AF のコネクタ (1AF) をハーネスコネクタ (A800) に接続する。 4) テストハーネス AF のコネクタ (3AF) とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (3AF) No. 10 — ボディアース：	抵抗は 10 Ω 未満か？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16 の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	ボディアース回路を修理する。

B: エアバッグ警告灯が常時消灯

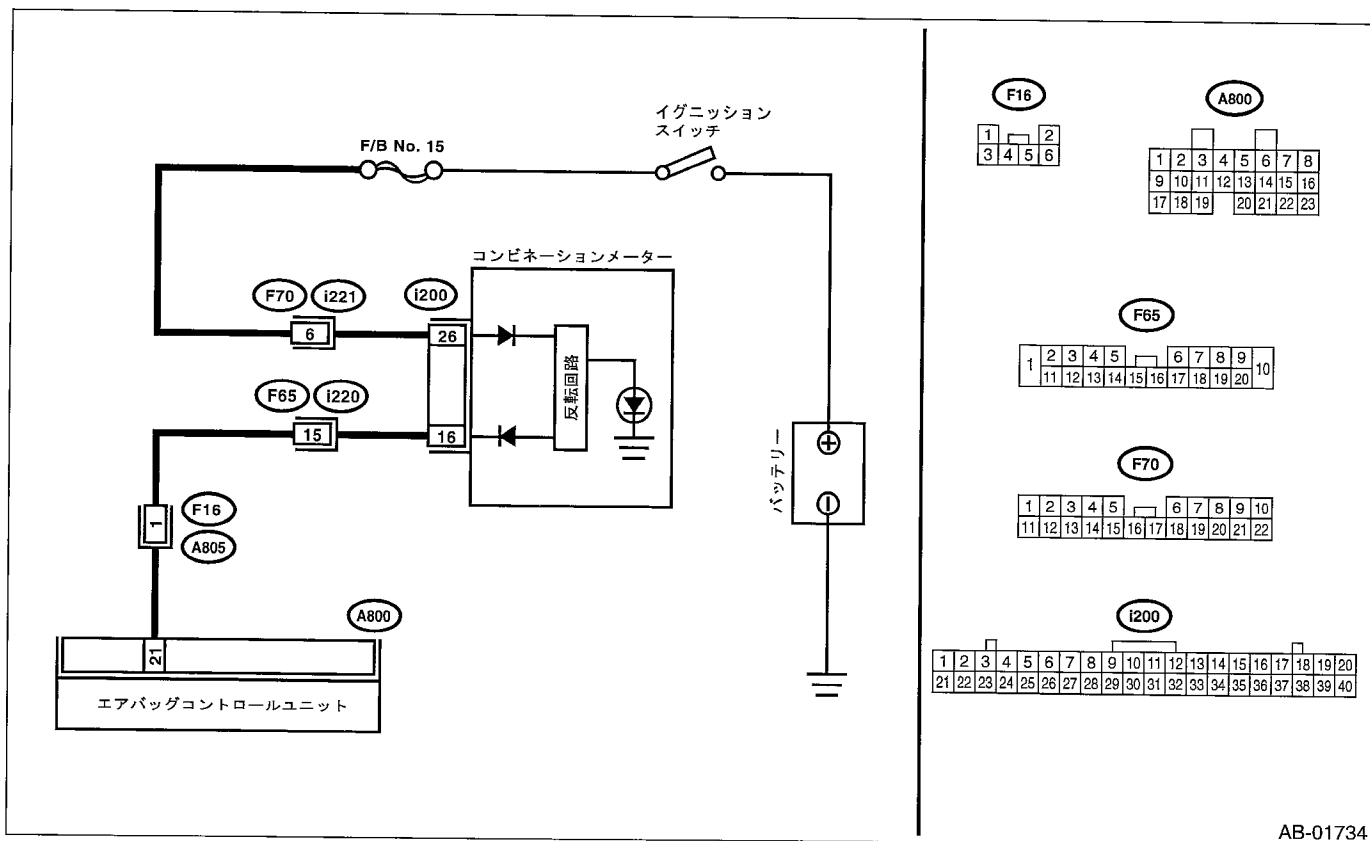
検知条件：

- ヒューズNo. 15（ヒューズボックス内）の熔断
- ボディハーネス回路の断線
- エアバッグ警告灯の不良
- エアバッグメインハーネスの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



AB-01734

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ヒューズNo. 15（ヒューズボックス内）の点検 ヒューズNo. 15を取外し、目視点検する。	ヒューズNo. 15（ヒューズボックス内）は切れているか？	ヒューズNo. 15を交換する。ヒューズNo. 15が再び切れる場合は、ステップ2に移る。	2へ進む。
2 コンビネーションメーターの点検 イグニッションスイッチをONにし、コンビネーションメーターの警告灯が点灯することを確認する。	エアバッグ以外の警告灯類は点灯するか？	3へ進む。	コンビネーションメーターへの電源を修理する。
3 エアバッグ警告灯回路の点検（コンビネーションメーター内） 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) コネクター（A805）と（F16）を切離す。 3) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は点灯するか？	4へ進む。	コンビネーションメーターのメーターケースASSYを交換する。
4 エアバッグメインハーネスの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) コネクター（A805）と（F16）を接続する。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクターを切離す。 4) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は点灯するか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	エアバッグメインハーネスを交換する。

13 ダイアグコード（DTC）一覧表

A: リスト

DTC	画面表示	診断内容	参考
11	運転席 A/B 故障	- エアバッグメインハーネス回路が断線、ショートまたはアースへのショート - エアバッグモジュールハーネス（運転席）回路が断線、ショートまたはアースへのショート - ロールコネクター回路が断線、ショートまたはアースへのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - 運転席エアバッグモジュールの不良	(2-119の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 11 運転席エアバッグ故障」を参照のこと。)
12 ^{*1}	助手席 A/B 故障	- エアバッグメインハーネス回路が断線、ショートまたはアースへのショート - エアバッグモジュールハーネス（助手席）回路が断線、ショートまたはアースへのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - 助手席エアバッグモジュールの不良	(2-124の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 12 助手席エアバッグ故障」を参照のこと。)
12 ^{*2}	プリテン LH 故障	- シートベルトプリテンショナー（LH）回路の断線、ショート、アースへのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - プリテンショナーの不良 - プリテンショナーハーネスの不良	(2-126の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 12 シートベルトプリテンショナー LH 故障」を参照のこと。)
15	運転席 A/B 故障	- エアバッグメインハーネス回路（運転席）の電源へのショート - エアバッグモジュールハーネス回路（運転席）の電源へのショート - ロールコネクターの電源へのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - 運転席エアバッグモジュールの不良	(2-128の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 15 運転席エアバッグ故障」を参照のこと。)
16 ^{*1}	助手席 A/B 故障	- エアバッグメインハーネス回路（助手席）の電源へのショート - エアバッグモジュールハーネス回路（助手席）の電源へのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - 助手席エアバッグモジュールの不良	(2-133の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 16 助手席エアバッグ故障」を参照のこと。)
16 ^{*2}	プリテン LH 故障	- シートベルトプリテンショナー（LH）回路の電源へのショート - プリテンショナーの不良 - プリテンショナーハーネスの不良 - エアバッグコントロールユニットの不良	(2-135の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 16 シートベルトプリテンショナー LH 故障」を参照のこと。)
21	A/B ECU 故障	エアバッグコントロールユニットの不良	(2-137の「ダイアグコード（DTC）別診断表、DTC 21 エアバッグコントロールユニット故障」を参照のこと。)

エアバッグシステム（診断）

DTC	画面表示	診断内容	参考
22	前突点火出力	フロントエアバッグモジュールとシートベルトプリテンショナー (LH/RH) が展開作動	(2-138の「ダイアグコード (DTC) 別診断表、DTC 22 前面衝突エアバッグ展開出力」を参照のこと。)
31	フロントセンサー RH故障	- フロントサブセンサーハーネス (RH) 回路のショート - フロントサブセンサーハーネス (RH) 回路の断線 - フロントサブセンサー (RH) の不良 - エアバッグコントロールユニットの不良	(2-139の「ダイアグコード (DTC) 別診断表、DTC 31 フロントサブセンサー RH故障」を参照のこと。)
32	フロントセンサー LH故障	- フロントサブセンサーハーネス (LH) 回路のショート - フロントサブセンサーハーネス (LH) 回路の断線 - フロントサブセンサー (LH) の不良 - エアバッグコントロールユニットの不良	(2-142の「ダイアグコード (DTC) 別診断表、DTC 32 フロントサブセンサー LH故障」を参照のこと。)
61	プリテンRH故障	- シートベルトプリテンショナー (RH) 回路の断線、ショート、アースへのショート - エアバッグコントロールユニットの不良 - プリテンショナーの不良 - プリテンショナーハーネスの不良	(2-145の「ダイアグコード (DTC) 別診断表、DTC 61 シートベルトプリテンショナー RH故障」を参照のこと。)
65	プリテンRH故障	- シートベルトプリテンショナー (RH) 回路の電源へのショート - プリテンショナーの不良 - プリテンショナーハーネスの不良 - エアバッグコントロールユニットの不良	(2-147の「ダイアグコード (DTC) 別診断表、DTC 65 シートベルトプリテンショナー RH故障」を参照のこと。)

*1：助手席エアバッグ付モデル

*2：助手席プリテンショナー付モデル

14 ダイアグコード（DTC）別診断表

A: DTC 11 運転席エアバッグ故障

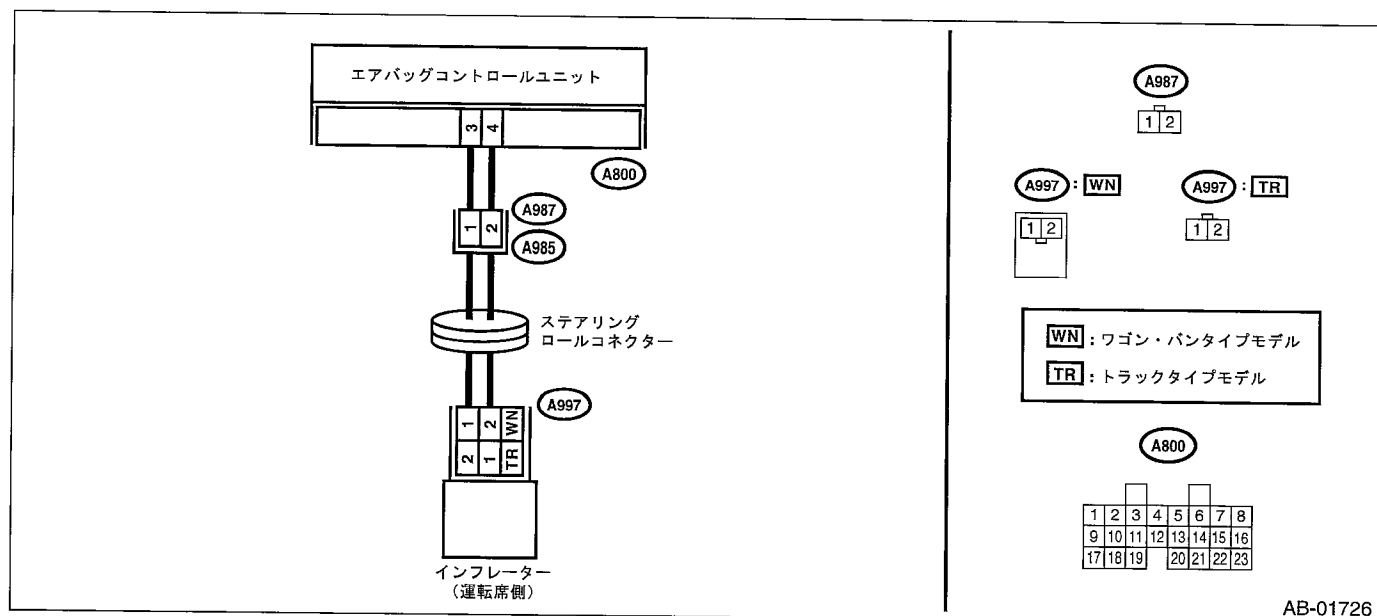
DTCの検知条件：

- エアバッグメインハーネス回路が断線、ショートまたはアースへのショート
- エアバッグモジュールハーネス（運転席）回路が断線、ショートまたはアースへのショート
- ロールコネクター回路が断線、ショートまたはアースへのショート
- 運転席エアバッグモジュールの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

・ワゴン・バンタイプモデル

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと運転席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 運転席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) 運転席エアバッグモジュールを取外す。 3) テストハーネス N のコネクタ (1N) をコネクタ (A997) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス N のコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	運転席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 ロールコネクタの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネス N をコネクタ (A997) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) テストハーネス F のコネクタ (1F) をコネクタ (A987) に接続する。 5) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) に接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	ロールコネクタを交換する。(1-17の「ロールコネクタ」を参照のこと。)	4へ進む。
4 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネス AF のコネクタ (1AF) を接続する。 5) テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とテストハーネス F のコネクタ (3F) 間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 6 — (3F) No. 4 : (2AF) No. 1 — (3F) No. 3 :	抵抗は10 Ω未満か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
5 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 テストハーネスAFのコネクター（2AF）の端子間抵抗を測定する。 コネクター&端子 (2AF) No. 1 — (2AF) No. 6 : (2AF) No. 6 — ボディアース : (2AF) No. 1 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	6へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
6 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクターを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	7へ進む。
7 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード（DTC）一覧表」を使用して、DTCを点検する。（2-117の「ダイアグコード（DTC）一覧表」を参照のこと。）	診断を終了する。

エアバッグシステム（診断）

• トラックタイプモデル

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと運転席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 運転席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) 運転席エアバッグモジュールを取外す。 3) テストハーネスFのコネクタ (1F) をコネクタ (A997) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネスFのコネクタ (3F) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	運転席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 ロールコネクタの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネスFをコネクタ (A997) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) テストハーネスFのコネクタ (1F) をコネクタ (A987) に接続する。 5) エアバッグレジスターをテストハーネスFのコネクタ (3F) に接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	ロールコネクタを交換する。(1-17の「ロールコネクタ」を参照のこと。)	4へ進む。
4 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネスAFのコネクタ (1AF) を接続する。 5) テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とテストハーネスFのコネクタ (3F) 間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 6 — (3F) No. 4 : (2AF) No. 1 — (3F) No. 3 :	抵抗は10 Ω未満か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
5 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 テストハーネス AF のコネクタ（2AF）の端子間抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 6— (2AF) No. 1 : (2AF) No. 1— ボディアース : (2AF) No. 6— ボディアース :	抵抗は 1 MΩ 以上か？	6へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
6 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTC を読取る。	同じ DTC が表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	7へ進む。
7 画面にその他の DTC がないか点検	その他の DTC が表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTC を点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

B: DTC 12 助手席エアバッグ故障

参考：

助手席エアバッグ付モデル

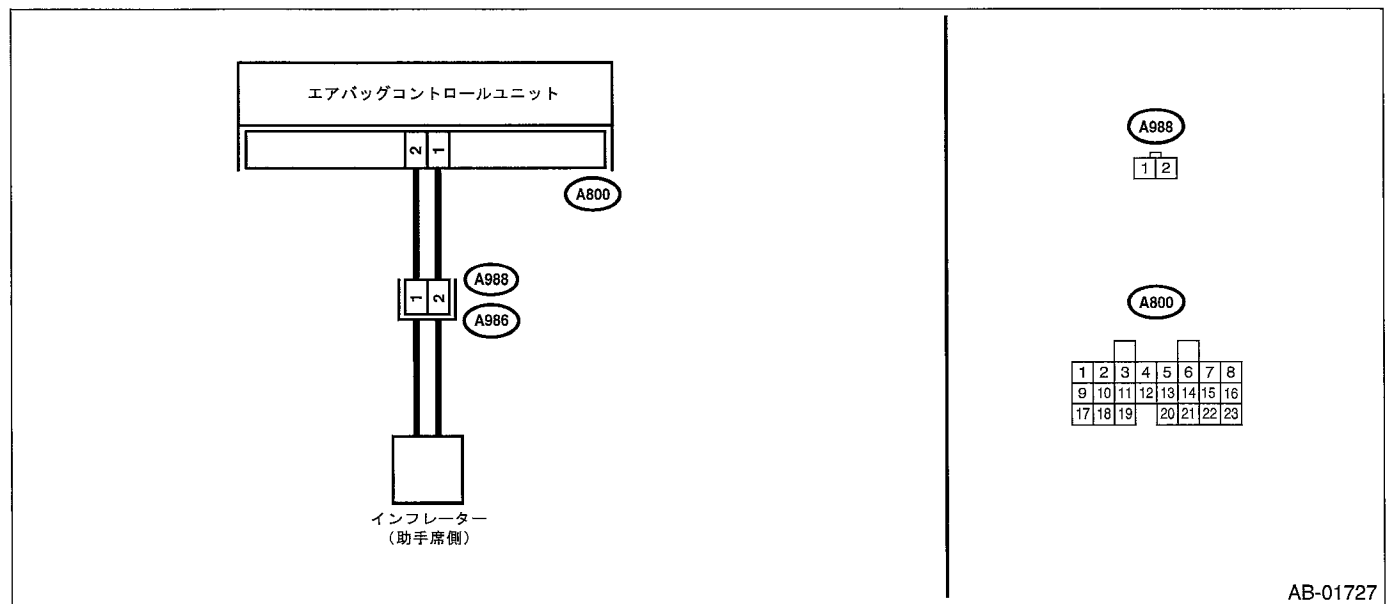
DTCの検知条件：

- エアバッグメインハーネス回路が断線、ショートまたはアースへのショート
- エアバッグモジュールハーネス（助手席）回路が断線、ショートまたはアースへのショート
- 助手席エアバッグモジュールの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと助手席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 助手席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) グローブボックスを取外す。 3) コネクタ (A988) を (A986) から切離す。 4) テストハーネス F のコネクタ (1F) をコネクタ (A988) に接続する。 5) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) に接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	助手席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（助手席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタ (A800) を切離し、テストハーネス AF のコネクタ (1AF) を接続する。 5) テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とテストハーネス F のコネクタ (3F) 間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 — (3F) No. 3 : (2AF) No. 7 — (3F) No. 4 :	抵抗は 10 Ω 未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグメインハーネス（助手席エアバッグハーネス）の点検 テストハーネス AF のコネクタ (2AF) の端子間およびコネクタ (2AF) とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 — (2AF) No. 7 : (2AF) No. 2 — ボディアース : (2AF) No. 7 — ボディアース :	抵抗は 1 MΩ 以上か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
5 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTC を読取る。	同じ DTC が表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他の DTC がないか点検	その他の DTC が表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTC を点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

C: DTC 12 シートベルトプリテンショナー LH故障

参考：

シートベルトプリテンショナー付モデル

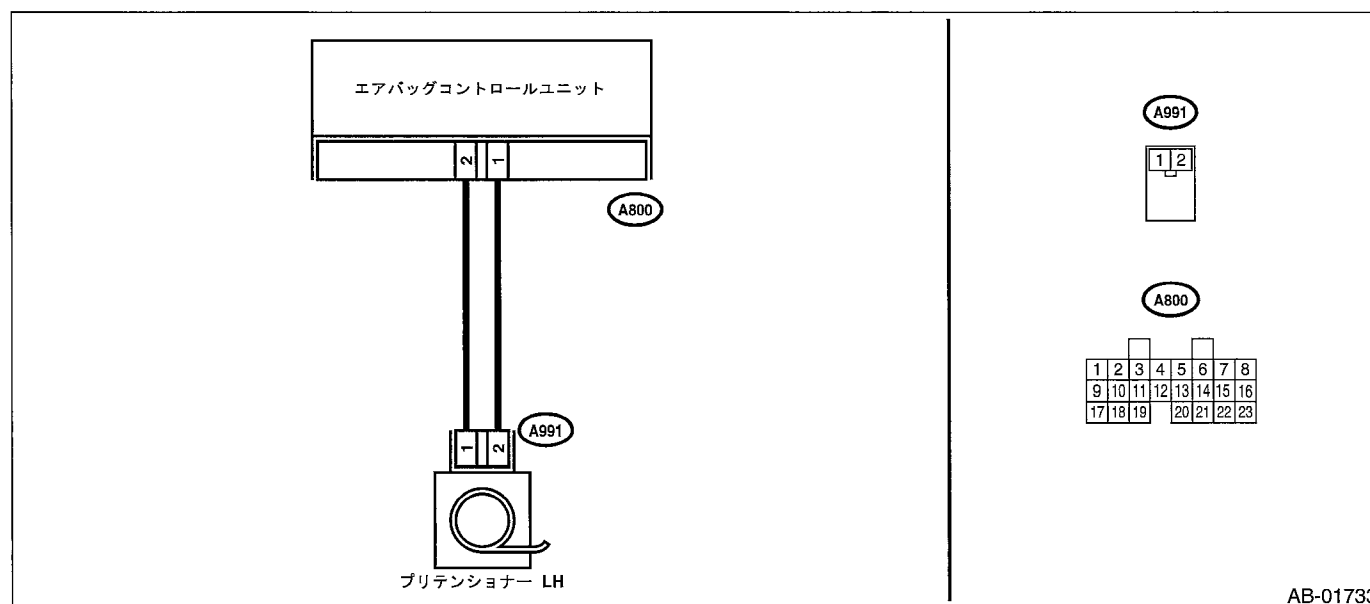
DTCの検知条件：

- シートベルトプリテンショナー (LH) 回路の断線、ショート、アースへのショート
- エアバッグコントロールユニットの不良
- プリテンショナーの不良
- プリテンショナーハーネスの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとシートベルトプリテンショナー LH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 シートベルトプリテンショナーの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) コネクタ (A991) をシートベルトプリテンショナー (LH) から切離す。 3) テストハーネス N のコネクタ (1N) をコネクタ (A991) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス N のコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は 6 秒間点灯し、消灯するか？	シートベルトプリテンショナー (LH) を交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネス LH）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) テストハーネス N からエアバッグレジスターを切離す。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 4) テストハーネス AF のコネクタ (1AF) をコネクタ (A800) に接続する。 5) テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とテストハーネス N のコネクタ (2N) 間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 — (2N) No. 1 : (2AF) No. 7 — (2N) No. 2 :	抵抗は 10 Ω 未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネス LH）の点検 テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 — (2AF) No. 7 : (2AF) No. 2 — ボディアース : (2AF) No. 7 — ボディアース :	抵抗は 1 MΩ 以上か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
5 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTC を読取る。	同じ DTC が表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他の DTC がないか点検	その他の DTC が表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTC を点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

D: DTC 15 運転席エアバッグ故障

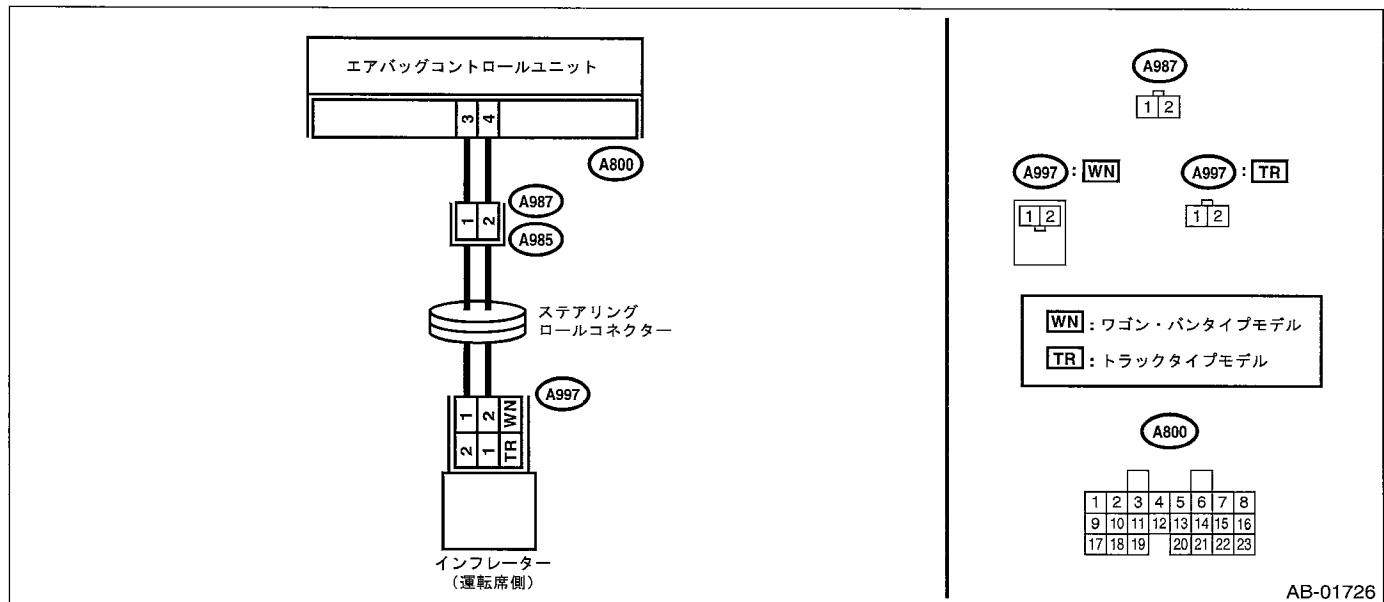
DTCの検知条件：

- エアバッグメインハーネス回路（運転席）の電源へのショート
- エアバッグモジュールハーネス回路（運転席）の電源へのショート
- ロールコネクタの電源へのショート
- 運転席エアバッグモジュールの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクタ、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクタおよびプリテンショナーコネクタを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

・ワゴン・バン 1 タイプモデル

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと運転席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 運転席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) 運転席エアバッグモジュールを取外す。 3) コネクタ (A997) をテストハーネスNのコネクタ (1N) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネスNのコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	運転席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 ロールコネクタの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネスNをコネクタ (A997) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) テストハーネスFのコネクタ (1F) をコネクタ (A987) に接続する。 5) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) に接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	ロールコネクタを交換する。(1-17の「ロールコネクタ」を参照のこと。)	4へ進む。
4 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネスAFのコネクタ (1AF) を接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。(エンジンOFF) 6) テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 1 (+) — ボディアース (-) : (2AF) No. 6 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1V未満か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。

エアバッグシステム（診断）

ステップ		チェック	はい	いいえ
5	エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。
6	画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

エアバッグシステム（診断）

• トラックタイプモデル

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと運転席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 運転席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) 運転席エアバッグモジュールを取外す。 3) コネクタ (A997) をテストハーネスFのコネクタ (1F) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	運転席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 ロールコネクタの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネスFをコネクタ (A997) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) テストハーネスFのコネクタ (1F) をコネクタ (A987) に接続する。 5) エアバッグレジスターをテストハーネスFのコネクタ (3F) に接続する。 6) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	ロールコネクタを交換する。(1-17の「ロールコネクタ」を参照のこと。)	4へ進む。
4 エアバッグメインハーネス（運転席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネスAFのコネクタ (1AF) を接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。(エンジンOFF) 6) テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (2AF) No. 1 (+) — ボディアース (-) : (2AF) No. 6 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1V未満か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。

エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
5 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

E: DTC 16 助手席エアバッグ故障

参考：

助手席エアバッグ付モデル

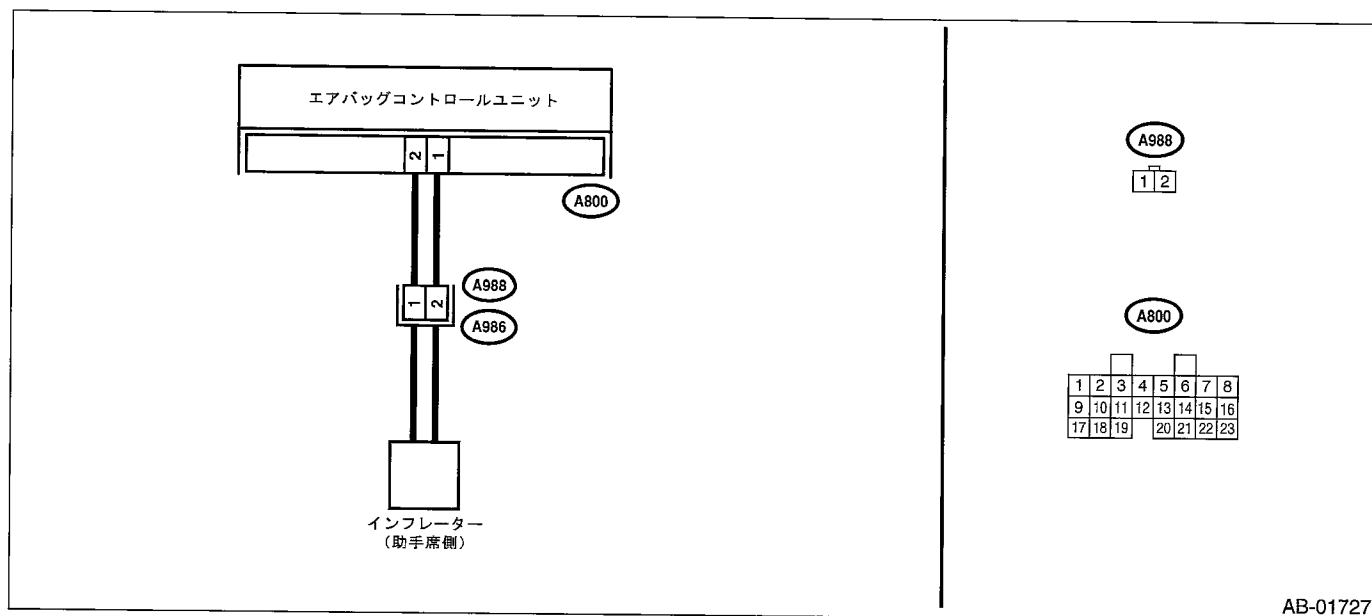
DTCの検知条件：

- ・エアバッグメインハーネス回路（助手席）の電源へのショート
- ・エアバッグモジュールハーネス回路（助手席）の電源へのショート
- ・助手席エアバッグモジュールの不良
- ・エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットと助手席エアバッグモジュール間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 助手席エアバッグモジュールの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) グローブボックスを取外し、コネクタ (A988) と (A986) を切離す。 3) テストハーネス F のコネクタ (1F) をコネクタ (A988) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	助手席エアバッグモジュールを交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（助手席エアバッグハーネス）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) エアバッグレジスターをテストハーネス F のコネクタ (3F) から切離す。 3) インストルメントパネルロアカバーを取外し、コネクタ (A987) と (A985) を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離し、テストハーネス AF のコネクタ (1AF) を接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。(エンジン OFF) 6) テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 (+) — ボディアース (—) : (2AF) No. 7 (+) — ボディアース (—) :	電圧は1V未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTC を読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	5へ進む。
5 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

F: DTC 16 シートベルトプリテンショナー LH故障

参考：

シートベルトプリテンショナー付モデル

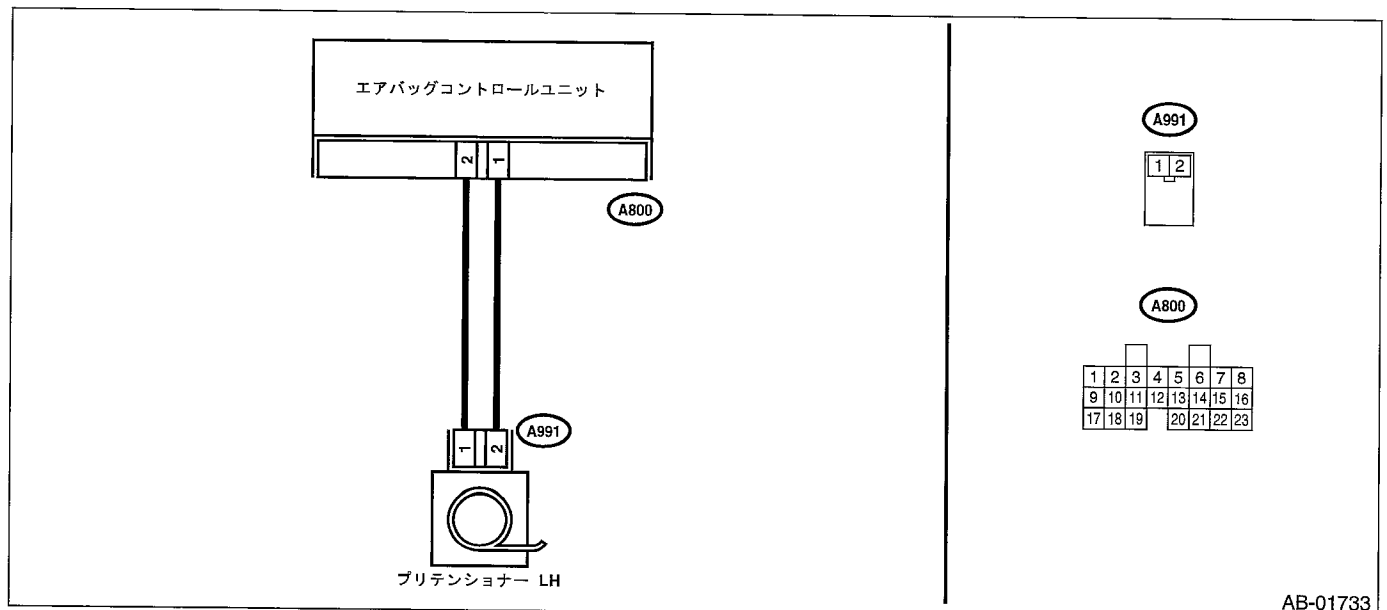
DTCの検知条件：

- シートベルトプリテンショナー (LH) 回路の電源へのショート
- プリテンショナーの不良
- プリテンショナーハーネスの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとシートベルトプリテンショナー LH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 シートベルトプリテンショナーの点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) コネクタ (A991) をシートベルトプリテンショナー (LH) から切離す。 3) テストハーネス N のコネクタ (1N) をコネクタ (A991) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス N のコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	シートベルトプリテンショナー (LH) を交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネス LH）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20 秒以上待つ。 2) テストハーネス N からエアバッグレジスターを切離す。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 4) テストハーネス AF のコネクタ (1AF) をコネクタ (A800) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。 6) テストハーネス AF のコネクタ (2AF) とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (2AF) No. 2 (+) — ボディアース (-) : (2AF) No. 7 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1 V未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTC を読取る。	同じ DTC が表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	5へ進む。
5 画面にその他の DTC がないか点検	その他の DTC が表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTC を点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

G: DTC 21 エアバッグコントロールユニット故障

DTCの検知条件：

エアバッグコントロールユニットの不良

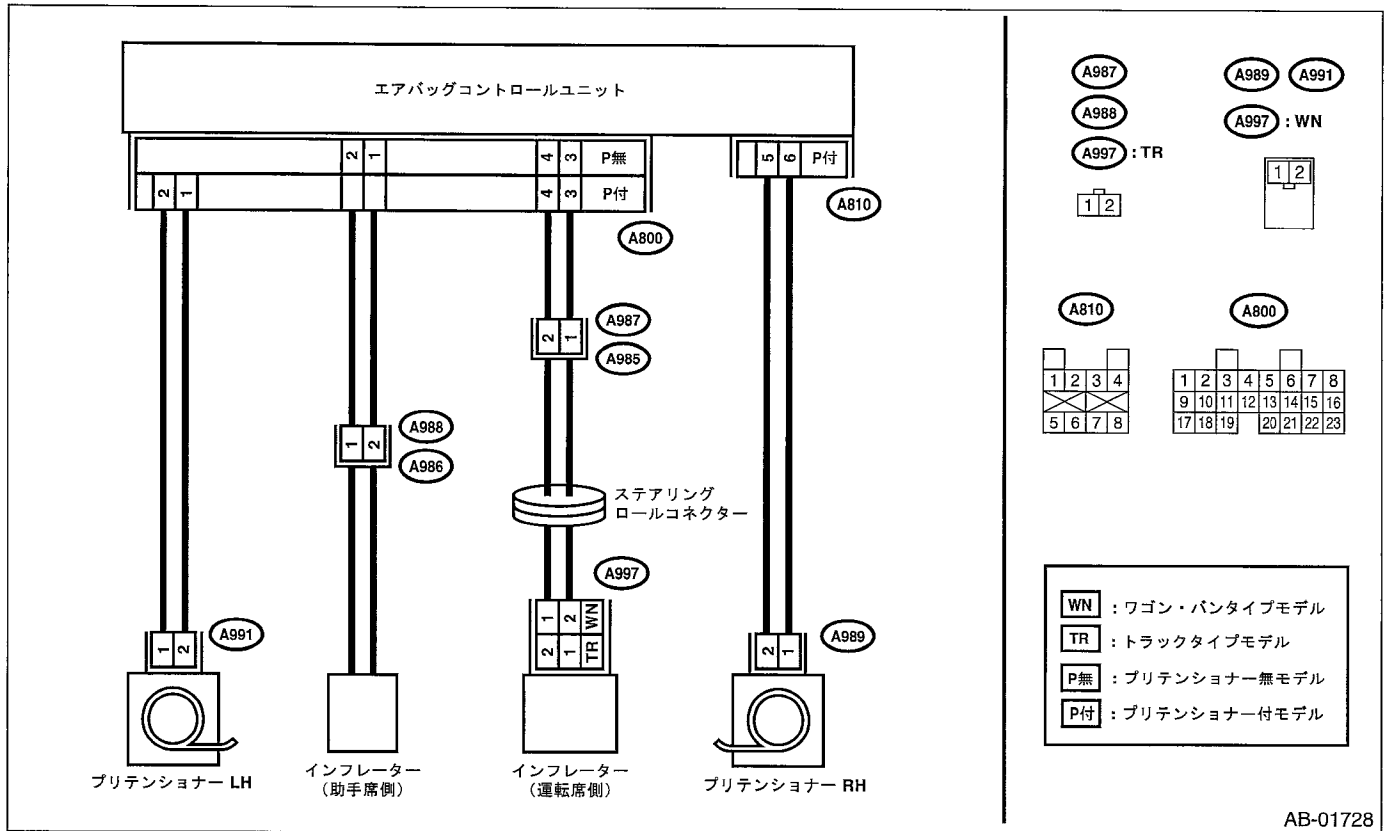
注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 DTC21が表示されるか確認 DTCを読取る。(2-108の「ダイアグコード (DTC) の読取り」を参照のこと。)	エアバッグ警告灯はDTC21を表示するか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	クリアメモリーモードを実施する。(2-110の「クリアメモリーモード」を参照のこと。)

H: DTC 22 前面衝突エアバッグ展開出力

配線図：



DTCはフロントエアバッグモジュールとプリテンショナーが展開作動したときに表示される。

DTCが表示されると、メモリーは消去できない。したがって、次の部品を交換する。

- エアバッグコントロールユニット
- 運転席エアバッグモジュール
- 助手席エアバッグモジュール（助手席エアバッグ付モデル）
- 両側のフロントサブセンサー
- 両側のプリテンショナー付フロントアウトターシートベルト（プリテンショナー付モデル）

I: DTC 31 フロントサブセンサー RH故障

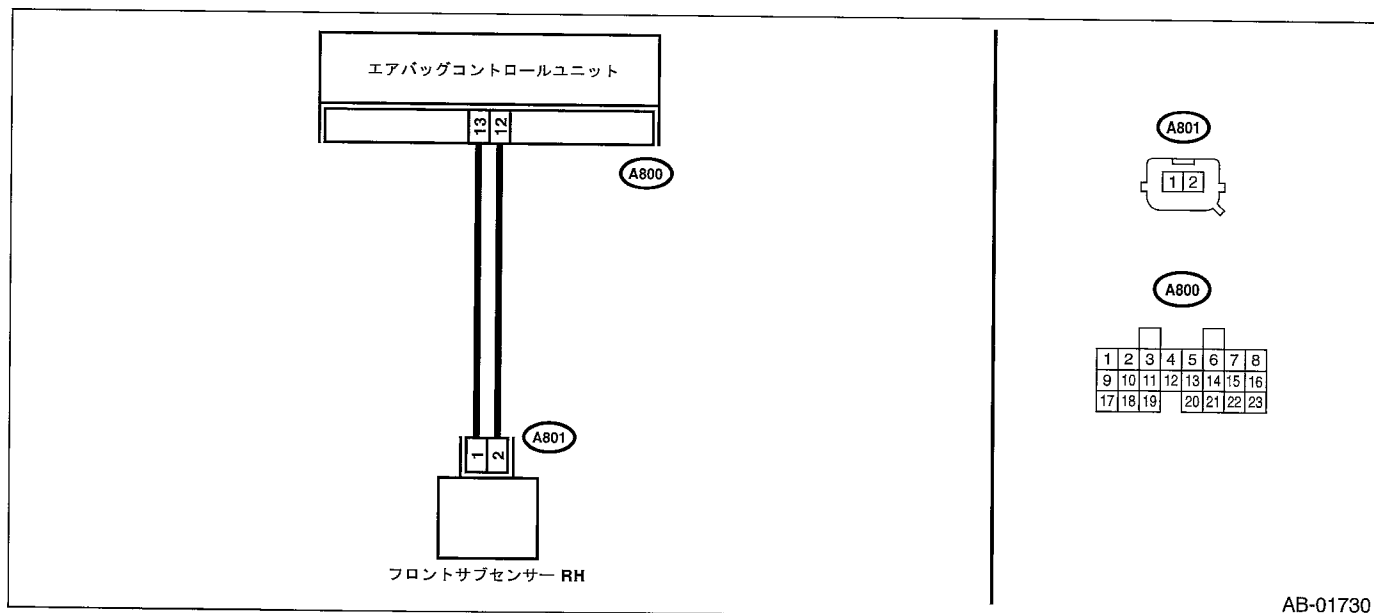
DTCの検知条件：

- フロントサブセンサーハーネス (RH) 回路のショート
- フロントサブセンサーハーネス (RH) 回路の断線
- フロントサブセンサー (RH) の不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとフロントサブセンサー RH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 エアバッグハーネス（フロントサブセンサー RH）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) ステアリングコラムカバーを外し、コネクタ（A987）と（A985）を切離す。 3) グローブボックスを外し、コネクタ（A988）と（A986）を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 5) テストハーネス AF のコネクタ（1AF）をコネクタ（A800）に接続する。 6) テストハーネス AF のコネクタ（3AF）の端子間抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 1 — （3AF）No. 3 :	抵抗は $750\ \Omega \sim 1\ \text{k}\Omega$ か？	エアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	3へ進む。
3 エアバッグハーネス（フロントサブセンサー RH）の点検 1) フロントサブセンサー RH からコネクタ（A801）を切離す。 2) テストハーネス H のコネクタ（1H）をコネクタ（A801）に接続する。 3) テストハーネス AF のコネクタ（3AF）とテストハーネス H のコネクタ（3H）間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 1 — （3H）No. 5 : （3AF）No. 3 — （3H）No. 6 :	抵抗は $10\ \Omega$ 未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグハーネス（フロントサブセンサー RH）の点検 テストハーネス AF のコネクタ（3AF）とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 1 — （3AF）No. 3 : （3AF）No. 1 — ボディアース : （3AF）No. 3 — ボディアース :	抵抗は $1\ \text{M}\Omega$ 以上か？	5へ進む。	6へ進む。
5 フロントサブセンサー RH の点検 1) フロントサブセンサーにテストハーネス H のコネクタ（2H）を接続する。 2) テストハーネス H のコネクタ（3H）の端子間抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3H）No. 3 — （3H）No. 4 :	抵抗は $750\ \Omega \sim 1\ \text{k}\Omega$ か？	各コネクタの接続状態を確認し、問題がなければエアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	フロントサブセンサーを交換する。

エアバッグシステム（診断）

	ステップ	チェック	はい	いいえ
6	エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	7へ進む。
7	画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

J: DTC 32 フロントサブセンサー LH故障

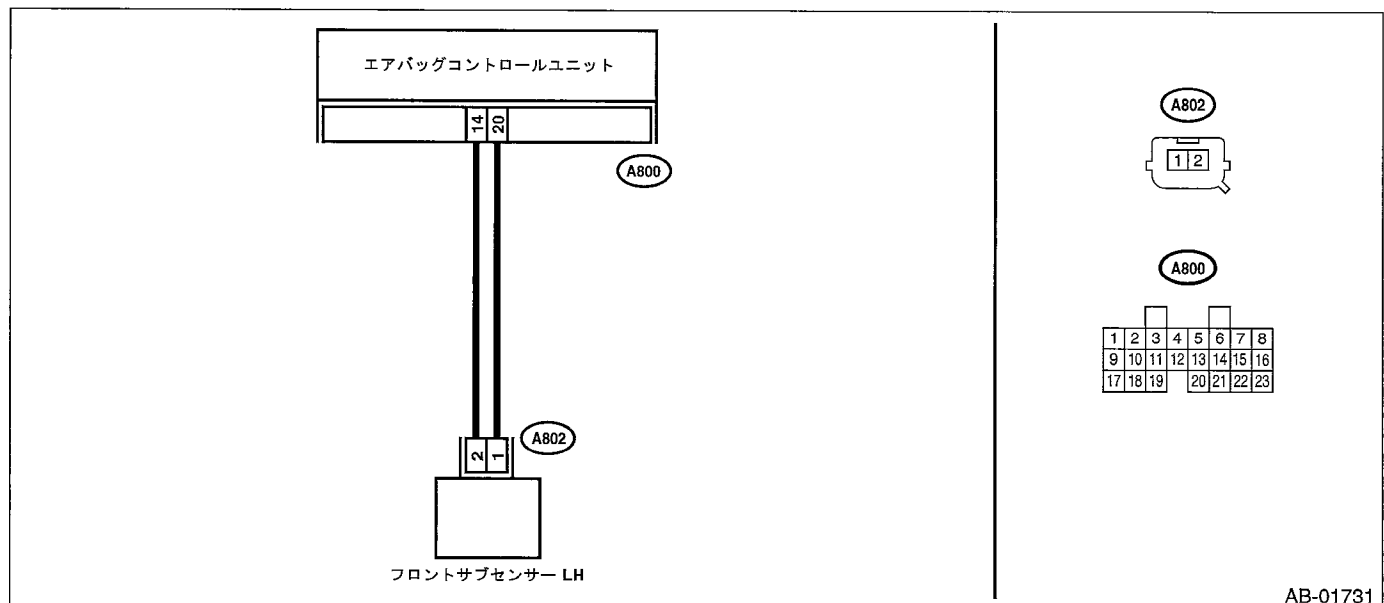
DTCの検知条件：

- フロントサブセンサーハーネス (LH) 回路のショート
- フロントサブセンサーハーネス (LH) 回路の断線
- フロントサブセンサー (LH) の不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとフロントサブセンサー LH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 エアバッグハーネス（フロントサブセンサーLH）の点検 1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) ステアリングコラムカバーを取外し、コネクタ（A987）と（A985）を切離す。 3) グローブボックスを取外し、コネクタ（A988）と（A986）を切離す。 4) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 5) テストハーネス AF のコネクタ（1AF）をコネクタ（A800）に接続する。 6) テストハーネス AF のコネクタ（3AF）の端子間抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 2 — （3AF）No. 4 :	抵抗は 750 Ω ～ 1 k Ω か？	エアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	3へ進む。
3 エアバッグハーネス（フロントサブセンサーLH）の点検 1) フロントサブセンサー LH からコネクタ（A802）を切離す。 2) テストハーネス H のコネクタ（1H）をコネクタ（A802）に接続する。 3) テストハーネス AF のコネクタ（3AF）とテストハーネス H のコネクタ（3H）間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 2 — （3H）No. 5 : （3AF）No. 4 — （3H）No. 6 :	抵抗は 10 Ω 未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグハーネス（フロントサブセンサーLH）の点検 テストハーネス AF のコネクタ（3AF）とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3AF）No. 2 — （3AF）No. 4 : （3AF）No. 2 — ボディアース : （3AF）No. 4 — ボディアース :	抵抗は 1 M Ω 以上か？	5へ進む。	6へ進む。
5 フロントサブセンサー LH の点検 1) フロントサブセンサーにテストハーネス H のコネクタ（2H）を接続する。 2) テストハーネス H のコネクタ（3H）の端子間抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 （3H）No. 3 — （3H）No. 4 :	抵抗は 750 Ω ～ 1 k Ω か？	各コネクタの接続状態を確認し、問題がなければエアバッグコントロールユニットを交換する。（1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。）	フロントサブセンサーを交換する。

エアバッグシステム（診断）

ステップ		チェック	はい	いいえ
6	エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	7へ進む。
7	画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

K: DTC 61 シートベルトプリテンショナー RH故障

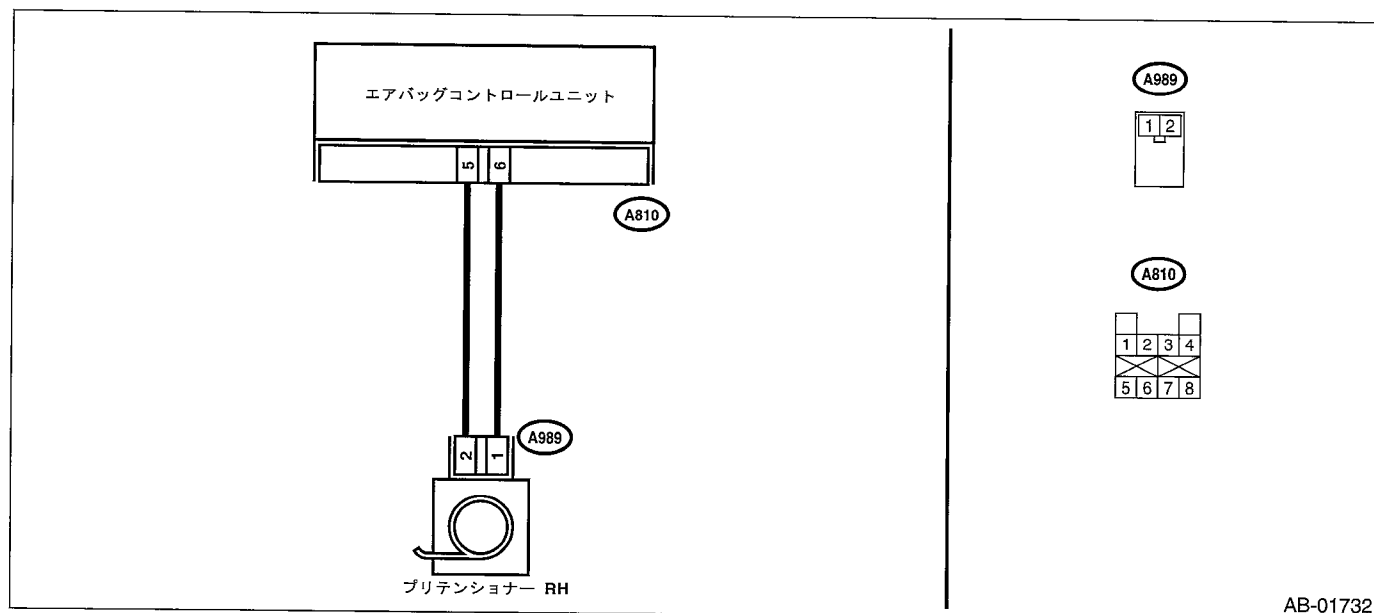
DTCの検知条件：

- シートベルトプリテンショナー (RH) 回路の断線、ショート、アースへのショート
- エアバッグコントロールユニットの不良
- プリテンショナーの不良
- プリテンショナーハーネスの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとシートベルトプリテンショナー RH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 シートベルトプリテンショナーの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) コネクタ (AB989) をシートベルトプリテンショナー (RH) から切離す。 3) テストハーネスNのコネクタ (1N) をコネクタ (A989) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス N のコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	シートベルトプリテンショナー (RH) を交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネスRH）の点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネス N からエアバッグレジスターを切離す。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 4) テストハーネスAFのコネクタ (1AF) をコネクタ (A810) に接続する。 5) テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とテストハーネスNのコネクタ (2N) 間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (2AF) No. 3 — (2N) No. 2 : (2AF) No. 8 — (2N) No. 1 :	抵抗は10 Ω未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネスRH）の点検 テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ&端子 (2AF) No. 3 — (2AF) No. 8 : (2AF) No. 3 — ボディアース : (2AF) No. 8 — ボディアース :	抵抗は1 MΩ以上か？	5へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
5 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	6へ進む。
6 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

L: DTC 65 シートベルトプリテンショナー RH故障

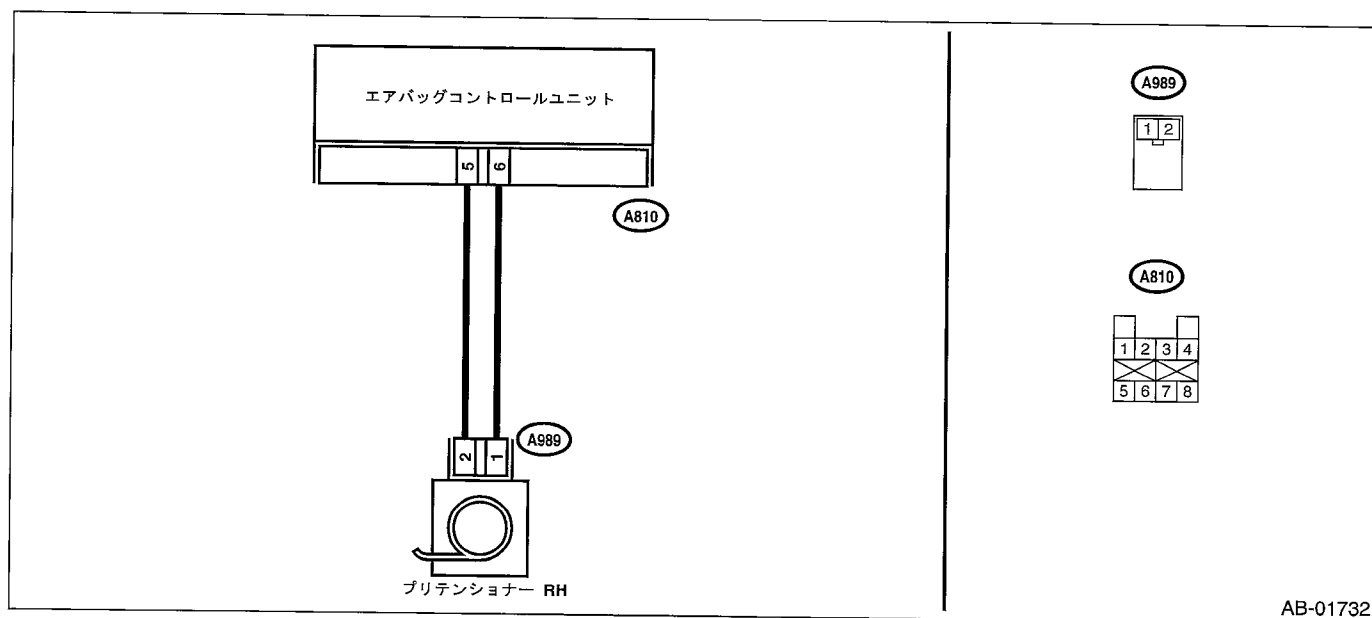
DTCの検知条件：

- シートベルトプリテンショナー (RH) 回路の電源へのショート
- プリテンショナーの不良
- プリテンショナーハーネスの不良
- エアバッグコントロールユニットの不良

注意：

- エアバッグシステムを診断するときは、イグニッションスイッチを必ずOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上経過してから整備を始めること。
- エアバッグモジュール、シートベルトプリテンショナー、ロールコネクター、コントロールユニットおよびセンサーを交換するときは、各部品を再接続して警告灯が正常に作動することを確認すること。
- エアバッグメインハーネスを点検するときは、安全のためすべてのエアバッグモジュールコネクターおよびプリテンショナーコネクターを切離すこと。

配線図：



エアバッグシステム（診断）

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 コネクターの接触不良の点検 エアバッグコントロールユニットとシートベルトプリテンショナー RH間のコネクタに接触不良があるか点検する。	接触不良があるか？	エアバッグメインハーネスを交換する。	2へ進む。
2 シートベルトプリテンショナーの点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) コネクタ (A989) をシートベルトプリテンショナー (RH) から切離す。 3) テストハーネスNのコネクタ (1N) をコネクタ (A989) に接続する。 4) エアバッグレジスターをテストハーネス N のコネクタ (2N) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。	エアバッグ警告灯は6秒間点灯し、消灯するか？	シートベルトプリテンショナー (RH) を交換する。	3へ進む。
3 エアバッグメインハーネス（プリテンショナーハーネスRH）の点検 1) イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を外した後、20秒以上待つ。 2) テストハーネス N からエアバッグレジスターを切離す。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクタを切離す。 4) テストハーネスAFのコネクタ (1AF) をコネクタ (A810) に接続する。 5) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチをONにする。 6) テストハーネスAFのコネクタ (2AF) とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ&端子 (2AF) No. 3 (+) — ボディアース (-) : (2AF) No. 8 (+) — ボディアース (-) :	電圧は1V未満か？	4へ進む。	エアバッグメインハーネスを交換する。
4 エアバッグコントロールユニットの点検 1) すべてのコネクタを接続する。 2) メモリーを消去する。 3) 点検モードを実施する。 4) DTCを読取る。	同じDTCが表示されるか？	エアバッグコントロールユニットを交換する。(1-16の「エアバッグコントロールユニット」を参照のこと。)	5へ進む。
5 画面にその他のDTCがないか点検	その他のDTCが表示されるか？	「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を使用して、DTCを点検する。(2-117の「ダイアグコード (DTC) 一覧表」を参照のこと。)	診断を終了する。

<関連資料>

SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'05.11	U7500JJ
SAMBAR 電気配線図集	'05.11	X7500JJ
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'04.9	U7411A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'03.11	U7401A
SAMBAR 電気配線図集	'03.11	X7401A
SAMBAR 新型車解説書	'02.9	U7391A
SAMBAR 整備解説書	'02.9	G7391A
SAMBAR 電気配線図集	'02.9	X7391A
SAMBAR 故障診断書	'02.9	P7391A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'02.2	U7381A
SAMBAR 新型車解説書	'01.8	U7371A
SAMBAR 整備解説書	'01.8	G7371A
SAMBAR 電気配線図集	'01.8	X7371A
SAMBAR 故障診断書	'01.8	P7371A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.11	U7361A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.4	U7351A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'99.10	U7344A
SAMBAR ボディ修理書	'99.5	L7341A
SAMBAR 新型車解説書	'99.2	U7341A
SAMBAR 整備解説書（上巻）	'99.2	G7341A
SAMBAR 整備解説書（下巻）	'99.2	G7342A
SAMBAR 電気配線図集	'99.2	X7341A
SAMBAR 故障診断書	'99.2	P7341A

2006年11月 初版 発行 (無断転載を禁ず)

2010年 4月 5版 発行

サンバー 整備解説書／電子制御装置故障診断書

希望小売価格 3,990円 G7510JJ_V5

編集・発行 **富士重工業株式会社**

スバルカスタマーセンター
カスタマーセンター企画部



富士重工業株式会社

G7510JJ